

# 薬害C型肝炎の被害実態に関する調査 (ご本人様)

## 《目次》

|                                       | ページ |
|---------------------------------------|-----|
| 「ご意見、ご感想」欄の回答内容分類表                    | 2   |
| 自由記述「ご意見、ご感想」                         | 3   |
| 各設問の「その他」欄への自由記述                      |     |
| 問3-1 肝炎感染が判明した時に医師から受けた説明-その他         | 28  |
| 問3-6 肝炎の感染原因が、血液製剤だったことを知った経緯-その他     | 38  |
| 問3-7 肝炎の感染原因が血液製剤だったことを知った時、感じたこと-その他 | 42  |
| 問3-9 肝炎感染後、経験したこと-その他                 | 52  |
| 問3-10-1 肝炎に感染していることを知った当時の気持ち-その他     | 59  |
| 問3-10-2 最近数週間の気持ち-その他                 | 67  |
| 問6-2 フィブリノゲン製剤ないし第Ⅸ因子製剤を使用した医師に対して    | 76  |

## 《注》

本資料は、原則として、記載内容をそのまま転記した。但し、誤字・脱字等については訂正した。

固有名詞は、プライバシー保護のため、実名公表で住所・氏名記載部分も含め伏字とさせていただいた。

## ● 自由記述

「ご意見、ご感想」欄の回答内容分類表

| 分類No. | 回答内容                   | 回答数 | %     |
|-------|------------------------|-----|-------|
| 1     | 治療, 医療内容, 病状           | 39  | 11.1% |
| 2     | 医療費, 交通費, 福祉の充実, 生活保障を | 16  | 4.6%  |
| 3     | 薬の効果と副作用               | 59  | 16.9% |
| 4     | 医師・医療従事者への思い, 意見       | 7   | 2.0%  |
| 5     | 家族への思い, 家計, 就労         | 14  | 4.0%  |
| 6     | 同じ被害者の人たちへの思い          | 22  | 6.3%  |
| 7     | 原告団・弁護団への感謝, 意見        | 61  | 17.4% |
| 8     | この調査・調査票への御意見          | 22  | 6.3%  |
| 9     | 過去の辛かったこと, 被害を受けたこと    | 37  | 10.6% |
| 10    | 将来への不安・展望, 生き方         | 42  | 12.0% |
| 11    | 国・会社・医師などへの意見          | 30  | 8.6%  |
| 12    | その他                    | 1   | 0.3%  |
|       |                        | 350 | 100%  |

ご意見、ご感想

| No. | ご意見、ご感想   | 回答内容分類          |
|-----|---|-----------------|
| 1   | 肝炎ウイルス検査を、普通の定期健診に組み込むべきである。国はあらゆる手段を使い、国民にウイルス感染者の治療放棄が、将来に及ぼす悪影響を知らせるべきである。患者が周囲からの偏見、差別に心を痛めている事実を、医療従事者が知らないようだ。これからの医学生には、病気だけではなく、患者の思い、苦しみを学ぶ努力をしてほしい。   | 1. 治療, 医療内容, 病状 |
| 2   | 子宮筋腫の手術で、C型肝炎になるとは夢にも思わなかった。それも60才を過ぎてから、市の検査で、「大きな手術、輸血等していたら、ウイルスの検査をして下さい」と言われ、受けて初めて分かった。今から30年も前に受けた手術なのに。今思えば、手術3日後夜、大出血をし開腹手術をされ、輸血を10本もされ、10日以上も40度の熱にうなされ、当時は大変でした（私、家族には何の話もなく開腹された）。これが急性肝炎になったのかなと思う。医者も、肝炎にかかったとは一言も言わなかった。それが、今年の1月に新聞で、フィブリノゲンを使った病院の一覧を見て、手術をした病院名が出ていたのでびっくりした次第です。手術を下された先生が院長になっていて、弁護士に当時の事をいろいろ細かく説明して下さい、今回は助かりました。当時は術後1年は何もできず、病院通い。母が元気だったので、すべて母にお願いして、生活していました。今思い出すと、本当に辛かったです。 | 1. 治療, 医療内容, 病状 |
| 3   | 始まりは心臓手術で、25年後に再度手術（弁置き換え）し、身障手帳組なので、医療費は1割負担で済むが、キャリアなので、検査受診はしっかり行っている。不安感はあるところ、肝炎の影響（行動制限は、むしろ心臓にあると言える）は分からない。   | 1. 治療, 医療内容, 病状 |
| 4   | 私は肝硬変と診断され、残り少ない年月を、精一杯前向きに生活しております。採血をして、CT、エコーと定期的に検査をしています。症状は何もありませんが、爆弾を抱えての生活は、気の休まることはありません。ただ、これまでなんとか生きてこられたことは、家族や周囲の皆様のお陰だと、感謝しています。   | 1. 治療, 医療内容, 病状 |
| 5   | 私は、C型肝炎という点では、お陰様で症状が軽いと思う。体質的に、血液が成分的に貧困な部分があり、それが肝炎の進行を遅らせているという説明を受けた。   | 1. 治療, 医療内容, 病状 |
| 6   | 最近、坐骨神経痛になったため、体の調子がよくありません。それと、いろいろ悩む事があったので、C型肝炎とは別です。今は治療から3年も経ち、元気な状態でした。   | 1. 治療, 医療内容, 病状 |
| 7   | 03年にC型肝炎が分かり、この年から高価な漢方薬を服用しています。GOT、GPT、アルブミン、総ビリルビンは低いのです。高価な漢方薬が飲めるのも、今は亡き両親のお陰です。両親に感謝しています。今も、3ヶ月に1回の血液検査と、6ヶ月に1回のCT、エコーを撮っています。以前は、CTもエコーも3ヶ月に1回でしたので、これだけでもホッとしています。   | 1. 治療, 医療内容, 病状 |
| 8   | 2009年7月に県立中央病院で、脾臓をつめる手術をしました。その時、術後、ひどい吐き気がして出血が止まらなくなり、医師が主人に、「命が危ない」と言いましたが、手当てと大量の血清とか輸血で、何とか命は助けてもらいました。ですが、退院してもしばらくは、家事も何もできず、本当に手術前の元気な体になるのかとても心配でした。2ヶ月程入院して、9月の初めに退院して約3ヶ月程経ちましたが、今は少し元気ができて、家事などもできるようになりました。でも、週3回、近くの病院で、強ミノファージェンを打っています。薬も長年飲んでます。今後の事を考えると、不安でいっぱいです。  | 1. 治療, 医療内容, 病状 |
| 9   | 注射するのに血管がでなくて嫌になるけれど、しないとガンになるので、仕方なしに病院に行っています。  | 1. 治療, 医療内容, 病状 |
| 10  | 子供の頃から健康で、病気したことがありません。初めて筋腫で入院し肝炎。いまだに病気と二人三脚。手術でフィブリノゲンを投与され入院生活7ヶ月。肝機能検査のため、22年間の採血の結果、今では血管が固くなり、採血時に痛い思いをしています。フィブリノゲンという名前が、今でも頭から離れません。医師からインターフェロンの治療を勧められています。年齢的にもこれが限度です。フィブリノゲンの怖さからインターフェロン治療の副作用を聞き、恐ろしさ、怖さから足踏み状態です。7月29日に肝臓ガンの手術を受け、快方に向かっております。健康に戻り、皆様と共に活動させていただきます。   | 1. 治療, 医療内容, 病状 |
| 11  | 毎日毎日いろんな検査の数値を気にしながら過ごすことは、大変なストレスと不安なことです。何をしても疲れやすい。  | 1. 治療, 医療内容, 病状 |
| 12  | 私は産後腎不全になり、透析をして、姉からの提供により腎移植を受けています。C型肝炎と診断されても、腎機能がずっと悪いので、インターフェロンもリバビリンも使用できません。肝ガンになるのは恐ろしいですが、現段階では治療ができないので、不本意です。腎臓にも負担のかからない治療が確立することを、切に希望します。  | 1. 治療, 医療内容, 病状 |

| No | ご意見、ご感想  | 回答内容分類          |
|----|--|-----------------|
| 13 | 今肝硬変まで進行し、できる治療がなくなってきて、医者からは移植を勧められています。移植はあまりに犠牲にするものが多く、毎日悩み苦しんでいるところです。肝硬変に進行しても、可能な治療があつてほしいと思います。本当にこの1年間で、自分でも信じられないくらい進行してきました。ずっと頑張つて治療してきたのと思うと悲しいし、怖いです。毎日が不安です。できる限り笑える事を見つけようとしているのですが・・・。  | 1. 治療, 医療内容, 病状 |
| 14 | 20数年前、左肺下葉切除の手術が済んでの退院後、1週間も過ぎない日に病院からの電話で、「再入院せよ」の通知がありました。理由は肝臓の検査数値が悪いということです。この年の12月まで入院治療が続きました。退院後も通院で、ラクトフェリン（森永製菓製）等の試薬を1年間服用しましたが、ウィルスの現象がないまま今日に至っております。C型肝炎という病名を明確に知ったのは、病院からの通知によるもので、つい最近の事です。血液検査の数値は良いのですが、ウィルスの数は依然変わらないそうです。年齢的に、薬剤による治療は、体力が持たないとのこと。 | 1. 治療, 医療内容, 病状 |
| 15 | 一生病気と付き合っている人達が、どんな気持ちで生活を送っているか？毎日の薬が大変というのは通り越しました。健康がどれほど大切かも、当たり前じゃなく考えて。  | 1. 治療, 医療内容, 病状 |
| 16 | 7月に父を亡くしました。亡くなった時に、大きな声で「お父さ～ん」と言いました。その一声でたった一粒できていた食道静脈瘤が破裂してしまい、通夜、葬儀等にも出られず、入院してしまいました。父を亡くした同じ病院でオペをしました。そのあとPSEというカテーテルを使って、脾臓を小さくするオペもしました。今年4月から4回入院し、4回のオペをしました。体力がなくなり、肝臓病の怖さを知りました。本当に怖い病気です。  | 1. 治療, 医療内容, 病状 |
| 17 | 私は幸いにも症状もなく、めずらしい例で治りましたが、不安な毎日を過ごされている肝炎の方々に、1日も早く和解と良い薬ができることを祈ります。  | 1. 治療, 医療内容, 病状 |
| 18 | 出産後から、肝炎とはしっかり付き合ってきました。ただ、薬害肝炎に対しては全く無知でした。皆さまの活動を知り、新たに自身の体と向き合い、治療していくきっかけになりました。有り難いことに、私の場合は症状が軽いので、幸いしています。インターフェロンの副作用も軽くすんでいます。多くの方がもっと気軽に肝炎に向き合い、治療していける社会になればいいと思います。  | 1. 治療, 医療内容, 病状 |
| 19 | 薬害肝炎が判明した時点で、84才で高齢。軽度の認知症もあり、治療中でした。税金で和解金を受け取り、治療をと思っても、身体、心理的に積極的な治療を行うことができない心苦しさがあります。病気を他者に知られることも大変ですが、大金を手に入れたことも、心の負担があります。高齢になってからの発症では、治療する大変さの方が大きいと思います。肝硬変や肝がんに進行する前と思っています。   | 1. 治療, 医療内容, 病状 |
| 20 | 今は、比較的GOTもGPTも共に落ち着いている。血小板数も28万7,000とたくさんあるが、正常値近くにあっても、少しずつ肝炎進行が進むのではないかと心配している。特に、心臓手術をやったので、医師からは、インターフェロンは危険を伴うのでやらないと言われている。   | 1. 治療, 医療内容, 病状 |
| 21 | 肝炎という病気を発症するまで、全く知りませんでした。それまで入院したこともなかったのですから。日本の国民病院だと知り、本人が知らずに生活している人が、いかに多いかびっくりです。人のためにと、平気で献血に行くのは大変危険です。10cc輸血してもかかってしまうのですから・・・。是非、自分の血液検査を希望します。   | 1. 治療, 医療内容, 病状 |
| 22 | 慢性肝炎、肝硬変から癌になるのを、早く医学研究が進み、癌にならないように待っています。  | 1. 治療, 医療内容, 病状 |
| 23 | 肝炎のことが問題になったことで、あきらめていた自分の病気に対して、少し前向きに、何とかならないかと向き合うようになりました。ウィルスは消失させたいです（インターフェロンは、もう使える状態ではないですが）。   | 1. 治療, 医療内容, 病状 |
| 24 | 病状について、肝炎としては協力ができませんでしたが、主治医からは一生ものだと言われております。  | 1. 治療, 医療内容, 病状 |
| 25 | 私の場合、肝炎に関しては無症なので、現在の体調は年齢的なものかもしれませんが、気持ちの浮き沈みがあります。肝炎の進行に対する不安もありますが、他の科にかかる時、いちいち報告する苛立ちなど感じます。でも、薬害の証明ができない方々がたくさんいるので、早く証明して、治療の心配を少しでも減らしていただきたいと思います。   | 1. 治療, 医療内容, 病状 |

| No | ご意見、ご感想   | 回答内容分類          |
|----|---|-----------------|
| 26 | <p>肝炎になっっていなければ、私はどんな人生を送っていたのだろうと、この頃よく考える。出産後の肝炎発症当時は、太ってしまってお産が大変だったのだと、自分を責めることしかできなかった。自分が悪かったのだ。ただ、たった1本の輸血で病気になった自分の運の悪さを恨んだりもした。その後は生活に精一杯で、通院も遠のいてしまった。一時薬害問題が報道されると、「もしかして私もそうなのじゃないか」と思うと同時に、「私は違う」と否定する日々の中で、やっぱり認めたくないという気持ちに負けて、確認することをしなかった自分を、今では後悔しています。あの時、きちんと真実と向き合っていたら、病気の進行は防げたかもしれないと、もっと自分に勇気があったなら・・・と。それに、もっと自分の病気のことを真剣に受け止めていたら、きちんと通院を怠らずに続けていたら、ここまで進行しなかったのではないかと。これも後悔です。あの頃は病状もなく、無理もできたことに安心しきっていたのだと思います。本当にこの病気の怖さはこれなのですね。症状がなければ認識も薄れます。これは私の実感です。もっともこの病気の怖さをみんなに知ってもらうこと。PRは重要になると思います。</p> <p>もうひとつの後悔は、医療機関の選択です。地元の市民病院の医師を今でも許せません。肝臓専門医ではありませんが、何人もインターフェロン治療をしている医師でした。私の場合、太っている事を理由に、なかなかインターフェロン治療を始めてもらえませんでした。太っていると、効果が薄いというのが理由でした。それと、数値が少し高い程度で安定していたことも、理由のひとつでした。数値が上がって、ウィルスが暴れ出したら始めるのが普通と言われました。その後、薬害と分かり、調査依頼に何度か手を煩わせることがあった時、「ぼくが投与した理由でもないのに、その当時のことなんか分からない」と言われ、ショックでした。看護師は、予約の電話を入れるたび、「またですか〜」という返事。今でも忘れられない言葉です。半年毎の血液検査と超音波検査のみで、触診を受けることもなく、時間だけが過ぎ、私が生検を受けたいと申し出ると、とても不機嫌になり、「今はそんな検査を受ける人はいない」とか「インターフェロン治療で入院することはない」と言われ、また不信感が増すばかり。</p>  | 1. 治療, 医療内容, 病状 |
| 27 | <p>やっとの思いで紹介状を書いてもらい、大学病院へ行くと、「太っているからインターフェロンは受けられないが、生検は必要ないということはないですよ」と言われ、自分の思いを伝えられる医師に会えてホッとしました。生検の結果はショックなものでした。肝硬変。しばらく受け入れることはできませんでした。結果を持って市民病院へ行くと、ビックリする言葉を聞くことに・・・。</p> <p>「生検なんか受けるから・・・。受けなければそのままインターフェロン治療を受けられたのにね」ですって・・・。何とも許せない言葉です。今では肝臓外来の医師として治療しているようですが・・・。先月お送っていただいた資料の中に、●●県fの現状の中で、この医師が名前入りで名医と紹介されていて、ショックでした。たまたま私とは相性が悪かったのだと思うようにしないと、やりきれないですね。これからの私達にとって、どんな医師と出会うかということで、人生が変わってしまうことも考えられます。そして、これからは、自分で医師を選ぶことも大事だと痛感しています。医療機関の充実を望みます。</p> <p>今、片道1時間かけて治療通院しています。そのたび主人が仕事を休み、付き添ってくれています。家族の負担を思うと、申し訳なく思うばかりです。もう少し近くで充実した医療機関があったらと思います。私の主治医は、8:50からの診察時間を、いつも8:30から患者を診てくれています。それくらいしないと、患者が多くて間に合わないそうです。「この病気に完治はないから、ずっと継続する病気。患者が減ることはないよ」とおっしゃった言葉が印象的でした。一生つきあっていかなければならない病気。少しでもガンや今の症状の進行を防ぐことを優先していくことでしか、私の健康は保てないのです。医学は進歩していることを支えに、今できることを、していこうと思っています。過去のことを悔やんだり、後悔しても仕方がない。助けられた生命と感謝し、前向きに生きていくことに、努力していこうと思っています。いつも同じ気持ちでいることは難しいですが、こんな私の生き方が、同じ病気で苦しむ人に、少しでも役に立つことができたらと思う毎日です。この治療を受けることも、そんな気持ちもあって後押しされています。1日でも早く良い結果がでて、肝硬変の人達も治療ができることを、願っています。そして、みんなが安心して治療ができる、不安なく生活できることを願ってやみません。最後に、肝炎は数値や超音波検査だけで安心しないでと、声を大にして伝えたいです。怖い恐ろしい病気だということ、伝えたいです。</p> | 1. 治療, 医療内容, 病状 |
| 28 | <p>肝硬変もかなり進み、CT検査ではガンの芽だらけとのこと。11月も肝ガンではないかとの疑いで、検査でした。もう肝ガンがすぐ目の前なんだなあと感じています。ガンになったら、体力にも自信がなく、家族にも迷惑がかかるし、経済的負担を考えると、何もせず終末医療か自殺を考えた方がいいかなと感じる毎日です。なぜ健康だった私が、そして私の家族が、どうしてこんな人生を送らなければならなかったのでしょうか。私の健全な体と時間を返してほしい。</p>   | 1. 治療, 医療内容, 病状 |
| 29 | <p>治療できる人が1人でも多くなるよう、身体に負担の少ない治療方法の研究、開発ができればいいなあとと思います。又、治療費の負担も軽減できるようになればいいと思います。</p>  | 1. 治療, 医療内容, 病状 |
| 30 | <p>この国に生まれて良かったと思って死にたいです。このまま死ぬのは悔しいです。もう一度仕事ができるようになりたいので、医療体制を確立して下さい。以前よりは劣った体力でもいっからお願いします。</p>  | 1. 治療, 医療内容, 病状 |

| No | ご意見、ご感想  | 回答内容分類                    |
|----|--|---------------------------|
| 31 | アンケートを通して、肝炎の事を見直すことができました。持病があるので、どちらの症状か分からなかったりするのですが、少しでも病状の進行を遅らせる努力をしようと思えました。私の持病の方に重大な副作用が出るので、インターフェロン等の治療は行えませんが、家族の協力を得ながら、生活しようと思っています。  | 1. 治療, 医療内容, 病状           |
| 32 | このたび給付金をいただけるようになり、大変お世話になり、本当にありがとうございました。いただいたもので、改めて治療致します。現在、ウィルスが右肩上がりになっていますので、担当の先生と相談していきます。   | 1. 治療, 医療内容, 病状           |
| 33 | 治療を終えて14年経ちました。でもまだ毎年1回検査をしています。この検査は一生続くと言われていて。毎年検査に行くたびに、つらかった日々を思い出し、イヤな気持ちになります。  | 1. 治療, 医療内容, 病状           |
| 34 | 内科の医師は慢性肝炎だと言われるのですが、キャリアとしか認めてもらっていません。昨年11月GOT40、GPT37、今年3月GOT57GPT91、5月GOT91GPT128、6月GOT20GPT18と、また正常になりました。今後また上がるのではないかと不安です。慢性肝炎と認めてもらえないのでしょうか。   | 1. 治療, 医療内容, 病状           |
| 35 | 半年に一度検査に行っていますが、ウルソ1日3回飲んでます。今のところは落ち着いています。今後ともよろしく願い致します。  | 1. 治療, 医療内容, 病状           |
| 36 | 今年6月下旬に脳幹梗塞で現在入院中です。話すことも体も自分の意志で動かしたりできません。家族として、いつ死亡するか心配する日々が続いています。あとどのくらい生きることができるかわかりませんが、苦しむことがないよう願っています。大変お世話になりました。  | 1. 治療, 医療内容, 病状           |
| 37 | 本人(39才)は生後7ヶ月で大手術。脳に障害が残り、知的障害者になり、20才から授産施設でお世話になっております。本人はよく理解できていないので、この質問票は親から見た目で書かせていただきました。親亡き後が心配です。現在、ハスミワクチン(免疫療法)と田七酵素(活理株)を服用中。民間療法でもウィルス減少の効果があったなどのデータがあれば、情報として流してほしい。本人がインターフェロン治療が理解できないため。                   | 1. 治療, 医療内容, 病状           |
| 38 | 地域に治療できる医者も病院も、支援してくれる看護師もヘルパーも不足している。せっかく法案ができて、治療できる患者はごくわずかだ。今の医療体制が改善、向上するまで恒久対策として、命を助けてほしい。治療に携わる医者も限界だ。   | 1. 治療, 医療内容, 病状           |
| 39 | 肝炎から肝硬変、肝臓ガンに移行することは聞いていたが、腎臓も肺も内臓全部、それに目まで影響されるとは思わなかった。改めて肝臓は大事だと思った。肝炎は恐ろしいというのが実感です。弁護士、原告団のみなさん、大変だしお世話になりますが、がんばって下さい。   | 1. 治療, 医療内容, 病状           |
| 40 | 脳性マヒと肝炎と重複しているので、このアンケートは難しかったです。今、内科系は調子もよく元気ですが、足の調子が悪く、車いすを使ったり送迎したりの状態です。  | 1. 治療, 医療内容, 病状           |
| 41 | ・医療費について、愛知県で肝炎に感染し慢性肝炎になり、特定疾患として自己負担がなく助かったが、転居してから負担が大変になった。<br>・インターフェロン治療をしていないのは、Ib型で効きにくい型であることと、良い状態が続いているので、副作用が強いため、良い治療ができるのを待っている。   | 2. 医療費, 交通費, 福祉の充実, 生活保障を |
| 42 | インターフェロンを失敗しているため、他の治療法もぜひ見つけてほしいです。この先状態が悪くなれば、自分だけではなく、家族にも迷惑をかける事になる。ぜひ減免、給付等生活の保障をしてほしい。肝炎患者皆への偏見、差別をなくしてほしい。  | 2. 医療費, 交通費, 福祉の充実, 生活保障を |
| 43 | 所得に応じて、医療費の負担が違うのは残念です。都(国?)の難病補助も受けられません。もう少し検査費用、投薬料が安くなれば助かります。   | 2. 医療費, 交通費, 福祉の充実, 生活保障を |
| 44 | C型肝炎感染を知ってから、治療まで年数がかかった理由は、治療費の高いこと、生活のために仕事を辞められなかったことです。治療費と、治療後のある程度の期間の生活費の確保なしでは、治療は難しいです。慢性肝炎ぎりぎりのところで退職し、治療に専念しました。病気に理解も協力も得られない夫とは離婚し、現在の所に転居し、子供と2人で生活しています。先々の生活と健康に、大変不安を持っています。血小板の数値も低いので、わずかな切り傷が、5~6日間も治りません。 | 2. 医療費, 交通費, 福祉の充実, 生活保障を |
| 45 | 再発時の救済を完全にすることと、生活支援も、以前の生活水準にできるように、お願い致します。  | 2. 医療費, 交通費, 福祉の充実, 生活保障を |
| 46 | 23年間ずっと病気と闘いながら生きてきました。やっと昨年国の補償金が入りましたが、これまでの借金に消えました。助けていただいた親兄弟、姉妹に、やっと人間扱いしてもらい、ほっとしました。でも、この身体では働くこともできず、肝臓の治療費も、年金だけではどうすることもできません。国保代や治療費の不安を抱え、毎日地獄です。国の救済が、早く実現することを願います。   | 2. 医療費, 交通費, 福祉の充実, 生活保障を |

| No | ご意見、ご感想  | 回答内容分類                 |
|----|--|------------------------|
| 47 | 助成制度ができたとはいえ、副作用がきつく、パートも休みがちになり、収入は激減している。治療費もかかります。せめて、治療費だけでも無料になってほしい。薬害肝炎患者だけではなく、すべての肝炎患者に対して、安心して治療が受けられるように、1日も早くお願いしたい。私の周りにも沢山いらっしゃいます。  | 2. 医療費、交通費、福祉の充実、生活保障を |
| 48 | 肝硬変、肝ガンになった時点で、障害手帳を交付してほしかった。インターフェロンを打てない患者には、せめて医療費の負担をお願いし、このストレスを軽減させてほしいです。現在非課税で、1回で4～6万円は大きなストレスです。  | 2. 医療費、交通費、福祉の充実、生活保障を |
| 49 | 自分の事で良かったと思っています。家族や子供だったら、もっと悲しくて苦しいだろうと思います。健康の有り難さを感じておりますが、毎日飲んでいるサプリメント（免疫力を上げる）代がかかるのが不安です。飲めばとても元気でうれしいのですが・・・。   | 2. 医療費、交通費、福祉の充実、生活保障を |
| 50 | 11月上旬に、ニュースジャパンで、北海道の女性（56才）の方を放映されていました。驚いたのは、腰の上に2ヶ所穴を開けて、画面を見ながら抗ガン剤を注入していたのです。今まで私が見たことのない原始的なやり方だと思いました。どうしてこの女性は、この方法を選んだのかと、なぜか悲しくて一晩中眠れませんでした。最新医療を受けるためには、治療費が高いのです。先月、「粒子線の治療」の講演に行ってきましたが、ワンクール300万円かかるそうです。ワンクールで済む人はいいのですが、やはり、お金がないと死んでしまうのかなあと、痛感しているところです。 | 2. 医療費、交通費、福祉の充実、生活保障を |
| 51 | インターフェロンを打ちに行く時は毎日だったので、バスで行って、帰りは具合が悪い時はタクシーで帰っていたので、交通費がかかりました。  | 2. 医療費、交通費、福祉の充実、生活保障を |
| 52 | 36才で肝炎と診断され、それから入退院を繰り返し、23年が過ぎて現在59才です。やがて60才になりますが、この先仕事もできないし、毎日が不安です（肝硬変から肝ガン）。体は弱くなる一方です。医療費の自己負担をなくしてほしい。障害者手帳を交付してほしい。  | 2. 医療費、交通費、福祉の充実、生活保障を |
| 53 | なかなか日常生活では肝炎の方と話す場面がなく、医師からの話しが聞くことができません。この20年でも治療方法がずい分進歩し、これから先も日々医学が進み、より効果的な治療ができるのではないかと考えていますが、助成制度は7年間という期限付きで、とても疑問を感じています。子供がまだ中学生なので、家庭生活に支障のないように生活したいと思っています。副作用のことを考えると、インターフェロンを受けた方がいいのかどうか、とても悩みます。ウィルスIA型はデータも少なく、なかなか勇気もできません。                          | 2. 医療費、交通費、福祉の充実、生活保障を |
| 54 | 障害者年金を給付してほしい。身体手帳を交付してほしい。  | 2. 医療費、交通費、福祉の充実、生活保障を |
| 55 | たまたま私は和解し、決着がつけましたが、その他の方々にも、早く治療体制の充実を図ってほしい。そして、障害給付（年金）をするべきだと思います。   | 2. 医療費、交通費、福祉の充実、生活保障を |
| 56 | 子供に感染していないか心配です。もし、子供がC型肝炎に感染していた場合、その子供の医療の助成も考えていただきたい。又、私は専業主婦（時々パート、アルバイト）ですが、収入がほとんどなく、働きたくても、体力の低下が著しく、金銭面でも非常に不安があります。できれば早期に、障害年金の給付を実現してほしいです。  | 2. 医療費、交通費、福祉の充実、生活保障を |
| 57 | 本当に当時の事を思い出すと、毎日泣いてばかりいた。20年後には、肝硬変で死んでしまうんだと、暗い日々を送っていた。幸い、当時の内科の主治医が、肝炎発症から半年後に、インターフェロンの治療を始めてくれて治癒した。今回の肝炎立法では、インターフェロンの自己負担の軽減を、強く願う。少しでも多くの方が、インターフェロンの治療を開始できますように。   | 3. 薬の効果と副作用            |
| 58 | 22年間肝炎と闘ってきましたが、インターフェロンが（2度目）効いて、ウィルスがなくなりました。辛い副作用は大変なものでしたが、現在は病状も安定しています。今までより、少しは元気に精神的に楽になりました。このままの状態生きていけたら、本当にうれしいのですが・・・。検査はこれからもしていきます。   | 3. 薬の効果と副作用            |
| 59 | 20年も前の事なので、忘れていた事が多いです。今は、インターフェロン治療のおかげで、何とないのですが、今後にも多少の不安はあります。でも、毎日前を向いて歩いていきたいと思っています。病気になってから、1日の大切さを改めて感じたので、後悔のない日々を過ごしていきたいと思っています。   | 3. 薬の効果と副作用            |
| 60 | 私は2型で、24週で終わりと言われている。4本投与した時、ウィルスは消えていた。現在18週目。ウィルスは消えました。詳しい病名も分からず、医療講演会でよく理解できた。今年の8月から●●●●へ通院しています。担当医が専門医で、説明も分かりやすく好感が持てます。良かったです。   | 3. 薬の効果と副作用            |

| No | ご意見、ご感想   | 回答内容分類     |
|----|---|------------|
| 61 | 私は1b、2回目のインターフェロン治療をしています。1回目は5年前で1年間48週。インターフェロン（ペグトリベトール）終了後、ウィルス復活。2回目は昨年の7月末より、ペガシスとコペガスを週1回180を投与しています。48週でウィルス1.2復活してしまい、72週になり、終了間際にまた1.2ウィルス復活になり、抗体検査をすると主治医に言われ、主治医との信頼関係を2、3度なくしそうになります。今は、ペガシスだけを投与してほしいと、ひたすらお願いしている。1.2ウィルスが消えるまで、2年間でもやってほしいのですが、20年のお付き合いの主治医は、何か問題が起きれば「がんと」するので、しばしば疲れてしまいます。精神的に参っています。病院を変えたい気持ちもあります。  | 3.薬の効果と副作用 |
| 62 | 3回目のインターフェロン治療（レベトール使用）を開始したが、2回目の時（中断）と同じく、ひどいうつ病になり、うつ病の治療中です。肝炎治療も中断して、経過観察中。前回は、回復に1年以上かかりました。現在4ヶ月目です。インターフェロン治療ができない患者もいることを、知ってほしい。  | 3.薬の効果と副作用 |
| 63 | ・インターフェロン+レベトール治療の副作用としてのアレルギー症状をやわらげるために、漢方薬を処方してもらっていますが、健康保険から漢方薬が外されたら困ります。<br>・インターフェロン治療をする時、アレルギーのある患者（特に食物アレルギー）には、副作用の事をよく説明して行ってほしい。私は大豆と乳製品のアレルギーがあり、肝炎発生後の静注、錠剤を止めてから、肝機能が下がり、長時間の労働ができるようになったので、それ以降、肝臓病に処方するという薬を断っていました。インターフェロン治療する時も、アレルギーに関する話はなく、2回目の診察時、食物アレルギーが疑われ、インターフェロンとレベトールの成分を調べてもらったところ、レベトールのカプセルにゼラチンが使われていることが分かりました。乳製品アレルギーの私には、毎日3錠飲み続けると、白血球が減少しすぎて、インターフェロンが打てない時が何回もあり、76本で中止した後も、なかなか白血球の値が回復しなかったせいで、過度の食物アレルギーになったのではないかと思います。本当の原因を知りたいと思います。 | 3.薬の効果と副作用 |
| 64 | インターフェロン治療するにあたり、必ず肝精検は必要なのでしょうか？医者はタイプ、ウィルス量、現在の治療が分かっているならば、肝精検はしなくても良いと言いましたが、実際はどうなのでしょうか。  | 3.薬の効果と副作用 |
| 65 | フィブリノゲンもインターフェロンも両方使いました。今は手も足もふるえます。それにうつ病のようです。悔しいです。地元の新聞に出てから、病院の先生が、私にフィブリノゲンを使ったと言いました。   | 3.薬の効果と副作用 |
| 66 | IFN治療中ですので、その日の体調により、気分の浮き沈みがあるかもしれません。   | 3.薬の効果と副作用 |
| 67 | インターフェロン治療を1年8ヶ月経っていますけれど、ウィルスが出ていないので、今は、とても良かったと思っています。   | 3.薬の効果と副作用 |
| 68 | 肝炎を発症してから6年後に、最初のインターフェロン治療を受けましたが、ウィルスは消えず、肝硬変、肝癌への不安を抱えながら、自分で体力をつける努力をするしかないと思って過ごしてきました。しかし、原告団に加えていただくことで、再度病院で診察を受け、昨年10月より2度目のインターフェロン治療を開始。24週で終了しました。その後、ウィルスの検出はなく、今のところ順調です。   | 3.薬の効果と副作用 |
| 69 | 同じ原告の方でも、現在の症状が重い方や軽い方がいると思われれます。自分の場合、手術によって肝炎になってから、インターフェロンを受けるまでは、日常生活を自分でコントロールしていたので、非常に苦痛なことでした。インターフェロン後は、おかげさまで数値も全く問題ありませんし、ウィルスも検出されていません。ここ最近では、ジムに通って体を鍛えていて、かなり激しいトレーニングを行って、スポーツに取り組んでいます。普通の人よりは、はるかに体力があると思います。これからの人生も、このままいけば良いなと思っています。   | 3.薬の効果と副作用 |
| 70 | 弁護団の皆さまご苦勞様です。いろいろ有り難うございます。42才肝臓ガン告知。肝臓2/3切除。誤診血管腫肝炎、C型肝炎告知。インターフェロン治療の副作用による苦痛。6ヶ月目に副作用によるI型糖尿病を発症し、毎日4回インシュリン。肝炎継続。しかし、頑張っ生きてければ・・・。   | 3.薬の効果と副作用 |
| 71 | 昨年1年間（48週）のインターフェロン治療により、ウィルスが消えましたが、その間副作用の苦しみは大変なもので、二度と体験したくありません。一生半年ずつの検査を受けなければならず、初回の検査が1月末にあります。結果が心配で、いつもどきどきした生活ですが、他の皆さまの事を思うと、何も不満を言うことはできません。  | 3.薬の効果と副作用 |
| 72 | ずっと健康だった体がC型肝炎に感染してから、一生病院と付き合いがなくなるといわれて、大変です。インターフェロンをして、大丈夫と言われ安心していたら、エコーで病気になる所があると云われ、不安も命がなくなるまで続くのかと思うと、とても辛いし、精神的にもまいります。どうか、1日でも早く完全に治る薬ができることを、祈るばかりです。  | 3.薬の効果と副作用 |
| 73 | 私はH20年5月からインターフェロン治療を始め、72回の注射を終えましたが、仕事も休み、H21年12月から仕事にも復帰できます。皆さんの協力があって治療もできましたが、副作用も残り、完治もせず、この先の不安もあります。普通の生活の有り難みがよく分かり、がんばって病気に向き合い生きています。前向きに考えていますが、いつまで仕事ができるか、少し不安です。  | 3.薬の効果と副作用 |

| No | ご意見、ご感想  | 回答内容分類      |
|----|--|-------------|
| 74 | フィブリノゲン等の薬害のために闘ってくださった人達に感謝します。20年にわたり、自覚症状なしに健康に過ごしてきました。しかし、病気は静かに進行していたのですね。慢性肝炎と診断され、現在インターフェロン治療をしていますが、菌の多いタイプなので、もし菌が撲滅しなければ、これから先一生付き合わなければなりません。   | 3. 薬の効果と副作用 |
| 75 | 私の病状は、現在ウィルスが消え、経過を見る段階にある。従来飲み薬と併用するインターフェロンではなく、一世代前の2日に1回の注射で効果を得た。完治かどうかは2010年3月に分かるのだが、完治すれば全国的に希有な例であるため、他の患者さんの治療の選択肢の1つとなるので、私が完治して患者さんの治療の道標になりたいです。  | 3. 薬の効果と副作用 |
| 76 | 慢性C型肝炎と知るまで、手術より20年近く経過していたため、家族への感染を心配したが、幸いなことに、感染はありませんでした。本当に安心しました。まさか自分がC型肝炎になるとは。知った当時は原因も分からず、ただただあ然。インターフェロン治療も持病のMDSのため、主治医も二の足を踏んでいる状態。いつかはインターフェロン治療をやりたいと思う反面、その苦しさを思うと、もうこのままでいいと諦めの気持ちもあり、複雑です。カルテがないため、証明ができない感染者の方々を思うと、切ないです。何とかならないでしょうか。   | 3. 薬の効果と副作用 |
| 77 | 私は現在、助成制度は使っていません。今の制度で私の負担は月5万円ですが、インターフェロンの注射の量が通常より少ないため、1ヶ月45,000円位です(血小板が少なくなりすぎるため)。やはり、1ヶ月5万円の医療費は大変です。治療費は肝炎治療ではありません。なるべく自己負担を少なくと切に願います。収入はあっても、支出も多い年代です。又、現在治療中ですが、完全に治るかどうかが不安です。ウィルスが完全に消滅するまで、治療費の自己負担を軽減してほしいです(本当はなくしてほしい気持ち)。<br>私は、27年前に非A非B型肝炎になり、その時肝臓病の本当の恐ろしさを学びました。その頃の治療は安静第一でしたので、食べたら横になり肝臓を修復し、余ったエネルギーで生活をする時代でした。本当は、働かなければならなかったのですが、家族の理解で、1日2~3時間のパートで生活費の足しにしてみました。8年前にC型肝炎と分かり、医師に相談したところ、インターフェロン治療をしても治癒率50%と言われ、治療する勇気もなく、経済的にも無理なため、採血検査の数値を見ながら、不安な生活をしてきました。昨年、国で認めていただき和解し、給付金をいただいた時には、「これで安心して治療が受けられる、家族にも安心してもらえる」と本当に嬉しく思いました。しかし、私のように訴訟して和解できたのは、ほんの一部の人達だけと分かりました。カルテのない肝炎患者がほとんどで、苦しんでおられる方々が大勢いることを知りました。2度目、3度目のインターフェロン治療でも治らないため、一生、インターフェロンを打ち続けなければならない方もいます。助成金制度の72週目以降は実費です。1ヶ月分1本1万円×4~5回です。どうか助けて下さい。元の健康体に戻して下さい。それが無理なら、せめて治療費を少なくしてほしいと思います。インターフェロン治療があるなどと、簡単に言ってほしくないです。これは、実際に体験した人でなければ分かりません。本当に苦しく苦痛です。副作用にも苦しみます。 | 3. 薬の効果と副作用 |
| 78 | 友人がインターフェロン治療を始め、副作用により転倒し、肋骨を折り、ますます体調が悪くなってしまった印象を持っています。私の夫は現在単身赴任中で、1人で生活しているので、家に戻ってきてくれたら、治療に入りたいと思っています。1人では不安です。薬害肝炎であるの知らなかったとはいえ、毎年献血センターに行っていたことが、重く心にのしかかっています。  | 3. 薬の効果と副作用 |
| 79 | C型肝炎の治療はインターフェロンしかないのですが、私は、インターフェロンに対して、アレルギーが出てしまいます。他の治療法を開発してほしい。  | 3. 薬の効果と副作用 |
| 80 | 今は、肝機能等安定しているので、様子を見ている状態ですが、4回目のインターフェロン治療には、少しおじけづいています。また副作用の苦しみを味わわなければならないと思うと、このままでいたいと考えてしまいます。いつも前向きに生きていますが、本当にインターフェロンは嫌です。医学の進歩を望みつつ、薬害はこりごりです。   | 3. 薬の効果と副作用 |
| 81 | 心臓と肝臓の薬7種を、多年にわたり飲んだ故か、腎臓が次第に悪くなり、年中身体がだるく、長時間(3時間以上)外出すると、口臭がひどくなり、疲れがひどく、人の集まりや集合等には参加するのが苦手です。又、薬に関連があるのか、最近は腰痛があり、小用が近くて困っております。   | 3. 薬の効果と副作用 |
| 82 | 副作用が軽い、医療費も安い、ウィルスが100%近く除去できる薬ができることを、一番望んでいます。   | 3. 薬の効果と副作用 |
| 83 | 現在治療中であるが、副作用のため白血球、赤血球、ビリルビン等一気に下がり、しんどい状態である。でも、たまに知人に会ったりすると、顔色はよさそうだと言われ、辛い事が理解されない。そして、テレビでC型肝炎のCMをよく見かけるが、レベトールはとて高く、私達薬害の患者によって儲けているイメージがあり、嫌な気持ちになる。C型肝炎撲滅を願う会社なら、薬価を下げほしい。  | 3. 薬の効果と副作用 |
| 84 | 30年以上、時限爆弾を抱えたような気持ちで、教師という激務をやってきました。退職して、今やっとインターフェロン治療を受けていますが、副作用が厳しく、自分の人生は一体何だったのかと考えます。原告団で闘う人達の姿勢に感銘を受け、今、がんばることがやっとできています。  | 3. 薬の効果と副作用 |

| No  | ご意見、ご感想   | 回答内容分類      |
|-----|---|-------------|
| 85  | 医師よりインターフェロン治療を勧められています、副作用の事を思うと、まだ決心が付きません。   | 3. 薬の効果と副作用 |
| 86  | 今年2月に入院で、ペグインターフェロンの治療をしました。今現在も1週間に一度注射、血液検査、尿検査に通院しています。副作用で熱がでたり、頭が痛くなったり、体がかゆくなったり、筋肉痛や髪がすごく抜け、精神的にも肉体的にも金銭的にも不安な気持ちで、毎日が憂鬱で、今が一番不安定な時期です。  | 3. 薬の効果と副作用 |
| 87  | 私は14年前に、インターフェロンの治療を受けましたが、ウィルスが残っています。もうインターフェロン治療は辛いのでこりごりと思っていたのですが、もう一度受けたらウィルスを取りきれぬか聞いたところ、インターフェロンが効いているためか安定しているので、インターフェロンをすると、寝た子を起すようなことになり、かえって悪くなることがあるので、様子を見て悪くなつたら治療をした方がいいと言われました。このままの状態だといいいのですが、年を重ねて免疫が悪くなり、インターフェロンも体力的に無理にならないか心配です。主治医の先生も肝臓の専門ではないと思うので、確実にウィルスが取れるようならば、もう一度インターフェロンをやってみたいと思いますが、判断ができません。 | 3. 薬の効果と副作用 |
| 88  | 主治医からは、そろそろ治療をと勧められているが、副作用の事を考えると、このまま仕事が続けられるか、職場に病気の事を言わないといけないなどを思い、なかなか踏み出すことができません。   | 3. 薬の効果と副作用 |
| 89  | インターフェロンを投与していましたが、黄疸のため治療を中止したまま、現在に至っています。早く完治できる新薬を希望致します。   | 3. 薬の効果と副作用 |
| 90  | 今後、インターフェロンの治療をしたいと思います。  | 3. 薬の効果と副作用 |
| 91  | 最近、テレビ等でインターフェロンと飲み薬でC型肝炎が治るといふ番組を見たのですが、本当なのでしょうか。型により、治るものと治らないものがあると聞いていますが、データがあれば知りたいです。   | 3. 薬の効果と副作用 |
| 92  | 37年前に2人目を出産。出血多量で輸血、止血剤の投与を受け、何の説明もなく、8年位前にC型肝炎と言われましたが、6年位は3ヶ月に1回の診察を受けるだけでした。64才にインターフェロンを受け始め、今日に至っています。途中10ヶ月中断しました。副作用がひどく、家族の手助けで頑張っています。何もお手伝いできずすみません。どうぞよろしくお願ひします。  | 3. 薬の効果と副作用 |
| 93  | せつかくのインターフェロン治療の機会も、現在治療にあたっている病院（指定）では、高齢、心疾患、ウィルス数が多いとの理由で、拒否されている。又、現在の状況についての説明をほかにしており、将来が不安である。いつも肝硬変→肝ガンへの進行に怯えている。  | 3. 薬の効果と副作用 |
| 94  | 今CMで、インターフェロンの事をしきりに言っているが、どのような副作用があるか、しっかりと伝えてほしい。  | 3. 薬の効果と副作用 |
| 95  | 私個人は、1年間のインターフェロン治療終了後、6ヶ月が経過し、SVRの状態だと言われた直後のため、質問に答える時、迷う事が多くて、20年間の慢性肝炎で、常に安静を心掛けていた時の気持ちと今現在の気持ちを、質問によって混同して答えている所があります。元気いっぱい、何の苦痛もない肝炎患者はいないのではないのでしょうか？今CMで、インターフェロン治療について、頻りに流れているが、製薬会社の利益のために利用された身としては、あまり良い気がしない。やるのであれば、国がやることだと思う。  | 3. 薬の効果と副作用 |
| 96  | 2006年秋より、インターフェロン治療をしました。72週しましたが、2ヶ月後に+になりました。その後、肝機能が上がり始めました。リバウンドと言われました。グリチロンを処方され、現在は安定しています。私のように、治療を受けたがうまくいかなかった者の調査が、このアンケートでは分からないのではと思います。  | 3. 薬の効果と副作用 |
| 97  | 約15年前に、インターフェロンによる治療をし、ウィルスは-になり、今現在は普通の生活を送っていますが、今後、大丈夫か不安になることもあります。   | 3. 薬の効果と副作用 |
| 98  | 私はインターフェロン治療を9ヶ月受けたところで、リウマチの症状が出てしまった。これから先、インターフェロン治療はできないと、医師から言われている。このような者は、どうしたらいいのか。   | 3. 薬の効果と副作用 |
| 99  | こういう形で私達にアンケートを提供していただき、病気で闘っている私にとって、とても嬉しく感謝しています。病院でよく耳にするのですが、1年～1年半位で注射を終えたと思ったら、3～6ヶ月過ぎたらまたウィルスが出たと。人間としてショックです。あの副作用を知る人々は、もっと良いインターフェロンはないのかと。私は肝機能、ウィルスも良いのですが。  | 3. 薬の効果と副作用 |
| 100 | ・このアンケートが、望みどおりの方向に役立てることを願ひます<br>・インターフェロン治療でウィルスが消えてはいますが、いつまた再発するのでは？と毎日おびえています。   | 3. 薬の効果と副作用 |

| No  | ご意見、ご感想  | 回答内容分類      |
|-----|--|-------------|
| 101 | 4年前にインターフェロン治療が終わり、ウィルスがなくなりましたが、体調はいまだにスッキリしません。疲れやすく無理はあまりできません。でも、病気の事がテレビでよく取り上げられはじめ、家族も少しずつ理解してくれるようになりました。来年は孫も生まれ、これからは、楽しい生活が待っているような気がします。   | 3. 薬の効果と副作用 |
| 102 | インターフェロンの治療でウィルスは消えたものの、この時同時に甲状腺の異状、自律神経失調症など、今も尚病氣と闘っています。ほんとうにつらいです。今後、このように苦しむ人が出ないように願います。  | 3. 薬の効果と副作用 |
| 103 | C型肝炎で入院した時、インターフェロンの治療中、臀部に注射されたインターフェロンの筋注が、筋肉ではない部位、神経に打たれシコリとなり、椅子にも畳にも床にも座ることさえできなくなり、毎日辛い思いをしております。リハビリもずっと続けていますが、いまだに治らず、痛みがひどくなり、なんとか楽になればと願っているのですが・・・。主治医にも、痛くなった時に話をしたのですが、「もうそれは治らないよ」とひとこと言われただけ。がっかりしたし、誠意も何もない言い方でビックリしました。C型肝炎になっていなければと思いました。   | 3. 薬の効果と副作用 |
| 104 | 2回目のインターフェロンの治療が8月に終わり、今のところは落ち着いています。このまま治ることを祈るだけです。   | 3. 薬の効果と副作用 |
| 105 | 肝炎基本法が成立したこと。弁護団の先生方、薬害肝炎原告団代表の方、本当にお疲れさまでした。体調不良で入院し、今現在インターフェロン治療中で、薬の副作用で体がだるく、1日1日を頑張って生活しています。これからは、薬害被害者が安心して暮らせるようフォローして下さいますようお願い致します。   | 3. 薬の効果と副作用 |
| 106 | 知人がインターフェロンを1年打って終了した後に、わずか3ヶ月でまたウィルスが見つかりました。治療補助は受けられず、自己負担でまた始めるとのこと。絶対におかしいです。治癒率がまだ6割程度しかないのに、1回のインターフェロンで完治するとは思えません。肝臓専門の医師団で、声をあげてもらえることはできないのでしょうか？   | 3. 薬の効果と副作用 |
| 107 | 私はインターフェロン、ペガシスと3年間にわたり治療してきて、この3月に一応終了しておりますが、治療中もまったくそれまで通りの生活ができました。言われている副作用もほとんどなく、好きなスポーツもできました。治療には、体質的なものもあるかと思いますが、あまり考えすぎずに、まず始めてみたらいいのではないかと思います。しかし、医療費の負担はここ最近補助があるといえども、負担に感じます。前向きに考えて生活するのが一番かと思えます。   | 3. 薬の効果と副作用 |
| 108 | 人の命は地球より重いと、臨床や看護学校で何度も言われてきました。その通りだと思えます。人間は健康であれば、色々な道が開ける。健康であることが一番の宝です。肝炎以外に、どうしようもなく、何の罪もなく、難病等で入院生活を余儀なくされ、亡くなっていられる人も沢山いらっしゃいます。薬は「人の命を救うもの、疾患を快方へ向かうお手伝いをするもの」です。その薬が人の人生を狂わすものには、絶対にならなければいけない。なってはいけません。   | 3. 薬の効果と副作用 |
| 109 | 11月にインターフェロン治療が終わったばかりです。昭和61年出産1ヶ月後に急性肝炎。その後C型肝炎と診断され、20数年病院にて経過観察してきました。肝機能は特に悪くはなかったが、将来、肝ガン、肝硬変になる可能性を考えた時、怖くなり、毎年おびえながら年をとっていくより、1年間のインターフェロン治療に専念しようと思い治療しました。とてもきつかったです。もともと元気だったので、思うように日常生活ができなくて、とても辛かったです。何度も止めようかと思いましたが、C型肝炎ウィルスに負けてたまるかと思ひ、頑張り無事治療が終わりました。肝炎患者の人達は皆とても辛く、治療も大変です。ぜひ、医療体制、治療休暇制度を確立してほしいです。 | 3. 薬の効果と副作用 |
| 110 | 8年前のインターフェロン治療の時、うつ状態になりました。その時から安定剤を使用していました。今現在も、朝起きて安定剤を飲まなければ、1日が始まらない状態です。  | 3. 薬の効果と副作用 |
| 111 | 平成20年8月から、インターフェロン治療を1年間、副作用に耐え終了しましたが、ウィルスがまた見つかりました。会社を退職して受けた治療だったため、今現在、再発のショックから立ち上がれない状態です。  | 3. 薬の効果と副作用 |
| 112 | インターフェロンの治療も終わったのですが、1年6ヶ月治療しても全く治らず、効果がありませんでした。治るまで治療していくべきだとは思っているのですが、経済的、精神的にまいっています。もっと100%治る薬品があればと思っています。もう疲れました。病気の事から離れたいです。   | 3. 薬の効果と副作用 |
| 113 | 一年前、父はうつと診断されました。今、入退院を繰り返し、治療を行っております。毎日、非常に苦しんでおります。肝炎で体を動かすこともできず、気分転換をすることもできません。うつになったのも、C型肝炎の治療や薬害肝炎の訴訟が原因とのこと。毎日、きついきつと言って泣いている父を見るのが、とても辛いです。  | 3. 薬の効果と副作用 |

| No. | ご意見、ご感想   | 回答内容分類            |
|-----|---|-------------------|
| 114 | 昨年5月から1年間、ペグインターフェロンとレボトールの併用で治療しましたが、一度だけウィルスが陰性になり、喜んだのも束の間、すぐに再度陽性になり、今年の5月で治療終了。その後8月の検査では、GOT、GPT、ウィルスの量はもちろん高くなっていました。10月からは、早期に肝癌を発見できる「ソナゾイド」という薬剤を用いた造影エコーを3ヶ月に1回と週2回のインターフェロン600、強ミノの点滴注射を受けています。1回の治療費が14,950円と高額で、今後いつまでこのような生活を続けなければいけないのか、とても不安です。   | 3.薬の効果と副作用        |
| 115 | インターフェロンの治療を始める前、ネットで検索すると、治療時の悪い事ばかりの書き込みです。まあ本当の事だと思いますが、良かったという書き込みは、少ないと思います。私は、軽かったこともあります。3ヶ月で注射も終わり、現在は、経過を見ている段階です。千葉大でも2ヶ月で終了した方もいると、先生から伺いました。情報が片寄っているように思います。悩んでいる方に、いろいろな情報を教えられたらと思います。   | 3.薬の効果と副作用        |
| 116 | ・世の中に、C型肝炎や止血剤等の問題が取り上げられた最中に、疑いをもち問い合わせた私に、「何も使っていません」と、口答で告げた当時の医師に、腹が立ちます。同席していた職員と医師と、病院の管理責任者に、目の前で謝罪を望みます。<br>・75才の義母に、とても迷惑をかけました。義母を看取るまでは死ねません。  | 4.医師・医療従事者への思い、意見 |
| 117 | 命は助けられました。当時、肝臓は二の次でした。医者に文句は言えません。患者はみな泣きました。どうしても患者の立場は弱い。自然そうなります。医者も、命を助けたというプライドがあります。それは分かるのですが、強い立場と弱い立場(患者)があるのは明白であります。本当に辛いところです。   | 4.医師・医療従事者への思い、意見 |
| 118 | 昨年(73才)、何としてもインターフェロン治療を受けてみたいと思い、主治医は今までもあまり積極的ではなかったけれど、もうこれが最後のチャンスと、専門医を紹介していただき、実現に至りました。血小板は8万を切るくらいどんどん下がるし、このまま死ぬにしても、ウィルスなど余分なものを持って死にたくないと思ったのです。消化器の医師にかかっていたのですが、C型肝炎の専門医がいることなど、知りませんでした。20年以上も診てもらっている間に、専門医の診察を勧めてもらいたかったです。   | 4.医師・医療従事者への思い、意見 |
| 119 | 肝炎の検査を受けるように言われていますが、専門医が少ないため、予約していても2時間待ちでの2～3分診察です。先生もとても忙しく大変そうです。是非医療体制を何とかしてほしいです。特に、地方には専門の先生が少ないです。   | 4.医師・医療従事者への思い、意見 |
| 120 | 歯科医師には肝炎患者への偏見があり、治療を拒まれたことは、過去に数回経験しています。こんなことはどうしようもないことなのでしょう。   | 4.医師・医療従事者への思い、意見 |
| 121 | なぜ、フィブリノゲンを使ったのですかと、先生に聞きました。親子両方危ない状態だった。それに、フィブリノゲンのこともよく分からなかった。こんなことになる分かっていたら、使わなかったとの返事でした。病院の先生が悪いのか、それともやはり出した国が悪いのか、病気にされた私達は・・・。  | 4.医師・医療従事者への思い、意見 |
| 122 | 認定されるまでの道のりは長く、苦痛でした。病院でのカルテ保存年限を見直していただきたい。  | 4.医師・医療従事者への思い、意見 |
| 123 | C型慢性肝炎(薬害肝炎)を発症して、23年目になろうとしている。次男が高1の時、「俺が生まれたせいで、母さんは病気になり、離婚したんだろう。俺なんか生まれてこなければよかったんだ」と言った時、子供には何の罪もないのに、次男の心の中は辛く、苦しく、淋しい思いをしながら、小さい頃から口には出さず、生きてきたんだと思った。本当に子供達には辛く、苦しく、淋しく、可哀相な思いをさせてしまったと、申し訳なく思う。  | 5.家族への思い、家計、就労    |
| 124 | 一人暮らしではどうにもならないと思いますが、家族が一緒なので、生活できると思う。もう90才を過ぎているので、いろいろ考えなくても・・・。  | 5.家族への思い、家計、就労    |
| 125 | 親兄弟を悲しませたくはありませんので、告知しておりません。   | 5.家族への思い、家計、就労    |
| 126 | 私の場合、産科の医師にしても、かかりつけの医師にしても、人間性が良い方々に恵まれました。きっとフィブリノゲンを使用しなければ、命がなかったのかも知れません。肝炎と分かった時は、自暴自棄にもなりましたが、早くから分かっていたので、24年間検査を受けられました。ただ、これから段々年もとります。肝炎も進行します。医療費も高くなり、支払えるか不安です。今は主人がいますので、心配はありませんが、これからは不安です。私の母のデイサービスでも、うつる病気に肝炎が出てきます。実際、私がデイサービスに行くようになると、もし拒否されたら、そのような施設に入ることもできません。近い将来、それが現実になります。 | 5.家族への思い、家計、就労    |

| No. | ご意見、ご感想  | 回答内容分類            |
|-----|--|-------------------|
| 127 | 私がこの病気になったため、家族に経済的なしわ寄せが行き、申し訳なかったと思う。家族が協力してくれるので、治療ができて、幸せだと思っている。元の元気な体だったら、人生が変わっていただろうと思うと、悔しい思いです。  | 5. 家族への思い, 家計, 就労 |
| 128 | 肝炎患者の食器類は紙を使用して、全部捨てていた時代もあったと、医療機関の人から知らされ（伝染病と扱ったため）、当時を過ごした人々の多くは、いまだに誤った認識の人も多いのではないかと思います。肝炎患者と知られるのが恐ろしく（私と接することが、不愉快に思う人もいないかと）、子供、孫に、何らかの影響がなければいいと願っています。   | 5. 家族への思い, 家計, 就労 |
| 129 | まだまだ世間のC型肝炎に対する偏見、差別は根強く、私も自分がC型肝炎と判るまで、普通に接してもうつる病気だと思っていました。ですから、仕方のない事だと思っています。息子夫婦にも未だに言えなくて、それが何よりも心苦しいです。  | 5. 家族への思い, 家計, 就労 |
| 130 | 私は今、おかげさまで元気に過ごしております。私がこのような状態だという事は、成人した2人の子供には話しておりません。主人だけです。主人は、昔から病気に理解をしてくれております。何故子供達に話さないのか、私にも理由ははっきりしません。原告団の方々には本当に感謝しておりますが、この報告書も、子供達に気付かれないようにと記入しております。私の現在の心境としては、もうこれ以上放っておいていただきたいというのが、正直な気持ちでございます。自分勝手な意見ですが、静かに見守っていただきたく思います。      | 5. 家族への思い, 家計, 就労 |
| 131 | 和解は先生方のおかげで、今から1年前に終わりましたが、大切な治療費なのに、家の連帯保証人になっており、実際にはローンの支払いに使用していて、心が痛いです。原告にもなれない人が350万人いるというのに。肝炎のこと、娘1人にしか話しておりませんが、出血の止まらない鼻血で顔も服も赤いのに、夫は救急車も呼ばない冷たい人間に。これ以上私が責任を負うのは辛いから、考えております。色々なことを。   | 5. 家族への思い, 家計, 就労 |
| 132 | 四男は、現在マイナスになって生まれた時からの体調が、今と全然違うので、そのことが不思議でしかたがないと言っています。体重も10kg以上太っています。   | 5. 家族への思い, 家計, 就労 |
| 133 | 今回このアンケートを受け、当時の事を思い出し、3人の子供達が精神的なショックを受けていたことを、改めて感じた。長女は小学校へ入学して3、4日後での入院で、母親が死ぬかも知れないと周りから言われて、泣いて帰って来たらしいことを、最近になって主人から聞かされた。下の4才と2才の子供らも、入院中私のベッドに乗って、不安そうな顔を浮かべていたあの頃を思い出す。日々医療は進歩しているが、二度と薬害を出さないでほしい。  | 5. 家族への思い, 家計, 就労 |
| 134 | 今年8月自主退社をしました。この不況で次の派遣先が見つからなかったため、上の人から言われたそうです。私が手続きしなければ・・・振込先を給与振込先と同じにしなければ・・・もしかしたら・・・なんて、思ってみたりもしました。息子も会社の方にごまで話したか分かりませんが、書類のやりとり等話していたみたいで・・・今、ハローワークに通い、仕事を探しています。皆様の活動をメールやテレビ、新聞等で拝見し、勇気づけられます。すごいなあと思います。そして、ありがたいなあと思います。皆様が、全員幸せになれるように！！ | 5. 家族への思い, 家計, 就労 |
| 135 | 私は赤ちゃんの頃に感染し、今はウィルスも検出されていないため、いたって健康です（別の病気があるので、身体に不安がない訳ではないですが）。そのため、薬害肝炎と言われても、正直ピンときません。でも、母は自分のせいで私を肝炎にしまったと思ひ込み、自分を責めています。私は、母のせいとはまったく思っていないので、謝られるたびに辛いです。このような交流を通じて、肝炎患者だけではなく、その家族の心の負担が少しでも軽くなれば、嬉しいです。                                      | 5. 家族への思い, 家計, 就労 |
| 136 | 私は肝炎に感染させられたために、大切な娘を救うことができなかった。このつらくて悔しい思いで、一生過ごすのでしょうか。この思いは、国や製薬会社には分からないでしょう。   | 5. 家族への思い, 家計, 就労 |
| 137 | 私は、無症候性キャリアで、普段の生活をするには何の不便もありませんが、未だ治療している人、進行してしまった人など、何と言ったらいいのかわからないほど、気の毒でなりません。カルテがなくて訴訟できない人など、何とかしてやれたらと思います。  | 6. 同じ被害者の人たちへの思い  |
| 138 | 今は経過観察ですが、今後進行していくことがあれば、とても今のような気持ちではいられないかも知れません。今苦しんでいる他の患者さんにとって、少しでも良い方向に行くことがあれば、協力したいと思っています。   | 6. 同じ被害者の人たちへの思い  |
| 139 | まだ和解していない人達が、みんな早く話し合えますよう、応援しないとイケないと思います。  | 6. 同じ被害者の人たちへの思い  |
| 140 | いつもいろいろな事に参加できなく、心苦しく思っています。今は、割り切るほか生きることができない。うつなどにならないために、できることなら色々な同病の方々と、意見交換、情報交換をしたいのですが、ストレスを感じるのが心配で、なかなか実行できません（過去に6回、十二指腸潰瘍による下血体験があり、入院しました）。  | 6. 同じ被害者の人たちへの思い  |

| No  | ご意見、ご感想   | 回答内容分類           |
|-----|---|------------------|
| 141 | 私のような不幸な人間を出さないように、これからの医療体制について、十分な配慮を願いたいです。現在、訴訟中の人全員が、和解できることを、心より願っています。   | 6. 同じ被害者の人たちへの思い |
| 142 | 和解金をいただきましたので、将来の進行に合わせて治療が受けられます。まだ救済されない方もいるので、自分だけ先に申し訳なく思っております。新薬が開発されることを願っています（3回目挑戦）。今、国会で肝炎対策が進んでいること、嬉しく思っています。   | 6. 同じ被害者の人たちへの思い |
| 143 | 薬害肝炎被害者の方全員が、1日でも早く、救済されることを願っています。   | 6. 同じ被害者の人たちへの思い |
| 144 | 治療したくても、いろいろな事情で受けられない人がたくさんいます。体の不安を抱えながら、毎日過ごすのは、本当に精神的にまいっているはずですが、どうか、すべての人が安心して治療できるように、1日も早く願っております。  | 6. 同じ被害者の人たちへの思い |
| 145 | インターフェロン助成が始まり、ウイルス消失する人が増え、本当に良かったと思います。しかし一方では、インターフェロン治療の効果なく、肝ガンから肝移植にまで進行する人もいます。医療体制や生活支援、すべての原告が安心して暮らせる日が1日も早く来ることを、切に願っています。   | 6. 同じ被害者の人たちへの思い |
| 146 | 体調不良が続き、原告団行事に参加できず、申し訳ありません。   | 6. 同じ被害者の人たちへの思い |
| 147 | 20年間、長い間苦しんできました。原告に加わり救済されました。同じ苦しみを持ち、病気と闘っている多くの方がおられます。肝炎患者支援を、患者のためになる法律に設定してほしい。  | 6. 同じ被害者の人たちへの思い |
| 148 | 私は、他の人と比べれば、肝炎の肉体的苦しみはありません。その事が申し訳なく、原告団に入っても良かったのか悩みました。これから自分のできる事は、協力していこうと思っています。  | 6. 同じ被害者の人たちへの思い |
| 149 | 今までも少しずつですが、原告団として行動してきましたが、現在、仕事が忙しく、仕事だけで体が精一杯のため、活動に参加することができず、皆様には大変申し訳ないのですが、今後共よろしくお願い致します。仕事の都合上、返事が大変遅くなり、申し訳ありませんでした。  | 6. 同じ被害者の人たちへの思い |
| 150 | 今も肝炎で苦しみ、死んでいく人がいることに、辛い思いをします。結果として、周りの人々に助けられ、幸せになったことへの強運を思い、支えられて今日があると感謝せざるを得ません。でも、肝炎への感染がなければ、私には違った人生が待っていたはずですが。若い頃の夢と、夢へ向かって積み上げてきた努力を奪った薬害を、許す気持ちにはなりません。          | 6. 同じ被害者の人たちへの思い |
| 151 | 幾度となくお便りをいただきながら、集会にも参加できず、申し訳なく思っております。深夜のドキュメンタリーでも見ましたが、同じ立場にありながら、カルテや関係者の協力が得られず苦しんでいる方が、1日も早く救済されますことを祈っております。  | 6. 同じ被害者の人たちへの思い |
| 152 | 私がかかっている病院は、20年のカルテが残っていたので、フィブリノゲンを使用されたことが分かりました。カルテが残っていない人達もいると思いますが、その人達も何とかしていただきたいと思っています。どうぞよろしくお願い致します。  | 6. 同じ被害者の人たちへの思い |
| 153 | 私は幸運にも、インターフェロンによって治癒しましたが、そうではない方へのできうるかぎりの保障、制度の改善をして、決して薬害を風化させることなく、救済を続けていただきたいと思います。  | 6. 同じ被害者の人たちへの思い |
| 154 | 肝炎対策基本法が成立した事を大変嬉しく思います。原告団の方々のこれまでの努力に感謝致します。ありがとうございます。今後、肝炎患者の方々すべてが、何からの形で救われる事を願います。私自身、娘の命が肝炎によって、短命にならない事を願うばかりです。   | 6. 同じ被害者の人たちへの思い |
| 155 | 6年程前、新聞で公表された病院名の中に、出産時の病院名があり、出産時の状態がよくあてはまったので、半信半疑でC型肝炎の検査をして分かりました。出産して20年近くたってからです。ふつうの検査ではずっと分からなかったのです。他にもそういう方が、たくさんいらっしゃると思います。検査と治療を充実してもらい、肝炎法案を早く成立されるように願います。    | 6. 同じ被害者の人たちへの思い |
| 156 | 私は幸いなことに、原告団に加わることができましたが、私のような人がもつというと思うと、何とか手助けする方法を見つけ、いろいろ協力していきたいと思う。50年生きてきて、身体の不調が出てきてもおかしくないと思っています。ですから、病気と向き合いながら、明るく前向きに日々過ごせたらいいなあ、つくづく感じています。働けること、生きていられることに感謝。 | 6. 同じ被害者の人たちへの思い |
| 157 | 私は幸運にもカルテが見つかり、和解することができましたが、カルテが見つからず、和解できなかった人の分まで、何かで役に立つことがあれば、微力ながら協力していきたいと思っています。  | 6. 同じ被害者の人たちへの思い |
| 158 | 肝炎の状態のデータを現在確認できませんでした。今回のアンケートで、何か少しでも役に立てたなら、治療のつらさに耐えた甲斐があります。これ以上薬害で苦しみ、悲しむ人が出ないよう、願ってやみません。  | 6. 同じ被害者の人たちへの思い |

| No. | ご意見、ご感想   | 回答内容分類             |
|-----|---|--------------------|
| 159 | 現在は自覚症状がないのに、補償金をいただき、申し訳ない気持ちが半分ある。しかし、訴訟期間が限られているので、将来のことは分からないので、集団訴訟に参加した。補償金は、症状が出た時のために貯金してある。  | 7. 原告団・弁護団への感謝, 意見 |
| 160 | 体調が悪く、何事にも参加、出席できず、案内が届くたびに、心苦しく思うばかりです。本当に申し訳ございません。   | 7. 原告団・弁護団への感謝, 意見 |
| 161 | いつもお世話になっています。何も協力できず、いつも申し訳なく思っています。これからも、どうぞよろしく願いいたします。  | 7. 原告団・弁護団への感謝, 意見 |
| 162 | 原告団の活動には頭が下がります。第一線で動くことができず、申し訳なく思っていますが、陰ながらエールを送っています。しかし、治療に関しての情報交換できる場が近くなって、今の原告団の活動を知る場所を、保健所などが積極的に作ってほしいと思っています。  | 7. 原告団・弁護団への感謝, 意見 |
| 163 | 闘病中は泣いている余裕もなく、ただ前を向いて頑張ってきました。アンケートに答えながら、いろいろ思い出されて、涙が溢れてしまいました。辛かったことばかりではなく、よくここまでたどり着けたなあという思いや、子供達が一人前になり、社会人として、親として育ててくれたことなど、幸せと思える現在にもです。今後の生活は、不安も残りしましたが、何とかなるだろうと思ってた時、何げに見ていたテレビのニュースで、原告団のことを知りました。原告団の方々の大変なご苦勞と闘いのおかげで、私達の生活にも光が見えました。諦めていた治療にも、この年齢になりトライ中です。生きていて良かった。本当に有り難うございました。           | 7. 原告団・弁護団への感謝, 意見 |
| 164 | 弁護団の皆様、原告団のお世話係の皆様には、いつも感謝申し上げます。家庭の事情で、何の協力もできないまま、今日までできております。本当に心苦しく思っております。今後とも宜しく願い致します。   | 7. 原告団・弁護団への感謝, 意見 |
| 165 | 今回の訴訟に関し、弁護団の各先生方の努力を評価して、厚く御礼申し上げます。今後益々ご活躍されることを、期待しております。  | 7. 原告団・弁護団への感謝, 意見 |
| 166 | 肝炎は感染症であり、ウイルスがいなくなった現在でも、周囲には話していません。誰でも、うつる病気は怖いものだと思います。今までにも、そのことを話した友人は疎遠になったりしました。友人が悪いわけではなく、感染症だから、仕方がないことだと思います。薬害肝炎原告団の方々や弁護団の方々の活動により、それ程感染させる病気ではないことを、社会に知ってもらい、気持ちも少し楽になり、本当に感謝の気持ちでいっぱいです。しかし、私の病状から、なかなかお手伝いなどできなくて、大変申し訳なく思っています。  | 7. 原告団・弁護団への感謝, 意見 |
| 167 | 今朝、被害の実態調査を書いている途中、テレビのニュースで、衆議院の法案で、救済法が可決されたこと、本当に良かったです。皆が地道に努力することが、世間を徐々に変えていく力になるということが、よく分かりました。山口代表初め弁護士達、原告団の地道な闘いが実を結び、本当に良かったと思います。落ち込んでいた気持ちに、光明が見えてきたように思います。  | 7. 原告団・弁護団への感謝, 意見 |
| 168 | 今現在は、通院しながらでも普通の生活ができていますが、検査のたびに不安になります。一日でも長く、今の生活ができるように願っています。日々の弁護団の方々の支援、ご協力には、とても感謝しています。  | 7. 原告団・弁護団への感謝, 意見 |
| 169 | 原告として、会合に出席できず、申し訳ございません。国から出たお金は、お父さんが入院した時のお金だよと、長男にも言っております。弁護団の方々頑張ってください。  | 7. 原告団・弁護団への感謝, 意見 |
| 170 | 医療問題は大変難しいと思う。特に、製薬会社、国を相手にひとつひとつ問題を掘り起こし、解決していくのは時間がかかり、精神的に前向きな気持ちを持ち続けていくのは大変なことだと思うが、「言っても無駄。国が相手じゃ分かってくれない」と、後ろ向きな気持ちになるような大きな問題にもかかわらず、中心になっている弁護団の姿勢、結果がしっかりしているの、時間がかかっても、地道にやっつけていることに感謝しています。ひとつの目標に向かって解決していく難しさは考えている以上に大変。一人の力は小さいが、志を持った人々の集まりが、大きな力になっていくという証明だと思う。諦めずに前に向かっていく姿勢に、本当に感心し、感謝しています。 | 7. 原告団・弁護団への感謝, 意見 |
| 171 | 薬害肝炎全国原告団及び弁護団の方々に感謝し、今後ともどうぞ宜しくお願い致します。  | 7. 原告団・弁護団への感謝, 意見 |
| 172 | 義父母介護のため、出席できませんが、原告団、弁護団の方々には、心から感謝しています。いつも応援させてもらっています。  | 7. 原告団・弁護団への感謝, 意見 |
| 173 | 訴訟は和解し、本当にほっとしました。この陰には弁護団、原告団の支援の方々、どれだけ多くの方々の努力があったことか。本当に感謝しております。又、それまで家族の中だけの苦しみとして暮らしておりましたが、支援し、理解して下さる人々と接することができ、本当に励みとなりました。ただ、病気との闘いは続きます。薬害は人の人生を変えます。薬害のない社会と、被害者に温かい社会になることを望みます。   | 7. 原告団・弁護団への感謝, 意見 |

| No. | ご意見、ご感想  | 回答内容分類            |
|-----|--|-------------------|
| 174 | 肝炎対策基本法成立、本当にお疲れさまです。このところ、家の事情で支援に何も参加できず、本当に申し訳なく思っています。皆様に対し、心より感謝申し上げます。   | 7. 原告団・弁護団への感謝、意見 |
| 175 | 担当弁護士の先生、弁護団の方々、今回は大変お世話になりました。感染原因もはっきり分かり、救済までしていただき、何とお礼を申し上げたらいいか分かりません。本当に有り難うございました。担当弁護士の先生も、とても親切で心強かったです。   | 7. 原告団・弁護団への感謝、意見 |
| 176 | この病気がニュースや新聞で取り上げられ、毎日のように流れているの聞きながら、自分も明らかにそうなのに・・・と思いながら聞いていても、仕事をしている自分が、原告団に入り、裁判に参加できない自分が、歯がゆい思いでいっぱいでした（闘ってくれている、原告団の皆さんの頑張りをしながら）。自分の通院している病院の担当医、医療相談員が窓口となってくれ、地元の弁護士の先生も窓口となってくれたお陰で、訴訟までこぎ着けることができました。自分1人では、あきらめていたと思います。  | 7. 原告団・弁護団への感謝、意見 |
| 177 | H19年、薬害肝炎訴訟問題が大きく報道されるまで、私は、薬と肝炎の関係も分かりませんでした。情報が大きくなるにつれて、内容に驚きと怒りを感じました。今、全面解決し、和解し、正式に肝炎法案も成立しました。ここまで活動し続けてきた原告団や弁護士の方々に、深い敬意と感謝の気持ちでいっぱいです。まだ救済されていない方々も沢山いるので、私も微力ながら、少しでもお役に立ちたいと思います。<br>今、●●県には「肝臓病友の会」がないということで、私がお世話になっている●●県●●●●●町の●●クリニックの●●先生が中心となって、「C型肝炎患者の会設立」に向かって、活動を進めているところです。第1回目の集まりは、H21.9.24で、●先生より肝臓病の話がありました。第2回目の集まりは、H21.11.26で、●●市の●●●●●クリニックの●●●●●先生の話があり、2つの病院の患者20人が集まり、勉強会交流をしました。患者の会は、まだ始まったばかりですが、立ち上げに先生方がとても熱心で、難しい病気ですが、有り難いと思います。肝臓病の原因、症状は1人1人違いますが、「同じ境遇の患者が体験を語り、不安を解消し、治療につなげたい」というのが目標です。今後、会員も増え、活動も患者中心になってくると思いますが、私も、少しでも活動に協力したいと思っています。原告団や弁護士の方々の力で、ここまで国を大きく動かし、肝炎法案の成立までもっていかれた姿に、大きな勇気をもらいました。本当にありがとうございました。又、一般の方々にC型肝炎という病気を理解して、考えていただく大きな一歩になったと思います。今後は、1人でも多くの患者が、適切な治療を受けられるような、体制作りをお願いします。そして、C型肝炎の治療の研究に、より一層力を入れてほしいと願っています。 | 7. 原告団・弁護団への感謝、意見 |
| 178 | 原告団の方、いつもご苦労様です。私は何もできないので、ただ感謝しております。何もせず、昔の人のように、自然に死んでいきたい。今は、緩和治療にだけ興味がある。   | 7. 原告団・弁護団への感謝、意見 |
| 179 | 親として、医学に関して無知だったことで、子供に不安、苦痛な思いをさせて、申し訳なさでいっぱいです。親はいまだに立ち直れません。子供の人生を壊してしまったこと。弁護団の先生方には感謝しています。原告団の方々にも、本当に有り難うございますの気持ちでいっぱいです。皆様方に会えなければ、ずっと悩み苦しむ人生だったと思います（母親）。  | 7. 原告団・弁護団への感謝、意見 |
| 180 | いつもお世話になり、ありがとうございます。お手伝いできないこと、申し訳なく思っています。これからも、よろしくお願い致します。   | 7. 原告団・弁護団への感謝、意見 |
| 181 | 声をあげて下さった方、そして、その周りの人達の力、凄い。国が動いた。私は、別の病気で苦しんでいます（難治性疼痛）。それも含みの記入です。   | 7. 原告団・弁護団への感謝、意見 |
| 182 | この病気になって、色々勉強しました。医療の事、人の心の事、弁護士の事、原告団の強さ。病気になって体は辛いけれど、得た事もありました。私は、カルテもあって助かりましたが、本当にこれからの事が不安でいっぱいです。肝炎患者全員が、国から保障してもらえるようになってほしいです。インターフェロンは、思っていた以上に辛い時があります。増えていくのは薬の量だけです。このたび送っていただいた本は、とても勉強になり、大変感謝しております。これからも、自分なりに頑張ろうと思っています。本をありがとうございました。  | 7. 原告団・弁護団への感謝、意見 |
| 183 | 先日の肝炎法案成立、本当に感激しました。国会議員の福田衣里子さんはじめ、皆様に感謝したいと思います。   | 7. 原告団・弁護団への感謝、意見 |
| 184 | 薬害肝炎全国原告団代表、山口美智子さん他の方々の力でここまでの運びとなりました。ありがとうございます。感謝感謝です。遠く離れていても、常に応援させていただいています。集会等の行事は、遠方に出かけたことがありませんので、失礼します。  | 7. 原告団・弁護団への感謝、意見 |
| 185 | 病気が進行していても、救済されない方が多く占める中、私はカルテが見つかり救済されましたが、健康が戻ったわけではありません。今後、絶対にこのようなことが起きないような社会にしてほしいと思います。活動されてきた原告団の皆様、今まで本当にご苦労様でした。ありがとうございます。  | 7. 原告団・弁護団への感謝、意見 |
| 186 | これからも、肝炎患者の救済のために尽力して下さいますよう、お願いいたします。   | 7. 原告団・弁護団への感謝、意見 |

| No. | ご意見、ご感想  | 回答内容分類           |
|-----|--|------------------|
| 187 | 過去の辛かった時期の事は思い出したくなく、「私の肝炎は血液製剤ではなく、命と引き替えの輸血のせい」と思い込もうとしていました。でも、食品偽装や農薬漬の野菜など、命よりも儲けを追求する報道が続き、未来の子供達のためにも黙ってはいけなと、行動にうつすことを決心しました。過去の記録を見ると、当時の辛かった日々が思い起こされ、胸がつまりました。その辛い過去から目をそむけず、さらけ出して闘ってこられた原告団の方達、又、それを支えて下さった弁護団の方達のおかげで、私は幸運にも、和解にまでたどり着くことができました。本当に有り難うございました。 | 7.原告団・弁護団への感謝、意見 |
| 188 | 私は幸運にもカルテがあったので、給付金をいただくことができました。弁護士、担当医師の力添えがあったからこそ、いただくことができ、感謝の気持ちで一杯です。肝炎と付き合いしていく上で不安はあるものの、一応は安堵することができました。これからも、薬害救済に頑張ってくださいと思います。  | 7.原告団・弁護団への感謝、意見 |
| 189 | 平成1年12月に感染。20年後、自分は肝ガンで死ぬと思っていた。双子を出産し、私が死んでも立派な人間になるようにと、厳しく育てた。神様に「彼等の成人式まで生かしてもらえませんか？その後は死んでも構いません」とお願いした。そして今、皆さんのおかげで和解でき、22年1月、あと約1ヶ月で成人した姿を見ることができ。弁護団の皆さま、その他関係者の皆さま、本当に有り難うございます。感謝し足りない気持ちです。あいにく、トラウマから不安神経症という別の病気になってしまいましたが、息子達の成長を見ることができて、幸せです。             | 7.原告団・弁護団への感謝、意見 |
| 190 | 職業上、あまり会合に参加できませんが、皆さんの活動に感謝しています。これからも活動を応援しています。チャンスがあれば参加したいです。   | 7.原告団・弁護団への感謝、意見 |
| 191 | ここまで肝炎患者が救済されたのも、原告団の代表の方々や弁護団の方々や協力して下さっているみなさんのおかげであると、感謝しています。本当にありがとうございます。本を読み、みなさんの努力の結果で、今があるのだと思いました。何も協力できていないことに、反省するばかりです。みなさんに感謝の気持ちでいっぱいです。   | 7.原告団・弁護団への感謝、意見 |
| 192 | 何時も並々ならぬご盡力により、一時的に安心できた状況で暮らしています。お力添えに感謝します。色々とお知らせをいただきながら、高齢のためあまり遠くに外出できず、不義理をしています。今後共ご支援をお願いいたします。ありがとうございました。皆さまのご発展をお祈りいたします。   | 7.原告団・弁護団への感謝、意見 |
| 193 | 弁護団の方、私達薬害原告団のために、いろいろ活動していただき、ありがとうございました。  | 7.原告団・弁護団への感謝、意見 |
| 194 | 私は、肝炎も感染の原因も、運良く判明し、補償も受けることができ、まだ幸せだと思っています。ここにくるまでの先人の苦勞を思うと、頭が下がります。  | 7.原告団・弁護団への感謝、意見 |
| 195 | 薬害肝炎との闘いの本を送って下さり、有り難うございました。本を読ませてもらって、私が病気になった時と、みんな同じ思いをしていたんだと感じました。病気になった時は、C型肝炎の事も全然知らなかったのも、ただ、病気を治すのに必死だった。原告団の皆さま、弁護団の方々、本当に有り難うございました。   | 7.原告団・弁護団への感謝、意見 |
| 196 | 原告団の方、弁護団の方には、感謝の気持ちだけです。いつもありがとうございます。  | 7.原告団・弁護団への感謝、意見 |
| 197 | 「薬害肝炎とのたたかい」をお送りいただきまして、ありがとうございました。弁護団、原告団の方々の長きにわたる勇気ある闘いによって、ようやく肝炎対策法が成立したことに、感謝の気持ちでいっぱいです。ただただ、頭が下がります。捨てる神あれば拾う神ありですね。皆さまのおかげで、また少し前向きに生きていけそうです。本当にありがとうございました。  | 7.原告団・弁護団への感謝、意見 |
| 198 | いろいろお世話になり、ありがとうございます。死なずに生きてきて、弁護団の優しさを味わえ、神様のように思えます。お身体に気を付けて、困っていらっしゃる方々を助けてあげて下さい。  | 7.原告団・弁護団への感謝、意見 |
| 199 | 薬害肝炎弁護団の先生方、スタッフの皆さまには、多大なご尽力をいただいておりますこと、心から感謝申し上げます。   | 7.原告団・弁護団への感謝、意見 |
| 200 | 肝炎になり、鉛を埋め込まれたような身体の苦しさを味わった。ずっと、こんな身体にされたことが悔しくてたまらず、被害者意識を持って生きてきたが、何人もの方が、長年国と製薬会社を相手に闘って下さり、和解を勝ち取って下さった。給付金をいただいたことはもちろん有り難いけれど、それよりもこの訴訟と和解によって、私は精神的に救われたと思う。これから前向きに生きていく気持ちにさせていただきました。感謝しています。   | 7.原告団・弁護団への感謝、意見 |
| 201 | 弁護士さんや原告団の方、協力して下さっている方達に、感謝の気持ちでいっぱいです。ありがとうございます。  | 7.原告団・弁護団への感謝、意見 |
| 202 | 自分が薬害肝炎の被害者だと知ってから約2年。提訴してからも、「フィブリン糊」に関しては、国、製薬会社ともなかなか和解に応じなかったが、弁護団の先生や原告団の仲間のおかげで、今年7月和解。9月に給付金もいただいた。ありがとうございました。   | 7.原告団・弁護団への感謝、意見 |

| No  | ご意見、ご感想  | 回答内容分類             |
|-----|--|--------------------|
| 203 | なかなか都合がつかなくて、行動に参加できなく、申し訳なく思っています。  | 7. 原告団・弁護団への感謝, 意見 |
| 204 | インターフェロンのおかげで、元気を取り戻しました。でも、病気と闘っている人もたくさんいます。私には今8才の女の子がいます。いろいろな事に参加はできませんが、頑張って下さい。   | 7. 原告団・弁護団への感謝, 意見 |
| 205 | 肝炎に感染して15年経って、自分のせいでこんな病気に感染したのではないと分かりました。それは、薬害肝炎弁護団の先生方が私を励まし、勇気づけてくれたお陰だと思っています。それまでは、本当に孤独の中で右往左往していましたから、カルテを取っておいてくれた病院、原告団に加われた事、裁判で勝訴を得た事、原告団の皆と共に製薬会社と闘ってきた事、病気を押して頑張ってきた事全てが、奇跡のような出来事でした。でも、この病気に感染していなかったら、大好きな夫と別れていなかったかも・・・。   | 7. 原告団・弁護団への感謝, 意見 |
| 206 | ようやく肝炎対策基本法が制定された。最後まで諦めず、原告団を率先してくれた山口美智子代表の頑張りには、心から敬意を示したい。又、今日まで後押ししていただいた弁護士の先生方や支援者の方々には、本当に感謝しています。   | 7. 原告団・弁護団への感謝, 意見 |
| 207 | 弁護団、支援者等多くの方々のおかげで、ここまで来ました。みんなが健康で幸せに暮らせるよう、今後は薬害根絶を目指して、薬害を経験した私達も、少しでも協力していきたいと思えます。  | 7. 原告団・弁護団への感謝, 意見 |
| 208 | 報道で、自分もこれが原因ではないかと思って色々調べたら、薬害肝炎だと分かり、怖くなり即治療を始め、ウィルスがなくなってくれたので、今のところは安心しているけれど、やはり、一生病院通いや不安はあるので、完全に安心はできないけれど、気付かせてくれたのは、やはり原告団代表、弁護団、関係者の方々のおかげだと、本当に感謝しています。これからも患者のために頑張って下さい。  | 7. 原告団・弁護団への感謝, 意見 |
| 209 | 山口美智子さん、出田妙子さん、福田議員には感謝。それだけです。  | 7. 原告団・弁護団への感謝, 意見 |
| 210 | 薬害肝炎補償の運動をしていただいた福田議員をはじめ、弁護団の皆さんに大変感謝しています。   | 7. 原告団・弁護団への感謝, 意見 |
| 211 | どうにかウィルスがなくなって、家族と生活できているが、1年前は大変でした。弁護士先生や一生懸命活動して下さいている人々に感謝しております。ほとんど会合に出席できないことを、申し訳なく思っています。   | 7. 原告団・弁護団への感謝, 意見 |
| 212 | 沢山の方々の活動に、感謝の気持ちでいっぱいでございます。厚くお礼を申し上げます。   | 7. 原告団・弁護団への感謝, 意見 |
| 213 | 今回の肝炎基本法案成立に、山口代表はじめ弁護士の先生方、その他尽力いただいたすべての方々に、お礼申し上げます。ただ、基本法等のゆくえをメディアで知るくらいのもので、何の活動もできず、心苦しく思っています。後は、肝硬変、肝ガンに移行せず、人生を送ることを願うばかりです。   | 7. 原告団・弁護団への感謝, 意見 |
| 214 | 原告団の代表、主だった方々、弁護団の方にひとことでは言えないほど感謝しております。何の手伝いもしておりません。鹿児島では何か活動があるのか？他の県の方々は頑張っておられるのに、申し訳ないです。大きい事はできないけれど、何かの手伝いはできるのでは？と思っています。  | 7. 原告団・弁護団への感謝, 意見 |
| 215 | 弁護士の先生方にこそ、命を救われました。感謝の気持ちでいっぱいです。ありがとうございます。お陰様で、原告数もずい分大勢になりました。その分何かと世話も大変だと思いますが、今後どうぞ手助け、導きをよろしくお願い致します。  | 7. 原告団・弁護団への感謝, 意見 |
| 216 | 原告団の皆様、弁護士の先生方の活動に、心からお礼申し上げます。ありがとうございました。  | 7. 原告団・弁護団への感謝, 意見 |
| 217 | いろいろご案内をいただきますが、どれにも参加できずにすみません。今は、定期検査等に通いながら家のことを手伝い、空いた時間をみて、送っていただいた本に目を通して頂いています。弁護士の先生方、原告団の皆様のご健勝をお祈り申し上げます。ご活動の数々ありがとうございます。   | 7. 原告団・弁護団への感謝, 意見 |
| 218 | 私の場合は、幸運にも17年前のカルテが残っていたこと、また、転院した際の添え書きも残されていたため、スムーズに認められ、とてもラッキーだったと思います。でも自分から動かなければ、何も始まらなかったことでもありました。「もしかしたら？」という疑問と、回り（特に両親、妹）のすすめで資料を取り寄せてみると、はっきりとした感染源がわかりました。それから弁護団の先生に連絡をとるまで数ヶ月もかかり…。せっかくなかった命だから…。でも皆さんが苦勞して勝ち取ったものに乗っかってよいのか、とさまざまな心の葛藤があったのも事実です。主人はこの事実からは目をつぶっていたいようです。話をするのも好みません。多分、出産時のことは思い出したくないということだと思います。関心のない様子ですね。原告団の方々の努力には本当に頭が下がります。いつもありがたいことだと心の中では感謝しています。積極的に参加はできませんが、応援はしています。 | 7. 原告団・弁護団への感謝, 意見 |



| No  | ご意見、ご感想   | 回答内容分類                |
|-----|---|-----------------------|
| 240 | 質問内容及び回答が難しいです。   | 8. この調査・調査票への御意見      |
| 241 | 治療の経験もほとんどなくて、提出をずっとためらっていた。  | 8. この調査・調査票への御意見      |
| 242 | ・無傷の、幸せな子供との家庭を夢見た、多くの主婦の将来を踏みにじった。この事件で被害を受けた方々の、今後の生活を保障してほしい。一時的な金銭ではない。<br>・再発防止。人命尊重の精神が、企業、国があれば、再発は防止され、子供達の将来は明るい。  | 9. 過去の辛かったこと、被害を受けたこと |
| 243 | 治療に必要な費用もさることながら、それを受ける大変さと時間は戻ってこない。20年以上の間の大変さは、その人（肝炎患者）にしか分からない。治療は進んだといえども、辛いものである。  | 9. 過去の辛かったこと、被害を受けたこと |
| 244 | 22年前の今日、退院しました。その後数年間、生命の危険と隣り合わせの気分であったこと、3人目の子供は、母子感染の危険が否定できないので諦めたことなど、思い出してしまいます。現在、肝機能異常もなく、普通に生活できることに感謝しています。原告団の活動に、なかなか参加できずに申し訳ありません。  | 9. 過去の辛かったこと、被害を受けたこと |
| 245 | 肝炎発症から22年。毎日毎日不安を感じながら過ごしてきた。犠牲にしてきたことも、数多くある。自分は運が悪かった。命だけでも助かったから良かったと、だんだん前向きには生きてきましたが、いつも身体をいたわりつつ、激しいスポーツもできず、数値に一喜一憂。今数えるだけでも、200回以上も検査結果に落胆していたことになる。楽しい事より、憂える回数の方がはるかに多い。C型肝炎への恐ろしさを知るうちに、「死」という文字も頭にかすむようにもなった。もし、あの時から普通の健康体であれば、自分と家族の人生も変わっていただろう。が、沢山の人の導きで、インターフェロン治療も受けられ、ウィルスが消えた。薬が効いた。「私は運が良かった」と感謝したい。 | 9. 過去の辛かったこと、被害を受けたこと |
| 246 | 私の人生30数年の大事な時期。子供3人の入学卒業、親戚の結婚式、葬式のほとんどの行事には、出席できませんでした。周りの輪の中に入れない人生。68才になりましたが、今回の薬害C型肝炎と分かり、とても複雑な気持ちでおりますが、残された人生がまだわずかにありますので、一日一日を大切に生きようと、改めて思っております。  | 9. 過去の辛かったこと、被害を受けたこと |
| 247 | 子供の結婚をだめにしてしまった。母親がC型だと分かった途端、反対され離婚してしまった。理解していただけませんでした。私自身も、体調の悪さが分かってもらえず、怠けていると思われ離婚しています。本当に悔しいです。9ヶ月で死産。その後の人生です。  | 9. 過去の辛かったこと、被害を受けたこと |
| 248 | 私の人生の半分は、肝炎に振り回されました。本来は、悩まなくても済んだこと、使わなくて済んだお金、傷つけられなくても済んだプライド、失わなくて済んだ人間関係等々、振り返れば、本当にため息が出てしまいます。しかし、病気の方々への思いやり、思うようにいかない人生の割り切り方、薬害肝炎を通じて知りあった方々等、予期せず手に入れた貴重な事もあったように思います。肝炎対策基本法も成立しました。今後も、薬害肝炎事件に関わった1人として、少しでも肝炎患者の医療や生活が向上できるよう、活動に参加していきたいと思っております。又、私自身の人生も充実していけるよう、努力していきたいと思っております。                        | 9. 過去の辛かったこと、被害を受けたこと |
| 249 | 辛かったです。   | 9. 過去の辛かったこと、被害を受けたこと |
| 250 | 今は症状がなく、ウィルスも消えたので穏やかだが、20年間の苦痛は忘れられないし、今後、再発や肝癌の事がいつも気になっている。今は治療してないが、腕の注射跡は消えなくて、人から見られるのが辛い。  | 9. 過去の辛かったこと、被害を受けたこと |
| 251 | 出産後の感染でしたので、治療のため産科病棟に引き続き入院し、そこの看護師に、まるでばい菌のように扱われました。感染の恐怖、絶望感、子供と引き離された苦痛、それに加えた産科病棟での対応。私の人生にとって、最低最悪な出来事でした。ずっと封印して生きてきました。孤独な闘いでした。   | 9. 過去の辛かったこと、被害を受けたこと |
| 252 | 何も知らなかった長い間、感染が原因とは分からず、体が動かないのは、怠け癖の性格だと済ませていました。これなんだ！！と思った時には、もう長い時間が経っていました。ガンになるかもしれない、絶対にガンになると主人から言われ、治療を始めましたが、今まで以上に体が疲れたり、しんどかったり、イライラしたりで大変でした。今もまだ3回目の投与を受けていますが、治るのか治らないのか？仕方がないで済ませてしまっているのかな？と思ったりもしますが、こんな自分が情けないです。  | 9. 過去の辛かったこと、被害を受けたこと |
| 253 | 最初は、C型肝炎？と、ピンと来なかったのですが、自分は大変な病気になっているんだと、だんだん実感するようになり、一時期は、とても悩んだこともあります。私達は、薬をとっても信用して使用するので、このような事はないように、気を付けてもらいたいと思っております。  | 9. 過去の辛かったこと、被害を受けたこと |
| 254 | 防げた事なのに・・・と思うと、何もかもやりきれなくなる。  | 9. 過去の辛かったこと、被害を受けたこと |

| No. | ご意見、ご感想  | 回答内容分類                |
|-----|--|-----------------------|
| 255 | 肝炎の活動を通じて、色々な事を見ることができました。病状のひどい人がたくさんいること。20～30年も経ってから表に出た薬害。子供を育てていくという重要な時に肝炎を患い、ひどい人は死にまで至っている。私はその人達に比べてましな方ですが、治療費は生活に重くのしかかってきました。いつも心に何かしきみがあるみたいな日々でした。でも、体もままならない人もたくさんいるので、頑張って活動をしていきたいと思えます。  | 9. 過去の辛かったこと、被害を受けたこと |
| 256 | 肝炎に感染させられたこと、毎週の通院治療、副作用、すべてが辛いです。   | 9. 過去の辛かったこと、被害を受けたこと |
| 257 | 人は間違いを起こすが、これは防ぐことができた間違いだった。悲しい。  | 9. 過去の辛かったこと、被害を受けたこと |
| 258 | 人生が変わり、家族のための自分の役割が減ってしまったことが残念です。   | 9. 過去の辛かったこと、被害を受けたこと |
| 259 | 思い出すのも嫌な数年でした。もう忘れたいし、考えたくもないです。今のこの生活を楽しめるよう、努力していきます。  | 9. 過去の辛かったこと、被害を受けたこと |
| 260 | 自分の事より、子供が健康で育つように力を入れてきた。親の気持ちが子供に残っているのか心配です。20才になり、初めて病気の事を話し、親子で泣いた。今まで心の中でいつも泣いていたから、今うつ病になって治療中だ。これからは前向きに、あまり後ろに帰らないようにしていきたい。薬害の仲間や弁護士の先生方に感謝しています。  | 9. 過去の辛かったこと、被害を受けたこと |
| 261 | 病気にされ、今はウィルスが検出されていませんが、人生を狂わされてしまった思いは、消えることはあまりせん。   | 9. 過去の辛かったこと、被害を受けたこと |
| 262 | 弁護団、原告団の皆さまには、大変お世話になっています。何の協力もできず、心苦しく思っています。12月26日で娘は23才になりました。23年前の出来事。数ヶ月共に入院生活をしてきたことなど知らず、良い子に育ってくれました。それでよしと思ひ込んで、生きて行こうと思ひます。   | 9. 過去の辛かったこと、被害を受けたこと |
| 263 | 20年前にC型肝炎に感染した時、現在のような情報もほとんどなく、輸血をしたから仕方がないと思っていました。最近、何年かでのいろいろな事が分かってきて、「本当は私が悪いんじゃない」と思えるようになりました。でも、ニュースや本を見て分かってきた分、「いつ動けなくなるのか」「がんにはなりたくない」と考えるようになりました。20年前の身体に戻してほしいです。   | 9. 過去の辛かったこと、被害を受けたこと |
| 264 | 肝炎にかかって35年も過ぎているので、いろいろ思い出す事が大変でした。つらい事ばかり覚えていたのが、つらかったです。幸いにも、病状は安定しているの、気長に人生を歩んでいきたいと思ひています。  | 9. 過去の辛かったこと、被害を受けたこと |
| 265 | 尊い生命を人より早く達してしまう薬害、悔しい。もう少し生きたいと思ひ。  | 9. 過去の辛かったこと、被害を受けたこと |
| 266 | 大人が当たり前前にできていることができない悲しさ、つらさ、むなしさって、きっと他の方には理解できないんだと、つくづくこの23年間思ひてまいりました。それは私とて同じだと思ひます。他の病気で苦しむ方達に可哀相と思ひますが、それで終わってしまうのです。1人で人生を歩いているのなら、仕方がないと済ましていたかも知れませんが、やはりどなたにも子供はいなくても、産んでくれた親がいる、兄弟がいる、姉妹がいる。自分が苦しむことによつて、きっと身近な者は心を痛めていたと思ひます。自分の手で相手を傷つけてなくても、こういう形で心を傷つけるなんて・・・と、自分を責める。笑顔の回数が少なかった半生です。 | 9. 過去の辛かったこと、被害を受けたこと |
| 267 | 感染させられて28年が過ぎ、今では健康だった時の事など、思ひ出せない程遠い昔の事になってしまいました。肝炎じゃなかったら、もっと違う人生が歩めたかと思ひと悔しい。一生、再発、肝ガンの恐怖と付き合ひていく悔しさを、国と製薬会社に分かってほしい。元の体に戻してほしい。   | 9. 過去の辛かったこと、被害を受けたこと |
| 268 | 治療中の1年間と治療後の経過観察の半年間、仕事ができず、更に、定期的な血液検査のため、なかなか仕事に就けなかった。  | 9. 過去の辛かったこと、被害を受けたこと |
| 269 | 精一杯アンケートにも協力したかったのですが、インターフェロン治療中で体調も悪く、思ひように進みませんでした。23年間のいろんな思ひがよみがえり、涙がこぼれ、つらかったです。今まで一番つらかったのは、裁判が終わり給付金が振り込まれた時、「お金の問題じゃない、身体を戻してほしい!!」と、1人で大泣きしました。悔しかった。  | 9. 過去の辛かったこと、被害を受けたこと |
| 270 | インターフェロン治療で完治いたしました。しかし、この22年間の苦しき、悩みは表現できないくらいに苦痛でした。現在、C型肝炎で苦しんでおられる方々のためにも、このアンケートが有効活用されることを期待しております。  | 9. 過去の辛かったこと、被害を受けたこと |

| No. | ご意見、ご感想   | 回答内容分類                |
|-----|---|-----------------------|
| 271 | 昭和61年5月に結婚14年目に授かった子供を出産した時出血がひどく、輸血とフィブリノゲンで肝炎になりました。子供は未熟センターに入り、私は内科に入院しました。娘は2,800gになり退院しました。私1人退院できず、どんなにつらく悲しく、ベッドの上で泣いてばかりでした。なぜ、私がこんな病気にかかったの、どうしてと嘆きました。最初はC型肝炎とは分かりませんでした。先生より告知された時はショックでした。今年娘が教員になり、先生として頑張っています。元気で活躍している姿に、私も主人も喜んでます。私達の心の支えになってくれます。元の元気な体には戻りませんが、生きている限り、生かされている限り、命を大切にしたいです。           | 9. 過去の辛かったこと、被害を受けたこと |
| 272 | ・私の青春を返してほしい<br>・子育てで、子供達に対して一緒に遊んでやれなかった<br>・日々、年月を、20数年間を返してほしい<br>・妻として嫁として何もできなかった。病院通いの辛い日々しか思い出せない。悔しい。人並みの日々ができたらいいに。  | 9. 過去の辛かったこと、被害を受けたこと |
| 273 | 自分の体調不良、C型肝炎の本当の原因が昨年の1月に分かり、本当に愕然としました。よくもこの日この時まで、知らせずに隠してきたものだ、人の命を何だと思っているのかと、やりきれない思いでした。健康、家族、子供の将来、金銭面で様々な不安を抱え、検査のたびに数値が上がっていないよう祈る思いで生活してきました。何とか仕事を続けることができ、昨年から今年にかけ、インターフェロン治療も無事に終わり、一息ついてます。しかし、一生経過を見ていかなければと思っています。   | 9. 過去の辛かったこと、被害を受けたこと |
| 274 | C型肝炎について聞かれたりするの、すごいイヤです。C型肝炎を告げるのが、ものすごくつらい。   | 9. 過去の辛かったこと、被害を受けたこと |
| 275 | C型のために、出産時普通分娩をあきらめました。C型のために、小学生の頃から我慢したことがいろいろありました。全て仕方がないことだと思っています。  | 9. 過去の辛かったこと、被害を受けたこと |
| 276 | 検査数値を気にし、病気の進行を気にしての生活。人生やり直せない。悔しい一言。  | 9. 過去の辛かったこと、被害を受けたこと |
| 277 | いまだに自分が何故肝炎に感染しなければならなかったのか？悔しい思いと、もう思い出したくないというのが本音です。なぜならそれは過失であり、防ぐことができたのにとすると、残念で・・・私のトレードマークは、「明るく元気」でした。発病してから20年間、職場で、家族や知人の前で元気にしていることに疲れ、仕事を辞めましたが、病気に対する不安が変わることもなく、毎日私を悩ませ続けています。平成5年インターフェロン治療を受け、副作用でうつ病になり、治療は中断しましたが、いまだに睡眠剤がないと、不安で夜が眠れません。しかし、病気でも得たことも沢山あり、死ぬまでにはすべてを受け入れ、これが私の人生だったと思えるよう、努力したいと思っています。 | 9. 過去の辛かったこと、被害を受けたこと |
| 278 | 人生の半分を肝炎という病気と闘い、それにより、あらゆる臓器も損なわれ、20年間苦しんできました。特に、私の場合は常に血小板は低いが、他の数値は正常だったため、ガイドラインの壁があり、治療が遅れ、2回目のインターフェロンはできず、肝硬変まで進んでしまいました。もっと早く国が生命の根源を知っていれば、こんなにも多くの肝炎患者がでなかったと思います。生命というものを、深く重く受け止めてほしいと思います。  | 9. 過去の辛かったこと、被害を受けたこと |
| 279 | 肝炎は大変な病気だと思います。今現在治療をしていて、体調はあまりよくありませんが、前向きに進んでいこうと思っています。介護を要する家族もいるので、頑張ろうと思っています。世の中にはいろいろな人がいると思います。普通の人とは違う生活を送っている人もいます。あまり活動には参加できません。  | 10. 将来への不安・展望、生き方     |
| 280 | 今はノンキャリアですが、これからがとて心配です。  | 10. 将来への不安・展望、生き方     |
| 281 | 慢性肝炎と診断されながらも、昨年まで数値も正常で、意識することなく生活してきたが、いざ数値が上昇し、治療等が現実味をおびてくると、自身の病気に対する知識、認識の少なさを実感しています。今後、自身の治療と、薬害という問題への関心を強めていきたいと考えています。   | 10. 将来への不安・展望、生き方     |
| 282 | 現在の体調など、年齢からくる体力低下もあります。必ずしもC型肝炎と結びつけて考える必要はありません。これからも楽しく好きな事を（仕事、趣味）続けていこうと思っています。少々不安もありますが（肝硬変になるのか？）、今後薬害のない社会をと願っています。  | 10. 将来への不安・展望、生き方     |
| 283 | いつもお世話になっています。皆様に支えていただいているのに、何もできずに申し訳なく思っています。今は、ほのかに明るく見えるトンネルを、歩いているような状態です。この中から、早く抜け出したいと思っています。  | 10. 将来への不安・展望、生き方     |
| 284 | 今は、病気の事を忘れるくらいに元気ではあるが、インターフェロンの治療をしても治らず、ウィルスは体内にいる。今後、肝硬変、肝臓癌へと進行していくのではと、不安になります。  | 10. 将来への不安・展望、生き方     |

| No. | ご意見、ご感想  | 回答内容分類             |
|-----|--|--------------------|
| 285 | 今、これとって自覚症状はなく、今年就職もでき、うまく人生を歩んでいるが、近い将来、治療することになると思うと、先が見えずとても不安です。これから先、結婚もしなくてはならない時期も来ると思うが、この事で妨げにはならないだろうか。考えると、とても気持ちが重いです。   | 10. 将来への不安・展望, 生き方 |
| 286 | 治療を始めたら、健康状態が酷くなるものなのか不安。今のままでは、ウィルスはなくなるので不安。   | 10. 将来への不安・展望, 生き方 |
| 287 | もうすぐ治療に入ります。副作用のこととか考えると不安です。身体的には大丈夫なのですが、精神的に落ち込んだりする日々です。完治目指して頑張ります。   | 10. 将来への不安・展望, 生き方 |
| 288 | 善悪に対し、沢山の思想、痛み、運命、誠実、感謝、受容。今回は参加させていただき、良かったです。  | 10. 将来への不安・展望, 生き方 |
| 289 | 普段は笑顔で生活している私ですが、先日、大変な事が我が身に起きてしまったため、ネガティブな回答になってしまいました。   | 10. 将来への不安・展望, 生き方 |
| 290 | 自分の体も心配ですが、子供達に感染していないか、とても不安です。   | 10. 将来への不安・展望, 生き方 |
| 291 | この数ページのアンケートに答えるにも、集中力がなあと実感。インターフェロンも残りわずか。完治することを願い、毎日家族に支えられ、いろんな意味で苦痛に耐えています。過去のことを恨んでも、仕方がありませんが、消せない過去です。今を助けて下さい。   | 10. 将来への不安・展望, 生き方 |
| 292 | 肝炎になって、持病が3つになる。3つの病気の治療をしなければいけない。  | 10. 将来への不安・展望, 生き方 |
| 293 | 肝炎になって20数年。いつ、病院のベッド上での生活になるかもしれないという不安。仕事をしなければ生活していけないのに、普通に仕事をする職場を奪われてしまうことへの不安(体力的に、フルに働くことができなくなることによる経済的不安)。そして、病気を知って去っていった人々。そのことでの精神的、肉体的苦痛。これは、この病気になった人にしか分からない。せめて、働けなくなった時の経済的手当、支援(病気治療費含めての)を、確立してもらいたい。 | 10. 将来への不安・展望, 生き方 |
| 294 | 年に数回、アレルギーショックがあり、救命救急へお世話になることがあり、原因が解らず、輸血の影響かと思うことがある。元の体を返してほしいです。無理とは分かっています。でも、言いたくなる気持ちも、少しは分かかって下さい。毎日、「今日は大丈夫かな?」と、自分の体に聞いて暮らしています。20年以上過ぎましたが、これからが大変かなと思っています。  | 10. 将来への不安・展望, 生き方 |
| 295 | もう少し、長生きしたいと思っております。   | 10. 将来への不安・展望, 生き方 |
| 296 | ふだんの活動や行動、人との付き合いを、身体の痛みや心理的、身体的に妨げられるのではなく、自分自身で「ここまで」と、範囲を決めてしまうクセというか、何をしてもいつも自分の限界を考えてから、活動するようになっていきます。   | 10. 将来への不安・展望, 生き方 |
| 297 | 私が今一番望んでいることは、出産前の健康な体を返してほしい。苦しかった38年間を、もう一度健康な体で過ごさせてほしいということです。しかし、これは叶えられない願いです。それどころか、今は2ヶ月に1度のCT検査の結果に、一喜一憂しております。「がん」が再びできていないようにと願いながら、死への恐怖を抱えての生活が、いかに大変なものか、言葉では言い表せません。                                      | 10. 将来への不安・展望, 生き方 |
| 298 | C型肝炎は、生まれ変わらせるための病気でした。感謝しています。賠償金は、残りの人生を生き抜くための軍資金です。今、私は最高にハッピーです。  | 10. 将来への不安・展望, 生き方 |
| 299 | 治療と同時に仕事を辞めて4年。2回目の治療も効果なく、少量投与も中断しています。この不況の中、笑える日が来るのか・・・。   | 10. 将来への不安・展望, 生き方 |
| 300 | 何年も病気と上手に付き合い合っていると、いつも動いた時には休むというのを、20年以上続けていて、やりたい事が他の人より時間がかかってしまうのは、辛いものです。原告団を最初に立ち上げてくれた方々と弁護士の先生方には、本当に感謝しています。なるべく元気で、長く生きたいです。  | 10. 将来への不安・展望, 生き方 |
| 301 | 1日でも長く生きていたいと、無理せず肝炎とつきあってきましたが、20年も経つと、確実に体力もなくなり、何よりエコーやMRで映像化された肝臓の様子を見ると、目をおおいたくなります。効果的な治療薬が、1日も早くできることが望まれます。情報もお知らせ下さい。   | 10. 将来への不安・展望, 生き方 |
| 302 | 怒りはずっと持たずにいる。勉強不足だったからだと思う。身体的にも精神的にもしんどいと思う。頑張ってた下さった方達のおかげで、和解金もいただいた。申し訳ない気持ちもあるが、現実には和解金のお金で、無理して働かなくても良いので、有り難いことである。肝炎患者のためにできることは、ずっとさせていただく。今までも、ピラ配りなどさせていただいた。   | 10. 将来への不安・展望, 生き方 |

| No  | ご意見、ご感想  | 回答内容分類             |
|-----|--|--------------------|
| 303 | 昨年インターフェロン治療をしましたが、副作用が激しく、3回の治療で断念することになりました。今後、新しい治療薬ができるまで、C型肝炎と付き合っていくこととなります。大きな不安で、頭がいっぱいになることもあります。次治療する時の医療費の自己負担も、年をとるにつれ不安でいっぱいです。今この不況の中、パートに行っていますが、待遇がどんどん悪くなってきています。しかし、この病気を抱えたまま、転職を考えることもできません。   | 10. 将来への不安・展望, 生き方 |
| 304 | 私はまだ発病していません。でも、ウイルスは死滅しにくいウイルスと聞きました。早めに治療をと先生に言われましたが、母子家庭で、年齢的にも次の仕事があるとは保障がないし、治療すると体が疲れやすくなって、仕事ができなくなるかもしれません。たおれるまで働かなくてはならないし、子供に負担をかけることはできません。八方塞がりです。毎日がとても怖く、どうしていいのかわかりません。頼れる身内もないし、誰にも相談できないのです。国からいただいたお金は、発病して仕事ができなくなった時のためにおいていますが、何年かしか生活できません。もし発病したらと考えると、早く死にたいと思います。もし治ったとしても、体がボロボロになって、年も60才を越えていたら、仕事なんてないでしょう。とても怖いのです。この活動にも、参加したくてもできないのです。余裕がありません。でも、早めに治療を受けた方がいいのか、迷っています。まだ発病していない方の意見も聞ければ、うれしく思います。いつもお世話になり、有り難うございます。 | 10. 将来への不安・展望, 生き方 |
| 305 | 今定期検診を受けている病院では、再発の可能性は0に等しいと言われているが、他の医療機関の人からは、C型肝炎はまだすべてが解明されていないので、再発の可能性が高いとも聞いたことがあるので、100%安心できないと思う不安はある。   | 10. 将来への不安・展望, 生き方 |
| 306 | 人類だけの繁栄は有り得ない。自然の前に謙虚にC型肝炎を受け止め、これ以上肝臓疾患を増やさない自己の危機管理を徹底して、共存共栄の自覚が個々必要だと思います。2ヶ月毎の必要な各種検査で、主治医に管理してもらい、適当なアドバイスももらっているのに、ウイルス陽性のみで、肝臓は全て異常ありません。  | 10. 将来への不安・展望, 生き方 |
| 307 | 昨年、新しく生命保険に加入したのですが、最近2年以内で検査を受けて、要再検査などの指摘がありますか？の告知書に別になかったのに、いいえとしていたのですが、C型肝炎ということで、特定部位、指定疾病不担保ということになってしまいました。検査の方は良好で、すでにインターフェロン治療して7年も経つのに、とても悔しい思いをしています。検査して陰性とでているのに、終身保障がないと思うと、本当に悔しいです。   | 10. 将来への不安・展望, 生き方 |
| 308 | 死に対する不安はいつもある。   | 10. 将来への不安・展望, 生き方 |
| 309 | なるべく被害者だと思わずに生きていこうと思っています。自分の人生の中では重い事ですが、「私=C型肝炎」として、上手に付き合っていきたい。   | 10. 将来への不安・展望, 生き方 |
| 310 | 一時大きなお金が入っても、なかなか仕事ができず、これからの生活が不安である。   | 10. 将来への不安・展望, 生き方 |
| 311 | 現在は肝硬変ですが、いつガンになるか毎日が心配で、気の休まる時のない生活を送っています。私にしたら、毎日がつらい生活です。  | 10. 将来への不安・展望, 生き方 |
| 312 | 私はまだそれほど病状は重くないのですが、これからどうなるのか心配です。でも、前向きに生きていきたいと思っています。  | 10. 将来への不安・展望, 生き方 |
| 313 | 1日も早く特効薬が作られる事を望んで、1日でも長生きしたいと願っています。  | 10. 将来への不安・展望, 生き方 |
| 314 | 母から母子感染の事を聞かされ、薬害だという事も分かりましたが、自分の中でどう受け入れて、今後どうしたらいいのか戸惑っています。母に対しても、肝炎に関する話をされると、素直になれずに強がっていますが、これから就職活動をする上で、身体上、肝炎だというのが頭の中について回るのを、将来の不安は沢山あります。キャリアでも治療できる方法があれば、治療して早く元気になりたいです。   | 10. 将来への不安・展望, 生き方 |
| 315 | 毎日が不安定な生活をしております。早く良くなれるよう、色々な情報があれば、お知らせ下さい。  | 10. 将来への不安・展望, 生き方 |
| 316 | いつもお世話になっています。ありがとうございます。これから、自分の体がどういうふうになっていくのか不安です。一生病院通いかと思うと、前向きにはなれない。   | 10. 将来への不安・展望, 生き方 |
| 317 | 今は薬を飲んで定期的に通院していますが、これがいつまで続くのか？将来も不安な気持ちで過ごしています。   | 10. 将来への不安・展望, 生き方 |
| 318 | みんなが前向きに、幸せな人生を送れるようになってほしいです。病気になって良い事も悪い事もあると思いますが、自分は誰かのせいとかではないと思います。どんな病気も一緒だと思います。本当に、自分の受け止め次第で、前向きに生きられるのですから・・・。支えてくれる人が沢山いますので、心強いです。  | 10. 将来への不安・展望, 生き方 |

| No  | ご意見、ご感想   | 回答内容分類            |
|-----|---|-------------------|
| 319 | 私の人生は、20数年前から変わりました。毎日が何をすることも不安でたまりません。  | 10. 将来への不安・展望, 生き |
| 320 | 年が明けてから仕事を辞め、治療に前向きになりたいと思っています。  | 10. 将来への不安・展望, 生き |
| 321 | 現在も、予防接種で死者がでていのに、その事実を隠していることに、事故の教訓が生かされていないと感じます。国の責任を、今まで問題としてきたのに！   | 11. 国・会社・医師などへの意見 |
| 322 | 国、医師、製薬会社が他人事にせず、自分や家族に置き換えて、責任のある行動をとることを期待する。1日でも早く法律ができ、肝炎患者全員が、安心して治療が受けられる制度を確立していただきたい。金銭援助を強く願う。   | 11. 国・会社・医師などへの意見 |
| 323 | 肝炎患者全員350万人に、障害者手帳の交付、年金の給付を具体化切望します。肝障害の度合いで認定とありますが、時間と共に機能は悪化、進行していますので、差別することには反対します。全員救済を、ぜひ対応願います。  | 11. 国・会社・医師などへの意見 |
| 324 | どんな経路で感染したにしても、肝炎患者全員が救済され、安心して治療できるようにしてほしい。   | 11. 国・会社・医師などへの意見 |
| 325 | 本来、病気を治す薬で病気になるなど、あってはならないことだと思います。肝炎の治療は進んでいるので、適切な治療をすれば、元気になれることもあります。ですから、すべての患者が安心して治療を受けられ、元気になれるよう、今度こそ医療関係者、国、製薬会社が力を合わせていただきたいと思います。患者が闘う相手は、ウイルスだけです。   | 11. 国・会社・医師などへの意見 |
| 326 | 私は、2回のインターフェロン治療により現在検出されませんが、肝炎患者が、安心して治療を受けられるようにしてほしい。   | 11. 国・会社・医師などへの意見 |
| 327 | 出産後、輸血での肝炎の危険性は説明を受けましたが、止血剤での説明はありませんでした。2年間の治療、経過観察が終了し、医師からもこれからの危険性等の説明もなかったため、自分では肝炎は治ったものだと思っていました。昨年11月～今年10月までインターフェロン治療を受け、ひどい副作用にも耐えて頑張りましたが、ウイルスは消えません。また闘いです。治療を受けます。専門病院を増やして下さい。大学病院関係で大きい総合病院だったので安心して受診していたのですが、10年間C型肝炎で通院していた医師は、専門医ではなかったのです。又、何回でもインターフェロン治療の助成が受けられるようにして下さい。薬害を、もう絶対に起こさないで下さい。 | 11. 国・会社・医師などへの意見 |
| 328 | 薬害肝炎の原告のみならず、肝炎患者のための救済を、是非ともお願いしたい。安心して治療を受けられる体制を、急いで作ってほしい。  | 11. 国・会社・医師などへの意見 |
| 329 | 民主党の票集めの道具にされていると思う。  | 11. 国・会社・医師などへの意見 |
| 330 | 今は元気になり、医療費は検査のみとなりましたが、20年以上治療につき込んできた結果、今があるので、私のように数値が下がるよう、早く治療して元気になれると、患者の皆さんに働き掛けて下さい。治療は、早い方がいいと思います。   | 11. 国・会社・医師などへの意見 |
| 331 | 私は、平成20年にインターフェロン治療をしましたが、再燃してしまいました。国、製薬会社は、完治するまで、きちんと責任をとってほしいと思います。   | 11. 国・会社・医師などへの意見 |
| 332 | 本人を基に回答させていただきましたが、家族としての意見を書かせていただきます。薬害のため、家庭内にどれ程の問題が起こるか考えていただきたい。国民病とまで言われる今日。そして、感染力の怖さ。三女の私もC型肝炎です。どういう経路かは分かりませんが、これは人災です。  | 11. 国・会社・医師などへの意見 |
| 333 | どんなに時間がかかっても、薬害C型肝炎の原因究明を、被害者が納得できる形でしてほしい。そして、今後薬害が起こらないように、国、企業が、国民に見える形で努力を示してほしい。こんな体になっても、私はこうして今もここに生きています。薬害だけではなく、医療の現場で、これからは感染することのないようにして下さい。被害者は、患者だけではなく、家族も長い間苦しんだのです。  | 11. 国・会社・医師などへの意見 |
| 334 | あまりにも無責任すぎる。信頼できない。   | 11. 国・会社・医師などへの意見 |
| 335 | 医療や生活を保障する恒久対策をお願いしたい。  | 11. 国・会社・医師などへの意見 |
| 336 | 人の命の尊さという事を、もっとしっかり国をはじめ製薬会社に強く求めます。私は幸いにしてインターフェロンが効きましたが、インターフェロン治療中は本当に辛く、うつ状態になりました。2ヶ月に一度肝炎の検査に行きますが、数字が動くたびに、びくびくしていることも事実です。   | 11. 国・会社・医師などへの意見 |

| No  | ご意見、ご感想  | 回答内容分類            |
|-----|--|-------------------|
| 337 | 1人でも多くの人々が、国または製薬会社によって保障されて、治療が出来ること。本当の良薬を作っていたことが、犯した罪の責任ではないでしょうか。妹は（本人）、毎日が命との闘いです。私は毎日ドキドキして過ごしております。  | 11. 国・会社・医師などへの意見 |
| 338 | ・体が辛くても、生活をするために働かなくてはいけないし、ストレスで精神状態もずっと良くない状況の中、恒久的対策がとられ、支援法で少しでも人間らしく生きられるよう、法で守ってほしいと思います。<br>・原告団に入り、同じ病気の方の話や集会に参加させていただき、精神面で大変力になっていただいています。  | 11. 国・会社・医師などへの意見 |
| 339 | C型肝炎で苦しんでおられる方、まだまだたくさんいらっしゃいます。裁判に持ち込めない方々、とてもお気の毒に思います。たまたまカルテが残っていたため、和解できましたが、あっても1年かかりました。国と製薬会社は、自分達の罪を分かっているような気がします。ひとごとだからだと思います。お金をいただいても、人生は戻ってくるわけではありません。思い出したから胸が熱くなり、具合が悪くなりそうです。   | 11. 国・会社・医師などへの意見 |
| 340 | 私は無症状なので、日々の生活に追われて忘れてしまいがちになりますが、今も尚苦しんでおられる方のことを思うと、本当に胸が詰まる思いです。こんなことは絶対にあってはなりません。早急に解決してほしい。国の体質や企業の営利追求のために、人の命を軽んじるやり方、経営。  | 11. 国・会社・医師などへの意見 |
| 341 | 本人には何の落ち度もないのですから、これからの医療費や生活の保障を、きちんと守ってほしいと思います。   | 11. 国・会社・医師などへの意見 |
| 342 | 裁判を通じて感じたのは、国や製薬会社には被害者に対して、もっと他人事ではなく人間的に、そして、真摯な姿勢でいてほしいということです。薬害事件を起こすことは少なくなり、なくなっていくと思います。   | 11. 国・会社・医師などへの意見 |
| 343 | 6年余りの道のり。多くの人に支えられてここまで来られた事が本当に有り難く、又、この恩を何かに表して返すべきでは？たくさんの人に感謝だが、国と製薬会社に失望と怒りを覚えた日々でした。   | 11. 国・会社・医師などへの意見 |
| 344 | 山口さんをはじめ、弁護団の先生方、本当にいつも私共肝炎患者のために、いろいろがんばっていただいて、感謝しております。政権が変わり、少しずつでも薬害患者のために、国や会社がもっと真剣にしっかり取り組んでもらいたい。私は、1日でも早く肝炎が治るものと信じて、これからの人生（結婚もしたい）が明るく過ごせたらいいと、いつも体の調子をコントロールしています。  | 11. 国・会社・医師などへの意見 |
| 345 | 薬害に苦しむ人は私だけでいい。今後、起こることのないよう、厚労省の方々には、薬害肝炎の原因追及、及び、恒久対策をしっかりとってもらいたい。そのためなら、何度でもアンケートに答えます。どうか、350万人の肝炎患者が救われる日が訪れますように。   | 11. 国・会社・医師などへの意見 |
| 346 | 完治はしているが、体が重くて、土日は寝込むことがある。将来また肝炎になったら、いつも不安になる。肝炎にならなかつたら、どんな感じの人生だったのかなとか、子供がもう1人いたのかと考えることもある。入院していた時、私の前に入院した人が、子供が生まれて1ヶ月後に劇症肝炎で亡くなったと、病院で聞いた。その方の子供や旦那さん、ご両親は、国や製薬会社を許せるものではない。現在も苦しんでいる肝炎患者の負担など、あってはならない薬害だと思っている。今後、このようなことが起こらないよう、法案を作成してもらいたい。目を光らせていくことが、亡くなった方や、まだ完治していなくて苦しんでいる人への、私の義務だと思っている。 | 11. 国・会社・医師などへの意見 |
| 347 | 追加給付金についてですが、条件として給付金を受けた後10年以内に症状が進行した場合となっておりますが、それはどうなのかなあと思います。治療を受けて完治する人はいいですが、完治できずに、又、治療も受けることがかなわず、11年目に症状が悪化した場合は、受け取れないなんて事はおかしくないですか？10年以内という期限には、皆納得していないと思います。結局はお金の話？と思われるかもしれませんが、病状が悪くなればお金はかかります。一番良いのは、皆が完治できる特効薬ができることです。肝炎患者全員が、「肝炎だったんだよ」と過去形で話せる日が、1日も早く来るのを願います。                       | 11. 国・会社・医師などへの意見 |
| 348 | 私の場合、糖尿病の数値を下げてからのインターフェロン治療になるため、その治療期間の生活とその後の就職先が不安です。どうかこの部分が法律で、不安解消できれば助かります。  | 11. 国・会社・医師などへの意見 |
| 349 | 薬剤の研究開発は色々苦労があると思いますが、病気の状況や治療の効果が見えた時、患者、医師、製薬会社、国が一体となった証拠だと思います。  | 11. 国・会社・医師などへの意見 |
| 350 | 皆さんも大変この薬害で困っているので、できるだけ行政の手を差し延べて下さい。お願いします。  | 11. 国・会社・医師などへの意見 |
| 351 | 医療に関わる全ての人や、将来医療に関わる人達に対する薬害教育は、絶対に必要だと思います。   | 12. その他           |

● 各設問の「その他」欄への自由記述

問3-1 肝炎感染が判明した時に医師から受けた説明—その他

| No | 問3-1 肝炎感染が判明した時に医師から受けた説明—その他   |
|----|---|
| 1  | ショックだった事は覚えているが、自分の身体がだるくても、気分がすぐれなくても、生まれたばかりの子を育てなければ、働かなければの方が先だった。  |
| 2  | 無知でよく分からない。   |
| 3  | 人に言えない。一人で隠しておかなければならないと思った。知られると、人が離れていくと思った。今でも、C型肝炎の事には触れないようにしている。  |
| 4  | 出産後だったので、昔の出産時に輸血した時に、感染したのでしょうと説明を受けたと思います。  |
| 5  | 無症候キャリアだったので、ピンとこなかった。  |
| 6  | 当時は輸血していたため、原因は献血して下さった方の中に、非A型非B型の方がいたのではないかとのことだったし、その説明で理解していた。  |
| 7  | 輸血が原因のような説明だった。   |
| 8  | 前置胎盤で、帝王切開で出血多量だが、母子を救うためには輸血が必要であり、その時はそのおかげで2人共助かったと思っている。医師には感謝している。   |
| 9  | ウイルスが家族に感染しないように、世間にC型肝炎になったことを知られないように、あまり表へは出ませんでした。でも、経済的なことを考え、パートにも出ましたが、帰ってから、夕飯も作れないほど、疲れてしまうこともありました。いつウイルスが暴れだすのか、常に死を考えていました。 |
| 10 | 血液製剤で感染したことを知ったのは最近のことで、輸血をしたから、それになったんだと思ってきました。   |
| 11 | 医師から説明を受けたというより、病名を知った時に、自分でどのような病気で今後はどうかを先に調べ、それを医師に確認した。フィブリノゲンの名前も、使用した事も知らされなかった。  |
| 12 | 初めて分かった時、●●医療センターからの知らせには呆れた。性生活が不純な人がかかる病気であると、エイズの時と同じで、国が悪いのに患者のせいにした。   |
| 13 | 心臓に人工弁（金属製）を入れているので、インターフェロンによる治療はできないと言われました。  |
| 14 | 止血剤が悪かったのを、早く知りたかった。どこへ不満を持っていけばいいのか分からないのは不安でした。薬害肝炎弁護団の方々に救済していただき、有り難うございました。  |
| 15 | 一般の人間にとって、医学用語ばかりで理解できず、どのような病気なのか、どうすればいいか、明確な説明を受けられず、不安をあおり立てるようだった。   |
| 16 | 大量の輸血をした時になる可能性が高いと言われ、出産直後から定期的に血液検査をしていたので、やっぱりかかったのかと思った。  |
| 17 | 予想外でした。   |
| 18 | インターフェロンの治療がしにくい体です。他に良い治療法があればと思っています。   |
| 19 | 説明はなかったと思う。   |
| 20 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・うつる病気だから、家族の内でも区別するように</li> <li>・関係機関に報告すること</li> <li>・生活の場では、常時消毒すること</li> </ul>               |
| 21 | 看護師だったため、病気について十分理解していたので、絶望感を感じた。  |
| 22 | 輸血後肝炎だと言われた。血液製剤の使用は、当初言わなかった。  |
| 23 | S63年1月の肝機能検査で、GOT1947、GPT1968、ALP4531、LDH3332、LAP3330で入院して、輸血後肝炎と言われ、次に非A非Bと言われ、次に慢性C型肝炎と言われて、2007年11月に医療機関から告知され、初めて薬害肝炎だったと知った。       |
| 24 | 我が子と面会はしていなかったけれど、かすかに残る産声と、我が命があることの喜びでいっぱいでした。  |

| No. | 問3-1 肝炎感染が判明した時に医師から受けた説明-その他  |
|-----|--|
| 25  | 投薬に関する説明なし。対処の仕方が変わっていたと思います。感染があるような病気だったら、次の子供や家族にも、もっと気を使ってあげられたのに、残念です。  |
| 26  | C型肝炎の治療方法は、当時特別な説明はなかった。肝機能は今回正常。ウイルス抗体陽性のため、定期的な経過観察は必要（3ヶ月毎）。外来受診、尿検査異常なし。   |
| 27  | C型肝炎は、日常生活では感染しない病気だということを、世間の人々に教えてほしい。   |
| 28  | 心臓手術後、手術前に入院していた大学病院内科に転院しました。当時内科の主治医に、「なぜ私が非A非B型肝炎になったのか」、手術をした大学病院に聞いていただきましたが、返ってきた言葉は、「それは残念。しかし、心臓が助かったのだから」というようなものだったと聞かされました。原因が分からないまま、現実には肝数字が3ケタになっているのを下げる治療を受け（強力ミノファージェン・タチオンを注射）、数字が安定したところで退院してしまいました。非A非B型肝炎が、この先どうなっていくのか、主治医から何の説明もありませんでした。 |
| 29  | 昭和58年当時は、医師に質問しても、はっきりした答えがなかったので、とても不安でした。  |
| 30  | 平成21年2月から、インターフェロン治療を6ヶ月しましたが、今はウイルスが検出されず、喜んでいますが、2週間の入院で、退院後の薬の副作用が強く、やむを得ず、14年勤めていた仕事を辞めました。  |
| 31  | 血液製剤のことは、医師からは直接聞いていない。カルテの開示を申し込み、それで判明した。  |
| 32  | 説明を受けた時は、輸血からかなと思った。   |
| 33  | とても辛い思いです。考えると鬱になり、不安です。   |
| 34  | 非常に辛い状態で入院したので、その時は大変だと思いましたが、急性は治ると言われていたので、退院時、完全に治ったと理解していました。  |
| 35  | 原因は薬剤かもしれない。   |
| 36  | この当時は何も分からなかった。  |
| 37  | 健康増進になればと、健保組合のカルチャーへ行って現状説明をすると、ロッカールームで着替えて、帰ってくると、玄関を出るまでついてきた。   |
| 38  | 出産時の輸血と判断していたと思います。  |
| 39  | 非A非Bと言われた時には、どんな質問をしても何の返答もなく、医師も何も知らないのだと認識した。ただ安静にするだけの治療法だったので、大した病気ではないと思った。   |
| 40  | 白血病治療中に、C型肝炎になったと言われたが、なぜなったのか分からなかった。   |
| 41  | 出産時に輸血した時、「輸血したから肝炎は覚悟して」と言われたので、産科の病院で肝炎になっていると言われた時は、輸血による肝炎だと思い、その後、内科に通っていた時も、肝炎の原因については考えず、病状や治療についてのみ考えていました。  |
| 42  | 私が憎むのは、出産時に何の説明もなく、陣痛促進剤を、点滴ではなく筋肉注射して出血多量にし、その後の処置も手間取り、自分の手に負えなくなってしまった医師である。生まれてそれまで健康な体で、病気など何一つしたことがなく、活動的であった私が肝炎になり、長期入院や通院等苦痛を伴い、生活が一転してしまったことが悲しい。  |
| 43  | 病院側では、10数年前から感染を知っていたのに、患者本人に告知しないことに、怒りを感じた。  |
| 44  | 術後20～30年後に、がんになりやすいと言われた。  |
| 45  | 医師から、性生活で感染すると言われました。  |
| 46  | 当時、医師の説明に、血液製剤のことはありませんでした。  |
| 47  | 誰にも知られなくなかったです。救済の話が出なければ、夫にも言わなかった。早く死にたかった。肝炎検査は避けていたが、自分自身ではC型だろうと思っていた。  |
| 48  | ・医師から具体的な説明を受けたことがない<br>・S60年10月、産業医から「うつる病気（感染症）の患者が社内にいる」と職場内に広められた  |
| 49  | 早くて20年、遅くて30年で肝硬変やガンになって死ぬと理解（説明）した。   |

| No. | 問3-1 肝炎感染が判明した時に医師から受けた説明-その他  |
|-----|--|
| 50  | 輸血での感染と言われた。血液製剤の話は一切なかった。   |
| 51  | 慢性にならないように、血液検査を定期的に行うこと。  |
| 52  | 非A非B型肝炎は、急性のうちに3ヶ月以内で治る人もいると告げられ、その話にだけ唯一希望を見出し、頑張ろうと思ったのですが、当時の自分が痛々しいです。   |
| 53  | 黄疸入院最初の時、医師より歩いてはダメ、ベッドに寝ていなさいと言われ、尿は尿瓶のため、便は1日1回だからベッドから起きて行きなさいと言われた。食事の器は消毒するから、そのまましておけとのこと。新聞やテレビもダメ。ただ横になっていたことが、一番大変だったでしょうか。それが良かったとは思いますが。  |
| 54  | C型肝炎について、情報が（知識）あまりなかったので、とにかく本を買って読んだ。  |
| 55  | S63年当時、2つの総合病院に受診しましたが、病気についての説明はほとんどなく、当時新聞で目にしたインターフェロン治療の事を質問しても、ほとんど効果がないと言われてしまいました。肝庇護薬の投与と血液検査で、1年間過ごしました。私自身も、日常生活の多忙さから、C型肝炎と判明するまで、あまり深刻に考えないようにしていたと思います。その後、次の子供を出産しましたが、前の出産後に肝炎になったと説明しても、医師もあまり気にしていなかったようです。C型と診断されるのが怖くて、出産時に強い薬を使用したから、肝機能が下がったんだとか、自分で思い込もうとしていました。 |
| 56  | C型肝炎のウィルスはいるが、ウィルスの数も少なく、弱いウィルスなので、心配しなくて良い。GOT、GPTも正常値。   |
| 57  | 肝炎と診断された時から、死は頭の中から離れたことはありません。いずれ肝がん。それが今日なのか明日なのかと、常に思っています。   |
| 58  | 出産直後に出血した時、産院の医師から家庭に連絡がなく、家族は、裁判にしたいとまで激怒しました。一夜が明けてから、家庭への連絡がありましたが、なぜ、出血時に連絡してくれなかったのかと思います。  |
| 59  | S62年当時は、輸血による肝炎と説明を受け、「命を助けるためには仕方がない。命が助かっただけでも、いいと思いなさい」と言われた。   |
| 60  | 判明時は、血液製剤からの感染だとは知らなかった。   |
| 61  | 医師からフィブリノゲン使用の話はなく、20年間輸血のせいだと思っていた。   |
| 62  | 肝硬変になると言われました。   |
| 63  | 母子感染がほとんどないと聞いていましたが、第2子を出産するにあたって、かなり不安がありました。  |
| 64  | このままいけば、5年後には死亡するかもしれないという医師の言葉に、不安と絶望感。疲労感のある体で病院通いと家事育児、仕事。本当に辛かった。  |
| 65  | 感染が判明した当時は、インターフェロン等の治療薬もなく、このまま進めば命に関わる恐ろしい病気だと理解した。血液製剤に関しての説明は、一切なかった。  |
| 66  | まともな医師がいない。  |
| 67  | 最初は、輸血が原因だと思った。  |
| 68  | 私の1b型は治りづらいと言われ（インターフェロン）、ウィルスを抜くことが難しいと聞き、ショックを受け、更に母子感染していたらと不安になった。   |
| 69  | 医師からは病名だけで、詳しい説明は受けていない。当時は、それが当たり前だったと思う。   |
| 70  | 最初は急性肝炎なので、安静を心掛け、慢性へ移行しないようにして下さいと言われたため、治療法はないが、治る病気だと思っていました。   |
| 71  | どの医師も、常に、血液製剤のために感染したのではないと言った。  |
| 72  | なんで？やっぱり！どうしよう、などが頭を駆け巡り、考えがまとまらず、動けませんでした。それから、頭の中が真っ白になったことを、覚えています。   |
| 73  | 周りに肝炎患者がいなかったため、病名すら知らなかった。  |

| No | 問3-1 肝炎感染が判明した時に医師から受けた説明—その他  |
|----|--|
| 74 | 第2子を出産して1ヶ月後に肝炎にかかり、1年半後に3人目を妊娠した時に、一応念のために病院へ、出産しても大丈夫か聞きに行った時、初めて非加熱血液製剤が使われた事を知りました。3人目の子は8ヶ月で早産。2時間後に亡くなった。  |
| 75 | 急性期には、医師より命の危険もあると言われて、3人の子供達も小さく、毎晩眠れないほど、これからの生活が不安でたまりませんでした。   |
| 76 | 出産時の出血多量の治療のせいかと思っていた。   |
| 77 | 初めて聞く病名であり、よく分かりませんでした。そのため、書店に行き、「C型肝炎」という本を買って、勉強しました。   |
| 78 | 国と製薬会社の重大責任であり、製薬会社も1人1人に謝罪するべきである。  |
| 79 | 出産時の輸血により、肝臓が悪くなった。とにかく、点滴をして、トイレ以外は絶対安静にするようにとの話だった。肝炎の詳しい説明はなかった。  |
| 80 | 自分の体の事より、生後1ヶ月の子供をおいて、入院治療は考えられず、上の子も2才を過ぎたばかりで、医師の説明もよく理解できない状態でした。   |
| 81 | 判明した時は、インターフェロン等の治療が一般に広まっていなかったため、年4回の肝機能検査を怠らず、GOT、GPTの数値が100を超えたら、治療に入りましょうと説明を受けた。   |
| 82 | 判明した時点で、血液製剤によるものと分からなかった。   |
| 83 | 症状があまりなかったため、深くは考えていなかった。  |
| 84 | 感染した当時は、自分の事よりも、とにかく初めて出産した子供の事に必死でした。そして、育児の事、これからの治療、入院後の家族の事を考え、絶望の日々でした。   |
| 85 | 私の場合、出産の時の止血剤（フィブリノゲン）は、必要ではなかったと思っています。他に方法があったのではと思います。  |
| 86 | 血液製剤を投与された事を知らなかったが、出産直後に急性肝炎になったのは、出産時の何かによって、感染したに違いないと思った。  |
| 87 | 未だによく分からないので、はっきりとした説明は、してもらえなかった印象がある。  |
| 88 | 輸血が原因で肝炎になったと、原告になるまで思っていた。肝炎の事は一つ知らず、医師から病名を言われた時は、他の事は覚えていない。  |
| 89 | その時は、1ヶ月程で治ると思っていた。  |
| 90 | 私が感染した時は、非A非B型と言われていた時で、治療法もなく、ただ進行を遅らせるように、強ミノ注射しているだけの時期があり、普通の生活ではうつらないと言われていたが、子供がいたので、うつさないようにと気遣って生活していました。  |
| 91 | 肝炎を発病した時に、あまり説明がなかったため、自分自身も自分の病気の事を考えていなかった。やはり、病気に対してもう少し、説明がほしかったように思う。   |
| 92 | 入院は3週間ほどと言われていたので、それだけで治るような病気だろうと思った。とにかく安静にして、毎日点滴をしていたら良くなるだろうと思った。原因に思い当たる事がなかったため、うつる病気かと聞くと、非A非B型肝炎は未解明でうつらないとは思いますが、小さな子供は近づけない方が良いでしょうと言われた。肝機能の数値が安定しなかったため、3ヶ月2週間の入院になってしまった。やっと退院できたが、5ヶ月後に肝数値が上がった時はショックだった。もしかしたら、この繰り返しで悪くなり、子供達の成長が見られないかもしれないと、死を自覚した。血液製剤の説明は、医師から受けなかった。 |
| 93 | 医師より、専門医でないため詳細な説明はできないと言われ、●●病院を紹介された。  |
| 94 | 初めて診ていただいた医師は、C型肝炎の事をよく分かっていないようで、777と数値が出たのですが、少ないのでたいした事はないですね、と言っていました。なので、私もたいした事ない病気なんだと思っていました。それから肝臓専門の先生に代わり、大変な病気だと知りました。   |
| 95 | 私は出産医院、入院病院、投薬を受けた医院とバラバラなので、当時（30年前）は、そのような会話はありません。注射を受けた医師からは、輸血をしましたかと質問されました。   |

| No. | 問3-1 肝炎感染が判明した時に医師から受けた説明—その他  |
|-----|--|
| 96  | 家族や人に感染させないかと心配です。   |
| 97  | 出産して、1ヶ月後だったので、出産した病院を訴えようと思った。これから一生病気と闘っていかなければならないと思うと、自殺した方が楽になれると思った。   |
| 98  | 非A非Bとの説明を受けた時点では、重大な病気との認識はなかった（激症化のみ注意する）。C型との診断説明を受けて、重大さを知った。   |
| 99  | 当時（S62年7月）、40日間の点滴治療で、黄疸などの症状が良くなったため、年に1回の検査で様子を見るようにと言われ、治ったと思いこんでいた。ウィルスの説明はなかった。   |
| 100 | 感染した時には、C型肝炎についての知識が全くなかったので、何か他人事のように思っていました。   |
| 101 | 何が起こったのか分かりませんでした。   |
| 102 | C型肝炎を告知された時は、すでに肝硬変と言われた。もっと分かった時に知らせてほしかった。家族に感染されないように気を使った。   |
| 103 | C型肝炎がどんな病気かも知らなかったし、訳が分からなかった。当時は輸血もしたので、仕方ないのだと思っていた。ただ、このまま放っておくと、5年後には重い病気になると言われた。                                       |
| 104 | その当時は、病院のせいでこんな病気になったのに、治療のための医療費は自分で負担すること、精神的苦痛など、とても理不尽に思っていた。  |
| 105 | お産の時に感染したのではないかと聞いてみたが、「それはない」と言われた。   |
| 106 | 輸血により肝炎になったと説明され、数枚のパンフレットを渡され、「これを読んでおくように」と言われ、本なども出ているので、自分で調べなさいと言われました。このままでは5～20年の命ですと図を書いて、慢性肝炎→肝硬変→肝ガン→死と説明された。      |
| 107 | 治る病気だと思った。   |
| 108 | 血液製剤を使ってC型肝炎になったというのは、ここ1～2年で分かりましたので、医師は知りませんでした。   |
| 109 | 最初、急性肝炎で入院した時点では、普通の肝炎のように、1～2ヶ月で完治の病気だと思っていた。当時、医師からも詳しい説明はなく、毎日点滴と血液検査の繰り返しで、治ると信じていた。                                     |
| 110 | ●大で手術後、第3内科へ行き、GOT、GPTの数値を下げただけで、ウィルスは残ったまま。外科手術でフィブリン糊使用。   |
| 111 | C型肝炎を初めて自分で確認した（知った）時、医師は何の説明もなく、事実だけを告げられた。自分では、たいしたことはないと思っていた。  |
| 112 | 感染した時は病名だけで、分かりませんでした。   |
| 113 | 最初に聞いた時は、あまり聞いたことがなかったので、たいしたことはないと思っていた。それから大分時間が経ってから、大変な事だと分かった。  |
| 114 | C型肝炎ですと言われても、初めて聞く病名だったので、どのような病気なのか、理解できませんでした。   |
| 115 | 当時は、単なる肝機能障害と考えていたらしい。   |
| 116 | 出産時の輸血、点滴が多く、その後すぐ血清肝炎で入院し（4ヶ月位）、C型肝炎が判明した時は、当時の血液製剤薬害によると思われ、そして、その後の糖尿もそれに関連していると言われた。当時、私は30才前で、糖尿には早すぎるので、その影響は大きいと言われた。 |
| 117 | 父が医師だったため、父から説明を受けた。主治医からは詳しく聞いていない。   |
| 118 | 肝炎がこんなにも危険な病気とっていなかった。今さら逃げることもできず、二人三脚で一生付き合っていくものと覚悟しました。  |
| 119 | 輸血をしたための発病とは聞いたが、血液製剤が使われたことは、聞いていなかった。  |
| 120 | 肝炎数値が高いことで、以前何か大きな手術をしましたか？と聞かれ、出産時に止血、輸血をしたと報告。それでC型肝炎かな？と言われ、ただただびっくりするのみでした。  |

| No  | 問3-1 肝炎感染が判明した時に医師から受けた説明—その他   |
|-----|---|
| 121 | 別に説明はなかったが、病院を紹介して下さい(●●●●●●●●●●病院)、そこに通って検査を受けていました。いつも、ただ検査をしているだけという感じでした。   |
| 122 | 死の危険があり、主人、子供達にC型肝炎の事を話した。  |
| 123 | 輸血による肝炎で、エイズでなくて良かった。   |
| 124 | 肝炎になった事が、何でなったのか分からなかった。  |
| 125 | 以前は不治の病だった結核も、現在は完治できるようになっているので、先生は治らないと言ったが、医学が進歩して、治るに違いないと思うようにした。  |
| 126 | 22年前に発症し、5～6年間肝機能数値が上下した頃は、精神的にしんどかったと思います。   |
| 127 | 年齢的に治療方法がない。日常生活に配慮を要する。  |
| 128 | 輸血もしていないのに、何故こんな病気になるのですかと聞いても、さあと首を傾げるだけでした。   |
| 129 | 最初に診断を受けた病院では、何ひとつ説明してもらえず、大した事はないと思っていたが、かかりつけの病院で説明を受け、ショックを受けた。最初の病院は有名な所なのに、ひどい対応だと思う。  |
| 130 | 他の人にうつさないように、注意する点を教わりました。婦人科の病気で手術を受けた時(48才)に、C型ウィルスにも色々あり、私のは日本人には極めてまれな型であり、インターフェロンの効果については、全く0に近いと聞きました。その時点ではGOT、GPTは正常でしたので、ただ仕方のないことと思いました。 |
| 131 | 治療すればすぐに治ると思った。   |
| 132 | 出産の喜びもつかのま、地獄に突き落とされたような感じでした。悲しみと不安でいっぱいでした。   |
| 133 | 癌になる人もいるが、ならない人もいるし、今は大丈夫だから、定期的にチェックするだけで良い。   |
| 134 | 手術時、「いのち」の保証はないと言われたほど最悪の状態だったので、むしろ、輸血で助けてもらえたと思っていたので、回復後、献血を続けていた。   |
| 135 | 26才という若い年代に、出産という喜ぶべき時に感染し、絶望と不安がすべてでした。  |
| 136 | 現在、医師より肝臓に腫瘍がある(3つ、1.5cm以下)と言われて、進行状況を見ることとなっています。診断はC型慢性肝炎腫瘍となっていますが、よく理解ができません。教えて下さい。  |
| 137 | なぜ私がC型肝炎になったのかと、イライラがつのった。  |
| 138 | 医師の説明があまり分からない。   |
| 139 | 輸血のために起こった病気と思っていたので、持病がある上に、一つの病気は手術で良くしていただいたが、後に思わぬ病気にとりつかれた。無念の気持ちです。   |
| 140 | S62年の時には、医師もどこからの感染がよく分からないと言われた。   |
| 141 | ショックを受けたことは確かです。  |
| 142 | 今でも毎日が怖い。   |
| 143 | 最初にかかった病院では、肝臓専門の先生でなかったのもあるが、簡単に、I型肝炎になっていますと言っただけで、何の説明もなかったのが、C型肝炎というものが分からなかったが、今は病院も変わって、専門の先生についているので、理解することができた。                             |
| 144 | 医師から短命だと聞かされたのが30才頃でしたので、長生きさせていただいていますので、肝炎については、仕方がないと思っています。   |
| 145 | 当時の生活の中で、人との関わり合いで、差別的な思いもしましたが、今はあまり感じられなく思います。  |
| 146 | 心配ですけれど、これから先何もなかったらいいが、先生から、念のため3ヶ月に1回エコー検査するよう言われました。   |
| 147 | 肝がんになる可能性が高いと聞いていたので、その時には死があるのだと不安でした。   |

| No. | 問3-1 肝炎感染が判明した時に医師から受けた説明-その他   |
|-----|---|
| 148 | 肝炎治療のために入院した病院は、出産した病院と親密な関係だったので、肝炎を発症したのは出産が原因ではなく、私自身の衛生管理に問題があったような説明の仕方だった。  |
| 149 | 肝炎感染が判明した時は、まだどこで感染したのか分からなかった。   |
| 150 | 非A非B型肝炎で、安静にしていればすぐに治ると思っていました。何年経っても完治すると思い、ありとあらゆる治療をして治したかったです。  |
| 151 | 私死ぬの？あと何年生きられるの？頭が真っ白になりました。主人や子供達にうつっていないだろうかと、心配になりました。   |
| 152 | 当時は、まだフィブリノゲンが原因でC型肝炎になったとは、医師も分からなかったのでは？  |
| 153 | 今まで健康な体であると信じていたため、肝炎だと言われた時、何故自分かと思った。   |
| 154 | 本人の私より主人の方が、当時よりこの事を（C型肝炎）心配していた。   |
| 155 | インターフェロンの治療を一度したのですが、効き目がなかったので、あきらめていた。  |
| 156 | C型肝炎と言われ、そのうちインターフェロンとかいう話を聞かされ、もう治っていると聞かされるまでは、いつまで普通の生活ができるのかと毎日不安で、身のまわりの整理をしました。   |
| 157 | 当時は、輸血による感染であるという説明で理解した。   |
| 158 | どうして肝炎に感染したのか、今回初めて知りました。当時、非A非B型肝炎であると医師から言われました。しかし、心臓が助けられたことで、肝臓の事はピンときませんでした。  |
| 159 | 知らずに一生懸命子育てをし、義父母の面倒をみていました。C型肝炎と分かってから、3ヶ月に1回の検診のみ。2年前肝臓科の先生に変わり、すぐにインターフェロンの治療に入りました。1ヶ月位寝たきり状態で、熱、痛み、意識不明になったりで、中断しました。10ヶ月後再治療に入り、現在続いています。 |
| 160 | 対策が後手だったように思う。  |
| 161 | 今後の人生における絶望感でいっぱい。  |
| 162 | 人生一生涯、自分を含め家族全員に苦勞をかけ、今現在も毎日の生活に困っている。  |
| 163 | 感染症でみんなに嫌がられる。  |
| 164 | 出産したばかりだったので、子供の事を考え、将来を悲観していました。   |
| 165 | 医師は、「命に関わりはない。献血ができなくなる程度」、「輸血の中にウイルスがいた」と説明。C型肝炎→慢性化→肝硬変→肝ガン→死だと理解していたので、かなり不満の残る説明であった。   |
| 166 | インターフェロンが効かない型で、医師から気の毒と言われた。   |
| 167 | 平均年齢まで生きられないと、強いショックを受けた。   |
| 168 | 輸血による感染と説明を受けた。   |
| 169 | 症状が出ていないうちに、インターフェロン治療を受けた方がいいのかどうか……。副作用がでて、寝込んでしまうと困るのですが……。  |
| 170 | 判明した時は、何でなのか分かりませんでした。  |
| 171 | 家族に感染しないかと、色々な面で気を使うこと自体がイヤだ。   |
| 172 | 当時はパニックで、絶望的でした。理解するまで何度も説明を聞いていました。  |
| 173 | インターフェロン治療があると知りましたが、その当日は高額だったため、諦めた。  |
| 174 | 肝炎→肝硬変→肝ガンになり死亡。大変な一生になると思った。   |
| 175 | とてもショックでした。何が何だか分からなかった。  |

| No. | 問3-1 肝炎感染が判明した時に医師から受けた説明-その他   |
|-----|---|
| 176 | 産院の先生から、「出血が多いので薬を使います。肝炎を起こすかもしれないけれど、大丈夫。うちで診ます」と言われました（出産時）。   |
| 177 | 出産後判明するまで、何か自分の中で、点滴した後の体調の変化に不信感があり、病院へ問い合わせをした。ずっと納得ができず、今までの思いがやっと納得のいく結果だった。  |
| 178 | まだその当時は、急性肝炎のうちに完治すれば、慢性化しない可能性があると思い、ひたすら安静に努めていた。肝炎が発症した時は、まだ血液製剤が原因と思わなかった。  |
| 179 | 治療法がないから、一生付き合っに行かなきゃならないと、死の宣告を受けたのと同じ気持ちでした。  |
| 180 | 最初23年前、非A非B急性肝炎にかかった時は、数値が下がった時点で完治したと思っていた。医師も次の出産をしてもいいと言っていた。数年後C型肝炎キャリアと分かった時は、一生付き合っていく病気、何時悪化するかわからないと言われ、とてもショックでした。   |
| 181 | 医師からは、非A非B型肝炎で治療法がない、安静にすること、一生治らない、悪くなったら入退院の繰り返しになる、仕事も家事程度で、無理はしないようにと説明を受けた。病気になるまではとても元気で、パートの仕事もしていたし、子供達ともよく遊べた。何もかもできないと思った。「一生治らない」と言われたことに、ものすごくショックを受けた。 |
| 182 | 36才での出産だったので、出産で体が弱って肝炎にきたのかもしれないと言われたので、なるべく安静を保って養生すれば、おさまると思った。  |
| 183 | 覚えていないし、ただ、うつるので気を付けるよう指示された。   |
| 184 | 輸血をしたために、肝炎になったとの説明でした。   |
| 185 | 医師の説明の後、何で？どうして？と泣いた。肝炎＝ガン＝死が頭の中で駆けめぐり、当初は、自殺も考えるほどに辛かった。人にも話せず苦しかったです。   |
| 186 | 肝炎発症時はまだ血液製剤使用も知らず、慢性肝炎になるのは確率が高いのだと理解した。20年後に肝硬変、30年後に肝ガンになって死ぬのかと思うと、60才まで生きられるのかと不安に思った。   |
| 187 | 自分自身が医療者であるため、肝炎の知識があり、説明を受けなくても分かっていた。   |
| 188 | 肝炎→肝硬変→肝ガンへと進行していき、一方通行で死に至る病気である。感染症なので、気を付けるようにと指導された。各ステージはそれぞれ5年位で、寿命はおよそ15年とのことだそう。  |
| 189 | 子供にうつらないか聞いた時、仕事（調理補助）に就く時などに、血液に注意するよう言われた。同じ病院内（産婦人科→内科）にまわされたが、感染原因を聞いても、不明と答えるだけでした。  |
| 190 | 麻薬や、ピアスをあけたことがあるかとの問があった。   |
| 191 | 10年後、肝硬変、肝ガンになって死んでしまうのではと、毎日思っていました。   |
| 192 | 運が悪かったと言われました。  |
| 193 | 輸血による感染であると言われた。  |
| 194 | C型肝炎のパンフレットを見せられる。20～30年で肝硬変、肝ガンで死ぬという恐ろしい内容。   |
| 195 | 小学校4年生の時だったため、よく理解できなかった。   |
| 196 | 深く説明してもらえなかった。安静にすれば治ると思った。   |
| 197 | 判明した時は10才だったため、理解していなかったのが、きちんと病気の事について知った18才の頃の気持ちで回答しました。   |
| 198 | 現在、最良の治療法があれば治療したい。   |
| 199 | 医師からの説明はなく、看護師より聞きました。後は自分で調べたりした。治療をしだして、ある程度の事を聞いた。   |
| 200 | 輸血時に医師から、「昔はB型肝炎の心配があったが、今はないので大丈夫です」と説明を受けて安心していたのに、「肝炎です」と言われてショックだった。  |

| No. | 問3-1 肝炎感染が判明した時に医師から受けた説明-その他   |
|-----|---|
| 201 | 結婚したばかりでの病気発覚だったので、夫側の家族に申し訳なく思い、病気を説明した上で、頭を下げました。その時の心境は、将来への不安しかありませんでした。  |
| 202 | 人間ドックを受け、再検査となり、CTにより肝炎と気づき、現時点では治療しなくてもいいと、医師から言われた。   |
| 203 | 当時、周りに肝炎の人が誰もいなかったのので、産後1ヶ月後急性肝炎で入院した。すぐに治療して帰れると思っていた。   |
| 204 | 手術した時の輸血によってもらったのだと思った。手術の後、そういう説明は受けなかったから。  |
| 205 | ウイルス性C型肝炎とは言われましたが、原因についての説明はなく、ちんぷんかんぷんで、不思議な気持ちでした。   |
| 206 | 輸血をしたので、それによる肝炎だとだけ説明される。   |
| 207 | 産後入院してから現在までずっと、肝炎専門の医者に診察を受けていますが、なぜ私がC型肝炎になったのか、全然教えてもらえなかったのが、今でもとてもショックです。15年間輸血が原因だと思っていた。真実を先生は早くから知っていたと思うので、教えてもらいたかった。輸血に協力していただいた方々が、申し訳ないと心配して下さっていた。自分の血が悪かったのではないかと、申し訳ないと・・・。 |
| 208 | 肝炎に感染した原因が分からない状態で、ウイルスの数も多かったのので、治療ができないと思った。  |
| 209 | H18年血液内科受診の時、慢性C型肝炎と初めて知らされるれたその時点で、原因は告げられず、私自身も「どうして?」とただあ然。H19年12月医療機関よりS63年1月の外科手術でフィブリノゲン使用のため、検査を受けるよう案内が来たため、原因が分かった。  |
| 210 | 非A非Bと言われた時は、病気に対してほとんど理解しておらず、慢性化するかもという不安は少しありました。C型肝炎と断定された時は、ウイルスと一生付き合っていくんだなと思いました。  |
| 211 | お産をした病院で肝炎が見つかり、医師から、「あー、やっぱり肝臓が悪くなったね」と言われました。   |
| 212 | 医師から親が説明を受けていたが、直接にはなかった。   |
| 213 | 肝機能が上がっているのので、内科を紹介された。   |
| 214 | 肝炎の病気は自分のできる限り調べ、理解するようにした。   |
| 215 | 止血目的に使用された薬品ということで、使わなければ大変な事になっていた可能性ありと理解した。  |
| 216 | 7人兄弟で私だけなぜ肝炎になったんだろうと、不思議に思った病気のことが、だんだん理解できるようになり、完治するよう闘うしかないと思った。最初は原因が分からなかった。  |
| 217 | 急性肝炎で入院し、症状があまり良くなかったのので、説明の内容は、はっきり覚えていない。   |
| 218 | 感染判明時は原因が不明だったので、多分、自分は長く生きられないだろうと思った。   |
| 219 | HIV感染と異なり、C型肝炎ウイルスの感染経路を特定することができないとのことでした。薬害HIV感染が問題になったため、検査をするように通知がありました。   |
| 220 | 感染判明後、20年後には発病すると医師に言われ、現在に至っている。精神的被害が多い。  |
| 221 | 一生がとても苦痛であり不安。  |
| 222 | 出産時の多量出血のための輸血ではないが、血液成分の入った物を入れて止血しましたとだけの説明だったので、別に大したことはないと思った。  |
| 223 | 肝性脳症にまで至り、親族が遠方から最期のお別れの(つもりで)面会に来てくれました。生まれたばかりの第2子の育児もできず、無念で泣いてばかりいました。  |
| 224 | 放っておくと、15年、20年で肝硬変、肝臓ガンへと進行するので、早いうちにしっかり治療しておかなければならない病気であると。  |
| 225 | 生後7ヶ月の手術後、本人は知的障害者なので、よく理解できてないと思う。   |
| 226 | 10年後、肝硬変から肝臓ガンになります。インターフェロンという治療方法がありますが、40%の人しか完治しません。副作用も伴うし、高額です(80万円?)。  |

| No. | 問3-1 肝炎感染が判明した時に医師から受けた説明-その他   |
|-----|---|
| 227 | 薬が原因で感染したと思うと、本当にやりきれなかった。でも、その薬がなければ、今の自分はここにいないかもしれないとも思い、複雑だった。治療の副作用や、ちゃんと回復するのも心配だった。                                    |
| 228 | ウイルスは検出されなかったので、問題ないと言われたが、再発の危険がないかなど不安である。  |
| 229 | 当初は、貧血による輸血のためだと説明され、当時の輸血検査にC型がなかったためとされた。   |
| 230 | 医師、病院などからの説明はなかったが、輸血による肝炎問題が生じた時、バイパス手術の際に出血が多く、輸血による感染であったのだろうと思っていた。輸血量は800cc。フィブリノゲン製剤、血液凝固第IX因子製剤等が使用されていたなど、まったく判らなかった。 |
| 231 | インターフェロンの治療があると聞いたが、その時は実費で、かつ、必ず治るとは言えないとのことで躊躇した。   |
| 232 | 出産時の輸血が原因であろうと言われる。   |
| 233 | 肝炎という病気について、全く知識がなかったために、あまり気に留めていませんでした。   |
| 234 | 30~40年後に肝硬変になる可能性があると言われ、説明あり。  |
| 235 | C型肝炎ということだけで、それ以外の説明は何ら受けていない。  |
| 236 | 大量出血のため、輸血量がとても多かつたし、新鮮血でもあったので、輸血時の感染とばかり思っていた。  |

問3-6 肝炎の感染原因が、血液製剤だったことを知った経緯—その他

| No. | 問3-6 肝炎の感染原因が、血液製剤だったことを知った経緯—その他   |
|-----|---|
| 1   | 特別措置法により、ネットで調べて  |
| 2   | 母子手帳に記載されていた  |
| 3   | 母子手帳  |
| 4   | 病院の関係者から電話があった  |
| 5   | 医療行為を行った病院  |
| 6   | 娘   |
| 7   | 分娩のとき血液製剤投与を確認した。ミドリ十字の点滴瓶だったので、看護師に何の点滴が聞いたところ、フィブリノゲンと言われた。その1ヶ月後に発病したため、血液製剤が原因だと思った |
| 8   | 新聞の一覧で自分が手術をした病院が掲載されていた  |
| 9   | 医療機関の院長先生からの封書をもらい初めて知った  |
| 10  | 病院へカルテ請求し確認   |
| 11  | 418名のリストにあったから  |
| 12  | 以前の病院からの連絡  |
| 13  | 当時入院した病院から連絡があった  |
| 14  | 肝炎の原因となった病院より連絡があった   |
| 15  | 病院から連絡があった  |
| 16  | 入院した病院に問い合わせをしたらカルテがなく、製薬会社の窓口を紹介されて判明した  |
| 17  | 主治医からのアドバイスにより調べてもらった   |
| 18  | 厚労省による418リスト  |
| 19  | 肝炎の治療をした病院からの通知   |
| 20  | 肝炎の原因となった病院った医療機関からのエイズ検査依頼   |
| 21  | 病院のカルテ  |
| 22  | インターネットで調べた   |
| 23  | 病院より電話  |
| 24  | 親   |
| 25  | テレビや新聞などですが、私が疑いを持った時点では、まだ訴訟は起きていませんでした  |
| 26  | ●●病院からの連絡   |
| 27  | 病院から  |
| 28  | 第2子を出産した時の母子手帳の記録   |
| 29  | 友人  |

| No. | 問3-6 肝炎の感染原因が、血液製剤だったことを知った経緯—その他        |
|-----|--|
| 30  | 病院からの投与の通知                               |
| 31  | 出産した病院より通知                               |
| 32  | 国の指示による検査時                               |
| 33  | 主治医を変えたことで、報道されるより前に母子手帳に記入されていることを知りました |
| 34  | 主人が薬の関係の仕事のため、少しは知識や情報があるので              |
| 35  | 自分で気づきドクターに聞いた                           |
| 36  | 医師にカルテを調べさせた                             |
| 37  | ホームドクター                                  |
| 38  | 治療した病院に問い合わせた                            |
| 39  | 母子手帳                                     |
| 40  | 企業から病院を通して告げられた                          |
| 41  | 薬剤関係の仕事をしている友人の助言                        |
| 42  | 当時の病院からカルテを取り寄せた                         |
| 43  | 大学病院から電話で                                |
| 44  | 手術した病院から連絡                               |
| 45  | 友人より病院に確認した方がよいと言われて                     |
| 46  | 母子手帳に記入されていた言葉と名前により                     |
| 47  | 産婦人科医院の医師                                |
| 48  | 病院に問い合わせ調べたら、カルテが残っていた                   |
| 49  | 母子手帳に記入されていた                             |
| 50  | 自分で病院に電話してカルテの開示を求めた                     |
| 51  | 病院から連絡がきた                                |
| 52  | 出産した病院のカルテ                               |
| 53  | 姉より                                      |
| 54  | 親から告げられた                                 |
| 55  | 通っている病院の薬剤師                              |
| 56  | 友人より                                     |
| 57  | 薬害肝炎訴訟報告と相談会に出席し、話を聞く                    |
| 58  | 母子手帳への輸血の記載                              |
| 59  | 肝炎の原因となった病院の薬剤師                          |
| 60  | エイズ検査                                    |

| No. | 問3-6 肝炎の感染原因が、血液製剤だったことを知った経緯—その他      |
|-----|--|
| 61  | 親から「これが原因ではないか」と言われ                    |
| 62  | 病院からの通知                                |
| 63  | 手術をしていただいた先生にききました                     |
| 64  | 出産時の主治医                                |
| 65  | 病院より書面で知らされた                           |
| 66  | 肝炎患者の相談会に行った                           |
| 67  | 友人から聞いて知った                             |
| 68  | 母子手帳の記載                                |
| 69  | 手術を受けた病院より連絡があった                       |
| 70  | ●●●●病院の医師                              |
| 71  | 肝炎患者会                                  |
| 72  | 出産時の記録を見て                              |
| 73  | 病院医事課よりカルテがありますと電話があった                 |
| 74  | 418人リストに入っていた                          |
| 75  | 病院に確認をした                               |
| 76  | 急性肝炎になった時、医師よりフィブリノゲンを使ったと言われたのを記憶していた |
| 77  | 病院から連絡がありました                           |
| 78  | 入院した時のカルテを見てわかりました                     |
| 79  | 母子手帳に記載されていた                           |
| 80  | 416人のリストから                             |
| 81  | 最初の病院より連絡をもらい、厚生労働省に問い合わせる             |
| 82  | 血液製剤使用時、医師より肝臓病になる恐れがあると告げられた          |
| 83  | 母が感染していたので                             |
| 84  | カルテ開示を請求し、カルテを見て知った                    |
| 85  | 母子手帳                                   |
| 86  | 出産時に医師より説明を受けた                         |
| 87  | 母子感染なので母から                             |
| 88  | 産まれた病院からの連絡                            |
| 89  | 産科の主治医からの通知によって                        |
| 90  | 母の記憶と母子手帳                              |
| 91  | 病院                                     |

| No  | 問3-6 肝炎の感染原因が、血液製剤だったことを知った経緯—その他 |
|-----|-----------------------------------|
| 92  | 後に手術をした病院に行って調べた                  |
| 93  | 大学病院から通知書                         |
| 94  | 手術をした病院の医事課の手紙                    |
| 95  | 親より思い当たる節があると伝えられました              |
| 96  | 医療機関よりの案内                         |
| 97  | 厚生労働省からの通知                        |
| 98  | 母子手帳に記入あり                         |
| 99  | 母子手帳に記入があった                       |
| 100 | 産婦人科の先生に告げられました                   |
| 101 | 家族の話から                            |
| 102 | 病院より手紙がきた                         |
| 103 | 病院からの通知                           |
| 104 | 親から                               |
| 105 | 病院より連絡があった                        |
| 106 | 親                                 |
| 107 | 手術した病院に資料請求                       |
| 108 | 薬害肝炎訴訟弁護団の方からの連絡                  |
| 109 | カルテの記載で                           |
| 110 | 出産した病院                            |
| 111 | カルテを見て初めて知った                      |
| 112 | 病院からの告知                           |
| 113 | 病院からの連絡（事務室）があり、調査を行った            |

問3-7 肝炎の感染原因が血液製剤だったことを知った時、感じたこと—その他

| No. | 問3-7 肝炎の感染原因が血液製剤だったことを知った時、感じたこと—その他  |
|-----|--|
| 1   | 生きるか死ぬかの出産だったので、仕方がないのではないのでしょうか。  |
| 2   | 自分は無症候キャリアなので、今のところ深刻には感じられない。不幸中の幸いだと思っている。しかし、重症な方もいるし、重大な問題だ。   |
| 3   | 陣痛促進剤と二重の薬害だと思った。  |
| 4   | 私は、急性前骨髄性白血病でした。出血を止めるための治療が必要だったので、その時は仕方なかったという思いと、別の病気になってしまったという複雑な思いがありました。   |
| 5   | 死の恐怖にさらされ20年。子供が成長した分、その年の年数だけ自分の命の不安が大きくなっていくことに、情けなさを感じて生きてきました。どうしてそんな血液製剤が使用されていたのか、また薬害事件なのかと。出産時に、自分の身体にウィルスが入っていたことがショックでした。  |
| 6   | この薬により命を救われたという思いがあります。昭和51年の段階では、医療機関としてはやむを得なかったと思いますが・・・。国としての責任はあると思います。   |
| 7   | 硬膜下血腫血時の治療だったので、私にとってもその時は、痛いことも一切分からなかった。記憶や感覚は一切分からなかった。   |
| 8   | その時は、自分は意識がなくなっていた時なので、もし血液製剤を使っていなければ、今の私はいませんでした。  |
| 9   | 命が助かった事に感謝しなければいけない。全ては運命と、長い間自分に言い聞かせて生活していた。フィブリノゲンが肝炎に汚染されていたとしても、止血剤として効果があったものと信じていた。アメリカで1977年に、有効性がないとして廃止されていたと知り驚いた。  |
| 10  | 国、都、病院関係者から、直に謝罪を受けたこともなく、一生を奪われた苦痛を、どこに向けていいのかわからない。金などいらないので、自分の人生を、経験するはずだったすべてを返してもらいたい。   |
| 11  | 複雑な思いのまま、すぐには結論が出せなかった。  |
| 12  | 国、製薬会社より死の宣告を受け、心身共に奈落の底へ突き落とされた。認可に携わった人達を恨み、殺してやりたい気持ちでいっぱいだった。  |
| 13  | 肝炎が血液製剤と知った平成20年1月も、現在の心臓内科に通院中でした。平成6年から現在の心臓内科で時々採血を受け、肝臓の数値が安定していると聞かされたものの、平成8年4月頃、医師が「HCV陽性で軽度の肝機能障害あり」と言われたことをふと思い出し、頭の中が混乱しました。「採血上安定している」と言う医師の言葉と、何と言っても自覚症状がないにもかかわらず、体の中では少しずつ進行していると感じました。もしかしたら、大変な状況になるかも知れないと、時間の経過とともに強く感じました。             |
| 14  | 止血剤にウィルスが混入していた事実を知りながら、使い続けていた厚労省、製薬会社に怒りをもち続けています。   |
| 15  | 私自身が弱くて、肝炎になってしまい、家族に申し訳ないと、20年間ずっと思ってきました。又、義理の両親、義兄の家族にも、肩身の狭い思をしてきました。薬害と知った時、少しほっとしました。  |
| 16  | 後になって、これほど危険な血液製剤だと判明したが、私が手術を受けた当時は、それを使わなければ、死に至ったかも知れないので、それを考えると、とても複雑な思いです。   |
| 17  | 現場ではなく、国や厚労省に、製薬会社に対して怒りを感じました。  |
| 18  | 世界は中止していたにもかかわらず、日本は役人と製薬会社との癒着を強く感じた。   |
| 19  | 肝炎であることを知らずに、献血を年に一度していたことが辛い。   |
| 20  | 命を救うには、その方法しかなかった。医者は、当たり前行為をただけだと思った。他人事のように見ていたテレビの内容が、まさか自分にもあてはまっているかも知れないという驚き。何で騒いでいるのか、理解できていなかった。  |
| 21  | フィブリノゲンが低下したため使用したので、仕方がないと思う。でも、C型肝炎はいらなかった。  |
| 22  | 出産時に出血が止まらなくなってしまい、病院の先生方全員が集まって、あらゆる手段を尽くして下さいました。その時、あらゆる薬を使ったと言われ、それでも止血できずに手術されました。もし、血液製剤が肝炎の原因になると分かっていたとしても、その時お医者さんは、止血できるならその危険を冒してでも、まず止血しようとして、薬を使われたらと思う。ですから、お医者さんには全く恨みを感じていません。でも、そういう汚染された薬であることが分かっているが、売り続けた製薬会社は、患者と医療関係者両方を裏切ったと思いました。 |

| No | 問3-7 肝炎の感染原因が血液製剤だったことを知った時、感じたことーその他  |
|----|--|
| 23 | 輸血によって感染したと思っていたので、命を助けてもらったのだから、仕方がないと思っていたが、カルテによって、血液製剤が原因だったことが分かり、またショックを受けた。   |
| 24 | 結婚生活破綻の原因のひとつになっていると思います。  |
| 25 | インターフェロンにより、ウィルスが消えています。現在は気持ちが落ち着いています。   |
| 26 | 38才からずっと、人に知られてはいけない病気を背負って生きてきました。その間いろいろな健康食品を飲み、病院には行かなくなりました。医者に、冷たい仕打ちを受けました。ステビアを飲み始めて、かなりよくなりました。   |
| 27 | 感染した時は、まだ危険性や生死に関わる問題とは思ってもみなかった。  |
| 28 | 当時は、命と引き換え状態だったので、仕方がないと思っていた。   |
| 29 | 私の場合、3,800ccもの輸血を受けましたので、止血のために使用したものでした。カルテを見ると、1回では止まらず、2、3、4回と、何時間かにわたり使ってあったことから、やはり止血にはあまり効かなかったのだと思います。7グラム使用してありました。  |
| 30 | 帝王切開だったので、その時には不信感はなかった。2年前に知らされて、あの苦しみは理由があったのだと、初めて分かりました。医師は、精一杯やって下さったのですから、仕方がないと思います。製薬会社ですね。  |
| 31 | 原因が判明したことで、気持ちが晴れた気もしました。  |
| 32 | 22年間ずっと出産時の輸血による感染だと思っていました。病気になったのは、天災のようなもので仕方がなかった。命があるだけでも感謝しなくてはいけないと、己に言い聞かせてきましたが、事実が分かった時は、あまりの展開にめまいがしました。  |
| 33 | 初回の連絡が来た時、病院に来てよし、保健所でもよしと言われ、保健所にも行きましたが、国からの連絡は届いていませんでした。   |
| 34 | 現在は、治療中を除いては、日常は不自由なく生活できているが、やっと子供が手を離れて、パートに出られそうな時に判明したので、結局は働かず内職のみで、病気の事も隠しての生活だった。   |
| 35 | 危険な血液製剤という認識が、医療現場及び医者にあったのか、今でも疑問だが、当時医者からは、患者のためには使いやすいものだった、危険性の認識はなかったと説明を受けた。ならば、この血液製剤に危険があるかも・・・と認識していたのは、国、厚労省が一番情報があって知っていたと思う。危険性の重みを感じずに、阻止しなかった国の体質だろうと思う。被害が広がり残念。  |
| 36 | 私は、昭和59年まで3年程看護師をしていました。その当時、日常的にフィブリノゲン等の血液製剤を出血時に使用していました。私も何度か、あの小さなボトルを点滴台下げたと記憶しています。そして、手術後、輸血後、肝炎ということで、具合の悪くなる患者にも接していました。1987年に胎盤はく離で死産し、2週間入院した時に医師から言われたのは、「最近、肝炎になる人が多い。必ず検査を受けてね」ということでした。新鮮血の使用については説明がありましたが、血液製剤については何も説明はありませんでした。その時の医師の困惑した様子がずっと気にかかり、何だか違和感を覚えてしまいました。新鮮血では、そんなに肝炎にはならないのではと、ずっと疑問に思っていました。2002年にフィブリノゲンの件が明るみに出て、自分への使用を確信しました。2007年、出産した病院に電話をして、フィブリノゲン使用が判明しました。その時、もやもやしていたものが晴れた気がしました。同時に、製薬会社の責任感のなさに腹が立ちました。 |
| 37 | 羊膜はく離での出血で、当時は、医師もそれが一番の止血方法だと思ったので実施したことで、あまり被害者意識はなかった。  |
| 38 | その時の状況がどうであったか分かりませんが、使用しなければ出血性ショックで、今はいなかったかも知れません。使用しなくても変わらなかったかも知れませんが、そうは思いたくありません。その当時のお医者さんも、そんなに大変な薬との認識が、なかったと思います。  |
| 39 | 家族は私と同じ血液型でした。出血時に連絡が入れば、血液製剤を使う必要はなかったのではないかと、今でも思っています。車で5分程度の産院でした。医療に関わる医師を中心とした方々の、対応を疑う思いです。   |
| 40 | 血液製剤の説明は、当時、「青森で起こった事件は非加熱だったから。現在のは加熱されているから大丈夫。早く退院したいでしょ」と、先生から言われました。ただそれだけの説明です。  |
| 41 | 頭の中が真っ白になった。   |
| 42 | 大量出血のため、止血目的ではやむを得なかったのか？本当に血液製剤が必要だったのか？悩み続けました。その後、フィブリノゲンがいかに安全確認されず、過去に多くの事例があったにもかかわらず、国、臨床、特にミドリ十字が、利益のためにもみ消していたと思うと、大変な怒りを覚える。「私の人生を返して」と毎日考え、今日に至っている。  |

| No. | 問3-7 肝炎の感染原因が血液製剤だったことを知った時、感じたこと-その他  |
|-----|--|
| 43  | 産科の先生が血液製剤を使ったことを、一言も説明がなかった。母子手帳にも記さないし、一言説明がほしかった。私は418名の1人で、病院にもマスコミが行った。病院側では、患者に説明しているはずだと言い張った。言った、聞いていないのやりとり。私自身一番傷ついた。とても疲れた。                                     |
| 44  | 闘病生活、転職せざるを得なかった事、内定を取り消された事、キャリアを生かせる仕事に就けなかった事。今もインターフェロンの副作用による食生活に、苦勞している事。人生が大きく変えられた原因が、国の医療行政、製薬会社のもうけ主義にあったと思うと悔しいし、二度と薬害の起きない社会にしないでほしい。                          |
| 45  | 自分自身をけがされた深い屈辱感に陥った。   |
| 46  | 血液製剤が原因だと分かるまでは、自分が悪いのかと思っていた。出血が多いのを止めるのは、これしかないと言われてそう思っていたので、分かるまでは仕方がないと、正直思うしかなかった。   |
| 47  | 当時は止血目的に使用されていたので、仕方がないのかとも思いましたが、製薬会社の実態を知るにつけ、これほどでもない血液製剤で、製薬会社がもっと早く回収していたら、防ぐことができたものだった。   |
| 48  | 国に毒を盛られたと思った。  |
| 49  | 病気を治すべき病院、医療によって、健康を奪われたことを強く感じた。何故、危険な薬を使ったのか、怒りが湧きました。   |
| 50  | 肝炎で入院した時、医師からの説明はとても曖昧で、納得できませんでした。  |
| 51  | 入院時は意識がなく、手術方法は全く知らされず、分からなかった。  |
| 52  | 私が、血液製剤によってC型肝炎に感染した事を知ったのは、2002年の夏ごろでした。それまで15年の間、この病気に罹ったのは、死産でこの世に産み出してやれなかった子供からの罰を受けていると思っていました。それは大きな間違いであったことを知り、子供への申し訳なさや、いままで家族にかけてきた、取り返すことのできない負担を思い、憤りを感じました。 |
| 53  | 頭が真っ白、先が真っ黒。全てが終わったように思えた。原因が、フィブリノゲン製剤だと分かっていたので、何もできず、泣き寝入りせざるを得なかったのが、本当に悔しく辛かった。これからどうなるのか、非常に不安で苦しかった。  |
| 54  | 当時は、それで仕方がなかったのなかと、思っていました。でも、時が経つにつれ、いろいろな情報が入るにつれて、人的だったのでは、という思いも湧いてきました。元氣だけが取り柄だったのに、体に変調もあり、不安でいっぱいです。   |
| 55  | まだ、C型肝炎という病気が知れ渡っておらず、当時、夫の両親と同居しており、姑は、病気がちな私を、疫病神のように扱った。家を出て、離婚も考えたが、夫も一緒についてきてくれたので、大事には至らなかった。  |
| 56  | 手術の時に大量の出血があり、この状況を抜け出すには、当時としては、フィブリノゲンを使用する他に、手段がなかったと思うので、仕方がないことだと思うが、C型肝炎ウィルスに感染していると分かった時の絶望感は、言葉では言い表せられなかった。   |
| 57  | 当時は、この方法で治療するより仕方がなかったと思う。しかし、もう少し早い対策をしてほしかった。ただ、ただ、怒りを感じる。   |
| 58  | 病気が判明した当時は、出産時の状況から製剤を使用したことは、仕方のなかったことだと思って、感染したことは運が悪かった、むしろ、出産時にこのような自分だったことを自分で責めて、病気に対しても諦め感の方が強かった。  |
| 59  | 手術時に輸血もしているのだから、ずっと輸血による感染だと思っていた。止血剤が原因と知り、輸血に協力してくれた方々からの感染ではなかったことが分かったことが、嬉しかった。   |
| 60  | 私が肝炎になった事で味わった苦勞や苦痛は数えきれないほどあり、なぜ私かと、何度涙を流したことか分かりません。これは、経験した本人でないと、分からない事だと思います。しかし、夫や親からも大変お世話になり、言葉では言い尽くせないほど、感謝しているのも事実です。   |
| 61  | 離婚し、1人で生活保護を受けて、年金での生活をしている。   |
| 62  | 出産時の大量出血により、血液製剤と輸血が投与されました(DICのため)。C型肝炎は怖い病気ですが、当時を振り返ると、医師や看護師の方々が一生懸命治療して下さい、命を助けていただき、大変感謝しております。  |
| 63  | C型肝炎が報道された頃、出産した病院に問い合わせしたところ、フィブリノゲンは使用していないと返答された。慢性肝炎は非A非Bの後遺症と思われました。それから5年後に通知が来た時は、愕然としました。実父と同じ肝ガンで死ぬのか・・・と、恐ろしかったです。   |

| No. | 問3-7 肝炎の感染原因が血液製剤だったことを知った時、感じたこと-その他   |
|-----|---|
| 64  | 自分の命を守るためには、当時は仕方がない方法だったと思うが、安全面を検証しないまま認可されて使われた事には、怒りを感じる。   |
| 65  | 出産時、血液製剤を使用していなかったら、私は死んでいたと思う。   |
| 66  | 出産時帝王切開手術で、当時は輸血8本しましたから、原因はそれだと思い、血液製剤が使われていたとは夢にも思わなかった。2度の流産。やっと授かった子供と私が生死の境にあり、親子共々助かり、宝をいただいたが、一生共にする病気になり、憎むこともできず、娘を得た事は、自分の命より大切です。インターフェロンは2回やりましたが、効果はありませんでした。副作用がとても辛いです。又、3回目に挑戦したいと思っています。複雑な気持ちで一杯です。 |
| 67  | 他人事と思っていた薬害の被害者に、自分がなってしまったことに、ショックを受けました。  |
| 68  | 輸血後の肝炎だと思っていて、それで命が助かったのだから仕方がないと、前向きに治療などして生きてきたが、血液製剤が原因だった時は、非常にショックを受けた。  |
| 69  | 25才。出産時の出血により、止血剤としてフィブリノゲンを投与されたことで、私と家族の人生は、C型肝炎との闘いになってしまいました。薬害相談のホットラインへの電話により、フィブリノゲンの投与によるものと分かった時の驚き。いい加減な使われ方により、C型肝炎に感染させられた悔しさ、空しさ、憤りを感じ、涙があふれました。絶対に許せないと思いました。   |
| 70  | 当時は、命を助けてもらったと思い、医師にお金を渡す程感謝していた。後になり、大変な薬剤だったと知り、愕然としたが、何処へ怒りをぶつけたらいいのか。それよりも、将来への不安が大きかった。  |
| 71  | この病気がもととなり、現在他の病気にかかり、そちらでも体力とお金がかかり、生活は大変であり、精神的にもまいっている。  |
| 72  | 院長先生は、命を助けてくれたのだから、それで十分幸せ。   |
| 73  | 危険な薬だと知らなかったのも、止血のためには仕方なかった。血液製剤で助かったと思っていた。薬害だと知り、必要な薬だと知って、自分の健康、人生を奪われて、腹が立った。  |
| 74  | 血液製剤を使用する医師としての勉強というか、医療をする立場と、その薬を使用する人達の横のつながりがなく、お金儲けのための犠牲になったと感じた。もっと、1人1人が責任をもってほしかったです。  |
| 75  | 止血について、医師から告げられた時、血液製剤について何も知らなかった。出産時に出血が多かったと医師が判断し、使用したのであれば、必要な治療だったのだろうと思っていた。「沈黙を越えて」の資料を読み、他の治療方法があったことを知った。安易に使用してはいけない薬だったことを認識した。私も家族も、健康と時間を奪われたと感じることはあるが、インターフェロンの治療で精神的に安定したため、どちらとも言えない。               |
| 76  | 感染を知った時には、肝炎に対する知識がなかった。●●病院の先生からの説明に納得できず、●●●大の●●●●先生より、「肝炎に対する勉強をして下さい。自分の身体の状態をきちんと知り、肝炎と向き合ってください」と言われ、肝炎の本を2冊買い込み、大変な病気であることを知る。   |
| 77  | 私は、S55年頃の医療関係者が保護されている時代に、医療過誤の隠蔽との二重被害と分かり、そのような悪事が放任され続けていることで、公が信じられない思いでした。   |
| 78  | 出産時、子供に感染していないか、不安になった。   |
| 79  | 心臓の手術ができたおかげで、今生きておられます。手術を下された医師には感謝しておりますが、長い間感染原因が分からず、疑問に思っておりました。法律が施行されてから主治医より、手術の時にフィブリン糊を使用したとの便りががあり、やっぱりそうだったのかと納得しました。  |
| 80  | 病気もしたことがなかったのに、どうしてこんな病気になったんだろうと、情けなかった。   |
| 81  | 国の薬事行政に対する不信感、薬を使用した手術担当医の不勉強さを、強く感じました。  |
| 82  | 産後の止血に当たり前のように使われているのであれば、肝炎のリスクが伴うのも仕方がないことなのかと、簡単に考えていた。まさか、こんなにも恐ろしい病気になるとは。肝炎も一過性で消えると思っていた。  |
| 83  | 出産時、出血多量のため血液製剤を使用しなければ、今の私はなかったかも分かりません。それを思うと、助けてもらったという思いと、病気になったという思いで、複雑な心境です。   |
| 84  | 出血量が多く、輸血しないと命が危ないという時だったので、医師に対して感謝しただけに、仕方ないという気持ちもあった。長く肝炎治療をしていると、あの時使わなければ、こんな辛い経験をしなくてすんだのと思った。   |

| No. | 問3-7 肝炎の感染原因が血液製剤だったことを知った時、感じたこと-その他   |
|-----|---|
| 85  | 出血多量で●●●病院へ行った時、当時の先生に、「体の中には半分しか血がない。1日遅れていたら死んでいたよ」と言われ、輸血。そして、フィブリノゲンを打たれた。C型肝炎という病に罹り、治療が続いています。病と闘いながら生きて、家族と一緒にいます。   |
| 86  | どうして、危険な血液製剤を国が許したのか？   |
| 87  | 当時、医師に、輸血をしなかったら命に関わっていた（死んでいた）と言われた。   |
| 88  | 手術の時に多量の出血のおそれがあると予測し、手術前後安易に使われた。  |
| 89  | C型肝炎という言葉聞くのもイヤだった。自分の胸の中にしまい込み、考えないようにした。しかし、フィブリノゲンという言葉が母子手帳に書いてあり、愕然とした。訴えてやと思った。   |
| 90  | 血液製剤のせいで、次女を1年間育てることができず、長女も他人様に預け、子供達には辛い思いをさせてしまった。私も入院中は大変辛かった。若かったのも、主人とも気持ちが通じ合わなくなってしまった。治療費、生活費、子供の預け費、経済的にも大変で、借金もした。   |
| 91  | 1人1人かけがえのない生命のはずなのに、生命や健康を守るべき立場の国や企業から、私の健康、人生、そして家族の幸せを奪われました。私には、生きる価値すらないような扱いをされたのかと思いました。   |
| 92  | 血液製剤を使わなければ、失血死していた可能性もあったのではないかと思うこともあります。   |
| 93  | どちらとも言えないと、そう感じたのは紙一重です。  |
| 94  | 出血多量だったそうですので、後で知りました。身体を害するものとは思いませんでした。フィブリノゲンがどういうものかも知りませんでした。  |
| 95  | 肝炎になって21年も経って、原因が血液製剤だと分かり、自分のこれまで苦しんできた21年間を、病気と縁のなかった21年前の元気な身体に戻してほしいと思った。   |
| 96  | これから先の病気について考えると、常にガンの事が頭から離れません。一生の病気です。でも、子供を産んだことは、全然後悔していません。   |
| 97  | 当時は、まだ害があるかどうか解らなかつたのではないかと、自分で勝手に思っています。詳しい事は分かりませんが、私の場合は使用されたのがわりと早かつたのではないのでしょうか？止血に使われても、仕方がなかつたのか？  |
| 98  | 感染後、産科の医師より、たぶん原因はフィブリノゲンだろうと聞いていたので、運命と思って受け入れた。   |
| 99  | 今現在無症候で、普通に生活できていますので、あまり自分がC型肝炎だということを、いつも考えている訳ではないですが、風邪をこじらせたりした時など、肝臓の数値等・・・少し怖さがあります。   |
| 100 | 悪いと知りながら使用させた学者、役所、国は、多くの人を苦しめている。決して許さないと考えた。  |
| 101 | 出産時、出血量が多く（輸血1,600cc）、意識も朦朧としており、もう少し血液が届くのが遅ければ、死んでいたであろうと。当時は、「助けてもらった」「子供が抱ける」という思いが先で、当時としては仕方のない医療行為ではなかつたかと。  |
| 102 | 35年も病院から縁が切れず、悔しい思いでばかりで過ごしてきました。又、副作用で長年糖尿病にかかり、現在もインスリンをしているが、C型が判明（血清→慢性→C型）してしばらくしたら、インターフェロンの投与（当時は保険適用外）も医師と何度も相談したが、糖尿病があるためリスクが高いと考えられ、断念した。そして、肝硬変、肝細胞ガンとなり、薬、検査、糖尿病による医療に、何の補助もなく現在に至る。インターフェロンには負担援助があるが、それ以上進むと、負担額が増すばかりで辛いです。 |
| 103 | 予防的に術前に使われたので（手術の出血は少量）、主治医による人災だと感じた。  |
| 104 | 当時、医師は最良の治療をして下さったと、本当に感謝している。ただ、無害の血液製剤ならもっと有り難かつた。  |
| 105 | 昭和43年手術を受け、フィブリノゲンを投与され、止血剤として使われた。名前すら知らない薬剤を使われ、これから自分の体がどんなになっていくのか、精神的に不安だった。他の人は元気なのに、治してもらはずの病気が、それ以上に悪くなっていくなんて、考えられなかつた。  |
| 106 | 健康だった私が、インターフェロン治療により、状態が良くなった。今現在においては、あの時にはそうせざるを得なかつた状況であろうと思いつつ、その時にしかもらえない娘との時間を過ごせなかつた事や、精神的にも肉体的にも、いつも不安で辛い状態であった事を思うと、二度とこのような薬害があつてはならないと思うし、カルテのない方が、1日も早く救済されることを強く望むと共に、和解のために関わって下さった関係者の方々に、深く感謝いたします。                        |

| No. | 問3-7 肝炎の感染原因が血液製剤だったことを知った時、感じたこと—その他  |
|-----|--|
| 107 | 血液製剤が使用されなかったら、もしかして今生きていなかったかもしれない。   |
| 108 | 完治の見込みなしと思い、長い目で先生と仲良くしようとあきらめていました。   |
| 109 | フィブリノゲンが危険な製品なのに、なぜ許可し続けたのか、厚労省の態度が分からない。  |
| 110 | 患者からの申し出があり、初めてカルテを開示するのではなく、危険な血液製剤が使われていた時期が判明した時点で、せめて、残っているカルテぐらいは調べて、病院側から患者に連絡をとるべきではないかと感じました。  |
| 111 | 今は普通の生活をしているので不安は感じないが、再発する場所があるので、病気になる。  |
| 112 | 複雑です。投与されなければ命が危なかったでしょうし、さりとて、新生児を抱えて1ヶ月で母乳も出なくなり、育児も困難になり、将来が不安でしたから、何故この子を産んだのだろうと、あれこれ良からぬ事も考えました。   |
| 113 | 当初は詳しいことを知らず、国や製薬会社の無責任なずさんさの実態もよく知らず、どちらとも言えない気持ちもあったと思うが、危険な製剤だという報告を得ながら、なお、その後何年も使い続けていたということを知り、信じられない思いでいっぱいです。  |
| 114 | 詳しい検査の結果、治っていることが分かったので、不安が消えた。  |
| 115 | 事故の外傷の止血のための使用であり、それがなければ死んでいたかもしれないと思うと、仕方がない部分もあるのかなと思うが、加熱製剤もあった事を考えると、もう少し配慮があっても良かったのかなと思う。   |
| 116 | 私の命を助けるために、懸命に手術して下さった先生に感謝しました。看護師の方もとても親切にして下さいました。私の命と引き替えに、子供の命を失った悲しみは大きくて、体調をくずしました。自分の命を助けるために使用した薬で病気になるのは、先生にも分からないことで、責任はないと思います。他の人にうつさないことが、一番気掛かりでした。 |
| 117 | 私はもともと骨盤が狭く、帝王切開で産む予定だったにもかかわらず、血液が用意されていなくて、出血多量があった時点で、血液の手配を始めたため、その血液が届く間、止血剤を使用していたとのことで、ものすごく憤りを感じましたが、そういう原因を作ったのも私だが、結果的に命を救ったのも私だと、医者に言われました。             |
| 118 | 自分が何かしたせいで、感染したわけではないという点では安心した。   |
| 119 | 当時、外国では血液製剤は中止されていたのだから、医師が製剤使用前に告げてくれていたら、手術時の数ヶ月前、主人は肝硬変で急死しなかったと、それが残念に思う。又、私も快復後に献血などしなかったのにと、二次、三次感染につながったのではないかと、罪悪感を感じます。                                   |
| 120 | 血液製剤について、家族も本人も危険ではないかと医師に言うも、国産の製剤で、ミドリ十字だから問題ないと言われる。  |
| 121 | 30年前の事で何も知らなかったが、体調にかなり影響があり、会社での出張や勤務にかなり不利な点が多かったと思います。例えば出張、高度の労働など。  |
| 122 | 当初、輸血をした人の中でも、病気にかかる人とかからない人があると言われ、体の弱い人がたまたまかかると言われていたので、原因がはっきりして、やはり私自身のせいではないことと、ほっとすると同時に、私がかかったことに怒りを覚えた。   |
| 123 | 今インターフェロン治療が終わり、体がすごく楽になった。これまでの何十年は何だったのかと思います。   |
| 124 | インターフェロン治療を受けるために、休業しなければならず、この治療費と給与補償はないのかと思った。  |
| 125 | 病気を通じて感謝、思いやりなど、かけがえのない心の宝をいただいたので、私にとっては戦友のような感じでした。組織や人を恨む気持ちはありませんが、これも国との和解があつてのことだと思います。  |
| 126 | あの時は、輸血しないと助からなかったもので、仕方がないと思います。  |
| 127 | ショックな思いもありましたが、持病の治療のためになったということもあり、複雑な思いです。   |
| 128 | 25年以上前の事です。2人目にあたる担当医が、「手術輸血したら、なぜC型肝炎になるのかな？」と不思議に思っていたことは覚えています。命を助けてもらっていますし、治療のためですから仕方がないと思いました。ただ、治れればいいとは思っています。  |
| 129 | 20年以上治療に専念し、ガン手術もしましたが、時間の大切さを強く感じます。自分の周りの者にも大変な苦勞をかけてしまいました。   |

| No. | 問3-7 肝炎の感染原因が血液製剤だったことを知った時、感じたこと-その他   |
|-----|---|
| 130 | 健康な体に戻りたいと思うばかり。生活費の助けになるようにもっと働きたいが、長時間の仕事ができないため、1日4～5時間で月に15～20日位。1ヶ月の給料は少ないけれど、治療費が要るから頑張って働いています。  |
| 131 | 29才から52才までずっとこの病気との付き合いで、突然血液製剤を使用したことを知り、ショックでした。何のために自分は生まれてきたのだらうと、泣いた日もありました。   |
| 132 | なぜC型肝炎になったのか分からなかったが、テレビや新聞で見なかったら、一生分からなかったらうなと思いました。  |
| 133 | 血液製剤を打って、出血が止まったかと言われると分からない。打たなかったら死んでいたのか？よく分からない。でも、国と医療関係者達は、危ないと分かっているが使用させたことは許せません。  |
| 134 | たぶん、出産の時に感染したと思っていたので、やっぱりそうだったのかと思った。  |
| 135 | 危険製剤が何ら説明なく使用され、その説明がなされたのは16～17年経過した後のことだった。この事は絶対に許せないことです。だけと、治療は病院の世話にならなければならないと、複雑な心境です。  |
| 136 | 後半の人生を返してほしい。   |
| 137 | 毎回の検査の結果を聞くのが怖い。  |
| 138 | 緊急事態であったため、仕方ないと思っています。   |
| 139 | 心臓病で命は助けていただきましたが、非A非B型肝炎と医師に言われ、手術以来ずっと不安でした。仕事もままならず、自分の弟と共に自営業を細々と営業していますが、妻も家を出ました。離婚です。心臓は助かりましたが、肝臓による不安と恐怖で、現在も心配です。心臓と肝臓で、一生を奪われてしまいました。本当に残念です。  |
| 140 | 肝炎の症状があつて受診した時点では、C型肝炎のウィルスは検出されず、非A非B型肝炎として治療が始まり、S63年5月～H13年5月まで、C型肝炎としての治療等は受けず、内服薬と2ヶ月位に一度の血液検査を受けるだけでした（開業医）。クモ膜下出血の手術を受けた●●●●●病院から、血液検査を受けて下さいと書面での通知をもらい、検査を受けて、C型肝炎と診断された。やっぱりそうかという疑いは、決定的なものになりました。 |
| 141 | その時は、自分の命を救ってもらったと喜んでました。何の説明もなく、今思えば色々症状がありましたが、無我夢中で生活してきました。義父母の看護から、送り出すまでの闘いも頑張りました。今は家族に支えられ、頑張っています。   |
| 142 | 帝王切開で全身麻酔から覚めてから、「出血がひどかった」と言われたので、その時の処置としては仕方ないと思っていたが、しなければ、違った人生が歩けたのにとの思いはあります。  |
| 143 | 肝炎を発症して9ヶ月入院しました。病気の説明を聞き、転院をお願いしましたが、断られました。   |
| 144 | 医師からは、輸血の中にウィルスがいたと聞いていたのに。   |
| 145 | いろいろな病気ができて苦しんでいる。糖尿病、心臓、肝臓。  |
| 146 | 一律救済の前は、期限で切られそうだった。病院は、使つてはいけない時期に使用した。国と病院に殺されるかと思った。   |
| 147 | 私がこの病をもらってからは、特に実母に大きなダメージを与えてしまった。自分の病と母の病、子供を授かったのに、この病のために2人中絶することになった。その後、第2子を出産できたが、子供に感染するのではないかと、不安が続いた。   |
| 148 | 未熟児であったため、1日生きられるかも分からなかったと親から聞かされました。今生きていることに感謝しています。   |
| 149 | 無責任です。命の大切さをまったく分かっていない。  |
| 150 | 自分の身にかかった一生の問題だ。家庭の中で笑顔が消えて、体力がないと暗くなっている。気が付くと性格が変わったように思う。明るく過ごさないと、顔に人生が表れてくる気がする。   |
| 151 | 当時は治る可能性があると思っていた。  |

| No  | 問3-7 肝炎の感染原因が血液製剤だったことを知った時、感じたこと-その他   |
|-----|---|
| 152 | 血液製剤とは何なのかさえも知らなかった。私の人生は、こんなはずじゃなかった。家族、特に子供達に大変な思いをさせた。発症した時は劇症肝炎で、一時は危篤になった。もしかしたら私は、血液製剤とは何なのか、何で病気になったのかも知らないまま、死んでいったかもしれない。発症してからこれからの人生、常に病気との闘いになる。インターフェロン治療にしたって、何故自分の体を痛めつけて受けないといけないんだろう。こんな治療しかないのか。受けないと病気は進行する。そうしたら受けるしかないだろう。何故こんな思いをしなければならぬのかと思う。危険きわまりない血液製剤が、世の中に出回ったことが許せない。 |
| 153 | 何故、肝炎なんて病気にかかったのかとずっと思っていた。医師に問題があったのではと思ったこともあったので、真実を知りたいと思った。  |
| 154 | 子供は無事に生まれたので、それだけでも良かったと思ひ込むしかなかった。   |
| 155 | 持病により、いつも生死の境にいて、生きているのが不思議といった状態を経験したので、何があっても、そんなこともあるのだと思った。子供は43才の子供だったので、産院の方々は（何でまたそんな不注意で妊娠、と思われたいかも知れませんが）、人為的な選択は、命に対してするつもりはなかった（自分も生かされているので）。授かった命には心より喜び、感謝していました。   |
| 156 | 生まれてくる子どもを亡くしたら、自分は生きているという価値はありません。こんな薬物は酷です。私の娘は今年23回忌です。   |
| 157 | 親や兄弟姉妹に、肝炎の病気は誰もいなかったのに、なぜ私は肝炎になったのかと思ひ続けていたので、その原因が分かって、なぜかホッとした。  |
| 158 | 昭和62年4月、子宮筋腫で、止血剤を1gずつ使ったのが、今に至っています。人間の血の数値が14→7（半分）になったので、フィブリノゲンを使った。  |
| 159 | 国と製薬会社の利害関係で、人の生命を奪う狂った人達だと思いました。不信感で、世の中がひっくり返ってしまいそうでした。目には目、歯には歯という言葉がびったり合います。とんでもない！許せない！  |
| 160 | 病気になった本当の理由が分かった時は、ショックと同時に、今までの経過が納得できた。20年以上も経って事実を知るのは、時間が長すぎたと思う。もっと早く分かっていたら、違った人生を歩んでいたかも……。ちゃんと治療を受けて、自分の健康と真剣に向き合っていたと思う。   |
| 161 | 医療現場の医師、看護師の方々は、必死で私を助けてくれようと懸命でした。しかし、その現場に汚染された血液製剤が、止血効力もないのに止血剤として当たり前で使用されていたことに、がく然とする。他国で使用中止の時に、日本でも中止してくれていたなら、私はこんな人生を送らなくてもよかったのにとすると、悔しくてしかたがない。  |
| 162 | C型肝炎ウイルスに汚染された血液製剤を製造し続け、病院に売りさばっていた製薬会社に怒りを感じた。  |
| 163 | 2000年の現状として、肝炎はまだ周知されておらず、なめられている疾病だと強く感じた。   |
| 164 | 当時15才であり、薬害が憎いというよりも、病気の重大さ（深刻さ）に心を奪われ、薬害に対する思いは湧かなかった。   |
| 165 | 仕返しをしたいと思った。憎んだ。当時、出血多量で血液製剤を使用した産科医師が、「何で止まらないのか」と怒鳴っていた。製薬会社や厚生省（当時の天下り役員）の責任追及がされていない。国の責任ということで、曖昧にしているのは、今までに亡くなった方々に対して申し訳ないし、私としても許したくない。  |
| 166 | 当時は輸血感染だと思って、命が助かったのだから仕方がないと、自分を納得させていた。止血するために使われた血液製剤で感染したことは、納得できなかった。しかも、効果はなかった。  |
| 167 | 止血目的に使用されたにもかかわらず、結果として出血はおさまらず、輸血をした。止血効果もないものを使用され感染したこと。そして、その血液製剤が危険なものであったことを、テレビの報道で知り、大変悔しい思いをした。  |
| 168 | 自分自身が病気になる（病気を理解する）前は、肝炎問題や血液製剤について全く無知で、興味すらありませんでした。病名を聞いて病気を理解していく中、なぜ、私の体にウイルスを入れてしまったのか？防げなかったのだろうか？と疑問に思うようになりました。これからの長い人生、日本の薬事行政についても、もっと勉強したいです。  |
| 169 | 何も感じなかった。そんなに悩んでいない。  |
| 170 | その当時、血液製剤を打っていなかったら、命があったか分からないと思う反面、その薬しかなかったのか・・・と思う気持ちが交錯しています。今自分のおかれている状況が、無症候性なので、そう思うのかもしれませんが。  |
| 171 | 色々な意見で大変だった。肝炎になった原因が初めて分かり、これが原因でこんな大変な事になったのかと感じ、製薬会社、病院に憤りを感じた。  |

| No. | 問3-7 肝炎の感染原因が血液製剤だったことを知った時、感じたことーその他  |
|-----|--|
| 172 | 当時、薬害肝炎訴訟の問題をテレビ等でやっていたので知っていましたが、病院に行ってみるとカルテはもうないと言われ、あきらめていました。しかし、再度病院に行ってみると、医事課という所に、自分に投与したという記録が残っていて、感染原因が分かりました。   |
| 173 | 悔しかった。   |
| 174 | 現在、インターフェロン治療により、身体は良くなりました。でも、あの時医師が、家族や私に血液製剤の危険性など説明したとしても、命が助かる事が優先で、許可したと思います。  |
| 175 | 手術後1週間で悪寒、発熱、嘔吐があり、何がどう悪いのか全然分からない状態が、何ヶ月か続いた。   |
| 176 | 止血剤を5本打っても止血できなかったから、輸血をしたのでショックです。平成元年12月に止血剤を使用しましたが、その時には、使用したら肝炎になるのが完全に分かっていたのに、それでもなぜまた使用していたのか分からない。そのため、仕事もできないし、治療費もたくさんいるし、お金をどんどん使って勤めにも行けないし、経済的に家族に大変迷惑もかけ、とても肩身の狭い思いもたくさんしました。         |
| 177 | 当時（生後2日目）、生命に関わる手術で、成功率が半々だったのを必死に助けて下さった先生にはすごく感謝していて、病院側も国が使用禁止にしていれば使わなかったと思うので、病院に対しては、ただただ感謝しています。  |
| 178 | 山口さん、出田さん、福田衣里子さん達ががんばってくれたから、毎日テレビを見ていた。  |
| 179 | お産の後体がおかしくなり、あちらこちらと病院を変えては調べてもらい、国立病院、最後には大学病院と何度も何度も入退院の繰り返し。その時は膠原病だと言われました。原因が分からない。輸血をしたからだと思い、先生にも何度も聞きました。納得がいかず、新聞で血液製剤の事を知りました。でも、どこで聞けばいいのかも分からず、何年もそのままでした。昨年、病院から電話をもらい、やっぱりと夫と2人で話しました。 |
| 180 | 投与後、子供を2人出産したので、子供に影響がないかととても不安。   |
| 181 | 自分の事より周りの人にうつしてしまっているのではと思いました。なったものは仕方がないので、受け止めるように努力しました。早く見つけられたのは、親と原告団の長い間の努力だと思い、感謝しました。  |
| 182 | フィブリノゲンを使用されて30年経過して発病しましたが、最初はそれを使用しなければ出血多量で死んでいたからと、感謝していました。   |
| 183 | 当時は、生きるためには必要な処置だったのだろうと信じていましたので、仕方がないと思っていた。   |
| 184 | S62年6月第3子出産時、止血目的に使われた。他に方法はなかったのか？今現在、インターフェロン治療をH21年6月より受けていますが、他の病気治療も一緒に行っていて、毎日体がだるく、これから先仕事に就けるのか不安です（年齢の事もある）。  |
| 185 | 出産後、出血が多く、すぐ気を失ってしまったので、当時のことはよく分かりません。  |
| 186 | 1986年以前の血液製剤にウィルスが混入しているのが分かっていたのに、繰り返される薬害。どれだけの人々が悲しい、辛い思いをしないといけないのでしょうか。とても残念で悔しくてなりません。   |
| 187 | とても苦しく残念であり、限りある人生が悲しい。  |
| 188 | 私は正看護師です。第2子出産時、医師不在時に陣痛促進剤を（子宮口2横指開口の時点で）静脈ラインより側注され、激痛と共に出産し、子宮破裂しました。子宮は出産から1ヶ月目に（止血の可能性があると考えられ、温存目的で様子観察していましたが）全摘後、それまでずっと使用していたフィブリノゲンを投与されました。無念です。それから人生が大きく崩壊しました。                         |
| 189 | 手術前から危険な状態であり、99%助かる見込みがないと言われたが、輸血により命を救われたと思い、その1ヶ月後に急性肝炎（非A非B型）になった時も、仕方がないと思った。その後C型肝炎となったが、薬害肝炎問題も自分とは関係がないと思うようにしていた。  |
| 190 | 多量の出血のための、やむを得ずの処置だったと思い、病院を恨んだりしていません。  |
| 191 | 輸血も同時に受けているので、いろいろ複雑です。  |
| 192 | その時の私の出血状態から考えると、使用せざるを得なかったと思う。ただ、子供の感染は気になった。そして、私は今、子供の成長を見守っていける幸せを感じています。2人目を妊娠した時、出産してもいいと言われ、無事生まれました。医師が処置してくれたことは、良かったと思います。  |

| No. | 問3-7 肝炎の感染原因が血液製剤だったことを知った時、感じたこと-その他   |
|-----|---|
| 193 | どうして20年以上たった今頃（2008年）、自分のC型肝炎の原因が分かったのか、どうして今まで知らされなかったのか、はっきりとした原因が分からないまま過ごした20年以上のやりきれない気持ちを思い出し、国や政策、製薬会社に対して、本当に腹が立った。         |
| 194 | 原因となる製剤があることを、知っていたにもかかわらず、その治療法を選択した自分を責めた。深夜で失血ショック状態で、判断能力がなかったとはいえ、悔しい。   |
| 195 | C型肝炎の告知を受けた時、なぜ、このような病気になったのかが分からず、当時、信頼の置けるかかりつけの医者に、再度検査を受け、確認までした不安が、感染原因がはっきりしたことで少しは楽になりました。                                   |
| 196 | 必要なものとは思ったが、せめて、もう少し早く使用を中止してくれれば、私は肝炎にならなかったかもしれないと、原因を知った時は、しばらく落ち込みました。  |
| 197 | そのような血液製剤が使われていることにショックを受けましたが、早い時期に病院からの知らせで検査を受け、肝炎になったことがわかり、不幸中の幸いと思いました。なったのはどうしようもない事実なので受け止めなければならぬし、隠せないで、本人に関わる人全てに話をしました。 |
| 198 | 体質が変わり、病気前にはなかった食物アレルギーがあり、食すると呼吸ができなくなることもある。すべて原因があるのでは？と考えてしまいます。  |

問3-9 肝炎感染後、経験したこと—その他

| No. | 問3-9 肝炎感染後、経験したこと—その他   |
|-----|---|
| 1   | この病気の事を隠さなければならないという気持ちが常にあり、周りに理解のある人はいても、一生背負っていかなければならない。いつ肝硬変に、肝癌になるか不安だが、悩んでいてもしょうがない毎日を、頑張ろうという気持ちもある。  |
| 2   | 長いこと治療していますが、あまり考え込んだことはありません。  |
| 3   | 配偶者以外に病気のことは話せないで、周囲は知らない。  |
| 4   | 仕事を選ぶ時。1日の仕事は体力的に辛いので、半日しか働けない。   |
| 5   | 感染後は病院の先生に「年2、3回は肝臓の検査を受けるように」と言われましたが、病院には、子供の友達の親など地域の人があります。私の事で子供がいじめられてはと思い、家で無理をせずに、ずっと検査をしていませんでした。  |
| 6   | 閉鎖的な町に住んでいるため、周囲には知られないようにしている。   |
| 7   | 両親の介護を長い間体験したが、その間疲れやすい身体をおして、やらなければいけない時が、一番辛かった。自分の身体を気にしないで生活ができれば、どんなに良かったかと思う。実母を施設に預けて、入院しなければいけなかった時は、非常に辛かった。   |
| 8   | 会社の仲間に薬害の話をしていたら、上司が、C型肝炎の人は調理師には絶対になれないなどと言われ、仲間にも「お～怖い」と言われた。娘が看護師をしているという女性だけが、話をよく聞いてくれました。それから、自分がC型肝炎だというのが嫌になりました。11月末に首になったので、会社にも行かなくなり、ちょうどよかったと思います。 |
| 9   | 病名を知られることについての不安があって、いつも心が安定しない。  |
| 10  | 歯医者に肝炎であるというと、嫌な態度をされた。   |
| 11  | インターフェロン治療中は、家族の仲が悪くなったりした。意志の疎通ができなくなってしまった。   |
| 12  | つとめて周囲には話さないようにしていた。身内には心配をかけるので、悟られないよう元気そうにしていた。協力は甘えになるので、理解されないのは当たり前と割り切っていたので、不満や苦痛の原因にはならなかった。子供には、申し訳ないと思う事がいっぱいあり、思い出すと涙が出る。                           |
| 13  | 肩身の狭い思いで、毎日暮らしております。  |
| 14  | 主人は県外で仕事をしていたこともあり、又、病気をしたことのない彼にとっては、治療の苦しさは理解できません。   |
| 15  | 他の人に知られたら、仕事が続けられないので（肉体的な仕事のため）、隠さないといけない。誰にも病気のことは言えない。   |
| 16  | 肝炎に感染したために、出産ができない結果となったのが、非常に辛い日々だった。  |
| 17  | 生活に無理しないよう、心掛けている。  |
| 18  | インターフェロン治療を遅らせたのは経済的理由ではなく、入院や家事、子育てができなくなる事など副作用の不安からです。   |
| 19  | 体力は同じ30才位の人よりはないと思う。おじさん達に、「まだ若いんだから大丈夫」と言われると辛い。   |
| 20  | 兄の見合いの時、私が肝炎であることを問題にされ、私が頑張っって元気になろうとしていても、世間の人にはもうダメな人間だとしか見ないのかと暗い気持ちになり、更に、兄で問題になるのならば、私の子供が結婚する時、母親である私が肝炎であることは、もっと問題になるのではないかと、自分が生き残って良かったのかと、悲しくなりました。 |
| 21  | 以前、ある歯科医院で肝炎の事を告げると、肝炎患者の人は来てほしくないと言われ、ショックでした。現在通院している歯科医院は、同じ事を告げても、快く治療していただいています。私は、人への感染を心配して告げたのに、初めの歯科医院には、大変驚きました。                                      |
| 22  | 歯科医で、診療を断られた（2軒）。   |
| 23  | 主人がC型活動型で、私からうつったと言っている。  |
| 24  | 近所（友人も）で嫌なうわさが出るのが怖いので、病気の事は話したことがない。そのため、通院している事も話せない辛さがあるし、具合が悪くても、本当の理由を言えない辛さもある。   |

| No | 問3-9 肝炎感染後、経験したこと—その他   |
|----|---|
| 25 | 肝炎ではなく、他の原因で体調がすぐれなかったり、寝込むことはあります。   |
| 26 | 家族以外は、感染の事は秘密にしています。  |
| 27 | 以前経験した辛く情けない事は、思い出したくない・・・というのが本音です。  |
| 28 | 病名は家族以外には告げていない。  |
| 29 | パートで一昨年まで看護師をしていましたが、職場の同僚には、C型肝炎は感染が弱いと分かっているにもかかわらず、病気の事は話すことができませんでした（上司には、面接時に話しました）。隠しているという自分の気持ちの弱さや小ささがとても情けなく、なんだか申し訳なく、自信を失うこともありました。でも、同じ病気で明るく頑張っている方に出会ったりすると、私も前向きになることができました。しかし、周囲への感染予防に必要以上に気を使ってしまい、疲れてしまうこともありました。肝炎患者は、不条理な劣等感を持って、日々生活していかなくてはならないような気がします。 |
| 30 | 出産後1ヶ月で入院となりました。長女（2才）、長男（0.1才）を抱え、家族の身体的、精神的な負担は、想像を絶するものだったと思います。義母は疲労が重なり、大腸ガンでほぼ1年後に他界しました。私は、今でもその苦痛から、うつになることがあります。   |
| 31 | 病気の事は、なるべく人には知られたくないし、話さないようにしています。なぜなら、以前歯医者にて、とても嫌な思いをしたことがあるからです。まだまだ偏見はおおいにあります。  |
| 32 | 治療中、具合が悪いと、仕方なくタクシーを利用して病院に行ってしまう。結構タクシー代がかかる（往復）。  |
| 33 | 感染後、職場復帰。職員、知人、友人に病気の事を話し、いろいろ配慮してもらっていた。●●に転居し、インターフェロン治療後、就職活動。病院に看護助手として内定。後に病気の事を話したら、内定取り消しとなる。その後、他の病院に勤めることになったが、病気の事は、職場では話さないようにしてきた。退職してからは、意図的に話さないことはなくなった。   |
| 34 | 出産後に感染したのですが、当時は主人の理解がなく、家事、育児がとても辛かったけれど、誰にも相談できず、1人で耐えていたことを思い出すと、とてもお金で解決できる問題ではないと思う。   |
| 35 | ・近所の嫌なうわさは聞いていないが、子供の友達の母親（看護師をしていた）に、自分の子供と私の子供とのつきあいを、遠ざけられたことがある（肝炎の話をしてから）<br>・人との付き合いは好きなのだから、肝炎だと分かれば嫌がられるかもしれないと、肝炎の話ができない（過去の経験から）  |
| 36 | 家事ができず、寝込む日が多く、小さい子供の面倒はみられず、離れ離れになり、実家に約1年子供を預けた。子供の学校の行事も不参加が多く、家族に大変な迷惑をかけた。そのことが、今も一番心苦しい。  |
| 37 | 両親が責任を感じている。国が責任をもって感じるべきだ。   |
| 38 | 動ける時に動きすぎて、その反動で動けなくなり、寝込んでしまい、周囲の人の理解がなく、仮病だと思われるのが辛かったです（子供の学校行事、運動会、学年レク、遠足、学芸会等）。   |
| 39 | 健康診断を受けたくないという経験がある。  |
| 40 | 朝、時々起きれないことがある。   |
| 41 | 三女1人だけが、ある程度肝炎を理解しているようです。  |
| 42 | ・歯科医院で、歯の治療をするのに、問診表にC型肝炎の有無についての質問があり、正直に記入したら、治療を断られた<br>・病院に入院した時、他の患者さんとは違う扱いを受けた。ばい菌扱いをされた感じです。  |
| 43 | 当時の治療方法としては、横になって寝ているということが、一番と言われ、来る日も来る日も寝て過ごす毎日。足の筋肉が落ち、弱ったことが悔やまれる（遠距離、団体行動不可能）。  |
| 44 | インターフェロン治療と訴訟するまで、以前の医師を探すので、タクシー代（体調不良のため）やらで、今でも借金があります。  |
| 45 | 出産時に感染して、内科で3ヶ月入院して治療を受けた。退院して、治療しながら子育てを行ったが、体が疲れて洗濯、掃除等、ひとつひとつの家事を休みながら行い、辛かった。そのうち、子供が動き回るようになり、子育てが大変だった。唯一の楽しみは、子供の昼寝の時間でした。だるくてだるくて仕方ありませんでしたが、H3年に、●●●大でインターフェロンを行い、完全には治りませんでした。それから体調がすごく楽になりました。  |

| No. | 問3-9 肝炎感染後、経験したこと-その他  |
|-----|--|
| 46  | 75才の義母、80才の義父、83才の義祖母を抱えているので、治療の成果をひたすら祈りました。主人と2人の子供（大学生）に辛くあたる日々があり、涙する毎日でした。現在もスマイリー10mg、セルシン2mg、デパス5mgは毎日服用しないと、不安です。   |
| 47  | 感染後、早い時期にインターフェロン（出産後4年後）を1回やり、2回目もやりましたので、結果は出ずとも、肝機能が落ちついています。日常生活は、仕事も健康な人と変わらないと思います。年とともに肝機能が下がっていくのかと、それがとても心配です。  |
| 48  | 38年=私と家族がC型肝炎と闘ってきた年月です。そして家族には、心配と迷惑をかけた年月です。そして、これからもこの闘いは続くのです。健康を奪われた、仕事も続けられなくなった、この苦悩が分かりますか？  |
| 49  | 産後、急に自分の身体が宙を浮いたようになり、フラフラと、毎日がとても苦痛であった。原因が分かり、更に将来に対しての不安が広がった。しかし、全国原告団として活動することで、弁護士のサポート、原告団同志の結束に、どれだけ支えられてきたかを、今強く感じている。  |
| 50  | 医療関係者の人には、すすんで感染の事実を打ち明けているが、一度だけ、歯医者で露骨な差別を受けた。私以外の人には、かなりきついと思う。   |
| 51  | 家事に無関心だった夫が、よく手伝ってくれるようになった。   |
| 52  | 入院時、幼児を母親や姉たちに預かってもらって、養育してもらいました（0才）。他の家庭にもご迷惑をかけてしまい、一生の心残りとなってしまいました。   |
| 53  | 夫とは離別。肝炎が直接の原因とは思わないが、関係がないとするのはウソになります。表面に出せない、出されない中での苦しいものが多々ありました。夫の家族等の関係の中では、十分に理解を得られないまま、許されるような負い目を抱く付き合い、次第に疲れました。肝炎の事を世間は知らなかったから、子供に十分に接しきれない身体を、とても苦しみました。母親として、一番可愛い幼い時代に、身体が悪くてながめて過ごしたことは、今も悲しいことです。 |
| 54  | 心不全の持病がありますから、肝炎のみの症状とは言えないと思います。現在85才と高齢で、肝炎の進行も遅いと思いますので比較的安心してはいますが、鼻血が出たり下血したりすることがあって、その他血液に対しては、家族など介護する人に感染させないかと心配になる。   |
| 55  | 仕事に行きたくても、週に3回病院へ通院していると、仕事にも行けなくて苦痛だった。   |
| 56  | 母親は子供に寝姿を見せるものではないと頑張っていたが、仕事と家事に追われて、横にならずにはいられなかった。ダメな母親だと自分を責めていたように思う。健康ならば、もっと十分な事ができたと思うと悔しい。  |
| 57  | 仕事をしているので、自分の病気の事は、本当に親しい人以外には話していません。C型肝炎は、うつる病気だと思っている人もいます。   |
| 58  | 肝炎に対する国の対応が遅い（救済）。20年余りこの気で苦しみ、未だに治療費等の無料化、障害手帳交付等もなく、インターフェロンの効果もなく、肝癌で苦しんでいる人の救済を、早くお願いします。  |
| 59  | 肝炎と診断される前、家族に怠けていると思われていることが、とても辛かったことですが、診断後は支えてもらったことも事実です。  |
| 60  | 私の周囲（友人）はちゃんと理解していて、協力してくれました。夫の両親には、病気になったことさえも責められました。理解するということが大切なので、みんなが理解することが大切だと思います。   |
| 61  | 疲れやすいのは勤勉でないからだど、自分自身でも思いこんでいたところがあり、後悔と反省が多かったです。肝炎と分かってから10数年後、離婚しましたが、私の体調も遠因だったと思います。  |
| 62  | 自分自身、わりとポジティブに考えようとしています。体がしんどいのは病気のためと、なるべく思わないようにして、他の楽しい事を考えようとしています。   |
| 63  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・親戚と同席の時、遠回しで食事を別にされた。水炊きとか寿司等、とりばしに気を付けている。</li> <li>・肝炎後、すぐに糖尿にもなり、兄弟姉親戚等、周りに病人がいないので、怠け者とか言われた</li> <li>・30才過ぎて、周りに肝炎とか糖尿の人がいなかったため、よくいろんな意味で差別された</li> </ul>              |
| 64  | 3人の子供のうち、上の2人の出産時、妊娠中、出産後、感染について非常に気を使った。特に、長男妊娠時、インターフェロンの治療中で、出産すべきか迷った。地元を避け、両親の親しい姫路の産婦人科医に、場合によっては墮胎も考えて相談しに行ったら、「せっかく授かった命なので、片腕でも産んでやりなさい」と言われた。もう1人に相談しに行ったら、流産しかかって、そのまま姫路で入院し、強ミノの治療をしながら、出産までお世話になった。     |

| No. | 問3-9 肝炎感染後、経験したこと-その他  |
|-----|--|
| 65  | C型肝炎から現在肝臓癌になりました。輸血さえしなかったら、こんな病気にかからなかったのに。いくら思っても残念です。血管は細くなり、採血の度に検査針でついても逃げてしまい、その度に3、4ヶ所をつつかれ、痛い思いをしています。すべてフィブリノゲンのせいです。このように苦しんでいる状態です。  |
| 66  | 子供が、出産時の出血でC型肝炎になったのは自分が原因だと、精神的に傷ついている。話題が出るたびに落ち込む。  |
| 67  | 同居の義理の父が、私より後にC型肝炎であることが判明した時、私から感染したのではないかとわれ、不愉快な思いをしました。  |
| 68  | 歯の治療をするのに、人に感染させてはいけないと思い、治療を我慢していたところ、もう手遅れ状態で、何本も歯を抜くことになってしまった。   |
| 69  | 体力に自信がないため、少しの体調不良でも過敏になり、「全般性不安障害」になり、現在も心療内科で治療中である。   |
| 70  | 今は24時間暇ですので、しんどい時は1日中寝ています。外出中に急に疲れて出るので困ります。  |
| 71  | 子供が私に、「自分が生まれなかったら、病気にならなかった」と言うことが何度かあり、「そんなことはない」と応えるのですが、負担に感じているのかと思うと辛い。  |
| 72  | 新しい生命保険に入れない。  |
| 73  | 子供を亡くしたことにより、体調不良になりました。今もまだそのための治療を受けており、年に2回のエコー検査、肝機能検査も受けていましたから、すぐに早期治療を受けることができ、悪化することのないように、年を重ねてこれたと思います。たくさんの人に支えていただいて、今があります。   |
| 74  | 主人が転勤族のため引っ越しを繰り返して、何人もの医師にかかりました。検査の結果が悪いと怒られたり、普通に生活していたと言うと、あなたは病人なんだから、普通の人ができることすらできないんだ、と言う人もいました。そんな中で、ある1人の先生と出会いました。検査結果に一喜一憂していると、医学の世界ってすごいんですよ。みんな寝る間も惜しんで研究しています、大丈夫です、絶対に治る薬ができますよと、いつも励ましてくれました。その言葉どおり、インターフェロンができました。 |
| 75  | 今まで3回治療を強要されましたが、その都度自分で健康管理をすると断り、もう30年が過ぎました。ウィルスと共に、食事、運動、生活を主体にしたボランティア活動を、これからも治療の一環として、していきたいと思っています。  |
| 76  | たとえどのような症状があっても、生活、仕事を優先はしないと生活できなかつた。また病名も、生活のため、家族以外に告げたことはない。   |
| 77  | 夫が感染してしまい、自責の念を感じます。   |
| 78  | この病気の苦しさは、人には決して理解されないと思います。   |
| 79  | 病名は今では誰もが知っているのですが、自分が肝炎であると隠す必要がなくなったが、人からは見えない病気なので、怠けていると思われるのが辛かった。  |
| 80  | 退院後は体を休め、治療することに重さをおき、漢方薬を何年も飲み続けた。  |
| 81  | 病院に行く時、うつる病気なので嫌がられないかと心配。近所の人に知られないかと心配。近所の病気に行く時、知っている人が「どこが悪いの」と聞かれるので、インターフェロンも1日おきに打ちに行っていました、ひと駅先の病院まで行っていました。   |
| 82  | 病気をしてから、特に健康管理について、人とよく話すようになりました。諸々の病気を持っている上に高齢ということもあって、家族がより気を付けてくれます。家族愛が増したといいますか、私を元気付けてくれているように思っています。苦しさはあるが、このような家族に支えられて、病と闘っております。   |
| 83  | 私の場合は、産後に急性肝炎を発病し、その後キャリアではあるが、肝炎としての症状は全くありませんでした。  |
| 84  | 医者から、いつも注意するように言われます。今後は安静にするように、あまり無理をしないように、GOT、GPTの検査を受けるように。とかく無理をしますと、体調不良と体全体が痒くなります。又、伝染を心配し、僕が妻との性生活を拒否したことが、離婚の遠因になりました。愛する人に感染させることはできません。肝炎発症時に、医者か看護師にsexはしないように言われました。当時はB型肝炎も疑われた記憶があります。                                |
| 85  | 潔癖症の自分が「ほこりでは死なないから」と自分を納得させて、家事も手抜きばかりとなった。   |

| No. | 問3-9 肝炎感染後、経験したこと-その他  |
|-----|--|
| 86  | 自分の体調は、自分にしか分からないと思うので、体調の悪い時、気分の悪い時など、素直に聞いてもらいます。今は主人頼みです。よくしてくれます。  |
| 87  | 全て体調を基準において、行動を決めていくようにしているが、旅行、研修等出張の時など、きつく感じます。   |
| 88  | 58才で発症し、会社を退職せざるを得ず。収入がなく、医療費もなくなり、妻のわずかな給料で生活していましたが、親戚から借金をして医療費を作りました。この生活が22年続き、現在もわずかな年金で暮らしていますが、今度入院になれば、入院に余裕がありません。あきらめる以外にありませんね。  |
| 89  | 病院窓口で、C型肝炎の検査を頼んだ時、さっと席を去られた時にショックを受けた。  |
| 90  | 去年10月にインターフェロン治療で副作用が強く出て、体調が悪化して以来、私自身の心の内を全て家族（特に夫）にぶつけました。それ以来、家族皆が協力的に、私に接してくれるようになったと強く思います。自身の病と実母の介護、子育て、主人の仕事（大工）の手伝いを続けてきて、現在は精神的に疲れ、精神科治療も受けています。自立支援で週3回月、水、金各2時間ヘルパーさんに家事を助けてもらって生活しています。去年10月に主治医から、5年以内に肝硬変か肝がんにになると言われていて、今は、少しでも楽な最後を迎えられるよう、願うばかりです。  |
| 91  | 子供に病気の事を話す時、治療を受ける話をする時が、すごく辛かった。今まで、病気の事を自分1人で抱え込み、胸の奥にいつもあったから、子供の成人と同時に、もう1人は結婚が決まり、その時に話したが、すごく辛かった。   |
| 92  | 急性肝炎にかかった時、同居する夫の両親に体調不良を理解してもらえず、怠けていると思われ、非常に辛かった。今は症状が落ち着いているので、このような事はありませんが、病気の事は、会社の人など他の人には知られないようにしている。  |
| 93  | 持病がありながら、色々身体のことを考えず働き過ぎ、やりすぎた。健康が普通の人の半分以下でも働ければ嬉しいし、動ければ嬉しいと思ってきたが、良かったのか悪かったのか。良い事もあり、悪い事もあり。身体には、酷使したことを心よりお詫びしている。これからは、精神的に考えるのではなく、身体と仲良くし、身体をいたわり、自分の中で調和のとれた生き方をしていきたいと思っています。  |
| 94  | 私は現在通院もしていません。今年6月まで●●●●に1人で住んでいましたが、別居（約15年）していた夫と生活をするに。家族間で話し合いの上、共に住むため●●●●に引っ越しましたが、夫の借金、住宅ローン、税金滞納等、自分の選択した今を後悔しています。治療に専念などできる状態ではありません。  |
| 95  | 家族に病気をうつしてはいけないという気持ちで、いつも不安な日常生活を送っていた。職場の健康診断で検査の数値を知るのが、怖くて仕方がなかった。生命保険にも入れず、生活の不安をいっぱい抱えての20年だったと思う。葉害が新聞、テレビで報道された後、自分の被害を知り、しばらく精神的に不安定になった。出産後、しばらく入院したことを知っている近所の人から、声を掛けられドキドキした。「うわさがたつかも知れない」と思い、あまり触れないようにしていた。仲の良い人に自分から話をした時、「やっぱりそうだったんだ」と声を掛けられた。報道の力のすごさにビックリ。遠く離れている学生時代の友達からも、心配した便りをいただいた。あの時の市民の反響はすごかったのだと、つくづく思う。 |
| 96  | 現在は、周囲の人々もカミングアウトしている。ただ、インターフェロンの副作用で、うつ状態が続行しており、治療中であり、非常に苦しい（家計的にも）。   |
| 97  | 肝炎感染時に6ヶ月入院。その期間に主人も病気になってしまい（精神的）、家族がバラバラになり、子供3人は夫の母と私の母にお願いして、みてもらいました。とても辛くて、どうしていいか分かりませんでした。   |
| 98  | 体がきつい時、食事の用意がづらいと出前を取る。何度か続くと家族のイヤな顔になる。がんばって作ろうと心では思うのだが、できない時、このイヤな思いはどこに捨てにいけばいいのか？と思う。   |
| 99  | 家族は健康なため、病人の気持ちは分からないので、具合が悪くても言わなくなった。  |
| 100 | 仕事を持っているが、治療のために休むことができず、辞めなければならないのか不安である。病気は会社の一部上司しか知らせていない。上司に迷惑がかりそうなので、不安である（医療関係の仕事）。   |
| 101 | あまり目立った症状がないため、家族に理解、協力が得られず、怠けていると思われるなど、ずいぶん辛い思いをした。病気だと認めてもらえず、病院にも、治療費がかかるので行きづらかった。   |
| 102 | 肝炎対策として、ペグインターフェロンを収入に応じて1万、3万、5万円と治療費を助成していただき、皆様と国に感謝しています。この注射は副作用がひどく、勤務ができるか心配です。68才という高齢のためでしょうか、つらいです。でも、後3本頑張ります。  |
| 103 | 例えば、歯医者に行くにしても、わざわざ遠い病院に行ったりと苦労した。C型肝炎と書くのが辛かった。   |

| No. | 問3-9 肝炎感染後、経験したこと-その他   |
|-----|---|
| 104 | 当時、インターフェロンなどなかったため、治療で次々とお金がかかり、カードローンなどを使用した。当時は主婦だったため、若い頃の貯金を崩しローンを払い、本当に苦しかった。両親がローンを払ってくれたが、体もしんどいしお金も楽ではなく、本当に悲しい気持ちでいっぱいだった。                    |
| 105 | インターフェロンを受ける前は、GOT、GPT数値が上がってきて、少し倦怠感がありました。手術して10年は何も知らず、献血でC型肝炎と知らされてからも、GOT、GPTの数値は低く、医師からも様子を見ようということで10数年。強ミノとウルソで治療を続けてきました。その間は体調にあまり変化は感じられません。 |
| 106 | ・他人に迷惑をかけないよう、公共の乗り物に乗っていません<br>・具合が悪くなるのが怖いです  |
| 107 | 周囲には、C型肝炎だということを知られないようにしているため、苦痛に思っている。  |
| 108 | 嫁ぎ先が農家のため、仕事をしなければ風当たりがきつく、体がだるくても無理して働くと、後が大変で、寝込む日が続き、大変な思いをしました。お産の時に死んだ方が良かったと、何度も思ったことがありました。でも、子供も成人式を迎えます。とてもうれしいです。                             |
| 109 | 会社も事情を分かってもらえて、休みや勤務先も通院できるよう考慮してくれて、精神的にも負担が軽く、治療を続けることができ、仕事も続けて頑張ることができた。  |
| 110 | もともと持病を持っていたので、肝炎が判明しても、生活に変化はなかったように思います。  |
| 111 | 何年前かに1人で病院まで行って、電車の中、タクシーの中で具合が悪くなり、大変な思いをしました。それから、夫が仕事を休んで病院に連れて行ってくれます。月に1回、大きい病院。後は近くの病院で、週に3回点滴、注射をしてもらっております。家族に迷惑をかけています。                        |
| 112 | インターフェロン治療中は、仕事を半分にセーブして、家にこもりがちでした。感染が分かった当時は配偶者がいましたが、感染が分かってから、配偶者への感染の不安などから離婚しました。   |
| 113 | 日常生活には問題なく、検査入院10日程度を何度か経験。年に1～2回、定期的に体力低下で仕事不能となる。   |
| 114 | なった人にしか分からない部分もあるが、まずは病気の事を受け止め、前向きに生きるようにしようと思いました。  |
| 115 | 医療従事者だったので、なおさら周りに気を使った。  |
| 116 | 私のまわりの人々は、みんな親切だったのを感じています。   |
| 117 | 半端な体調なので、いつも病気の事を気にして、思い切った行動ができない。そんな自分に割り切れなく、イライラすることが多く、ストレスになる。  |
| 118 | 周囲の人に病名が分からないようにしている。   |
| 119 | 肝炎と分かったのは10才の時で、子供でした。覚えていないというのが正直な話で、ただ、毎月病院へ行くのが辛かったし、いやだったことを覚えています。  |
| 120 | 医療職のため、病院全体で私を気遣っていただき、1年間休職扱いにまでしてくれて、感謝しています。やはり、職場環境がC型肝炎にとって最大のものであり、今後の仕事上の立場も気になる。  |
| 121 | 子供は脳性麻痺なので、横になっていることが多く、あまり苦痛は感じていない様子です。   |
| 122 | 昭和56年肝炎になり、退院後は色々な経験をしましたが、2、3年後から生活、食事に気をつけたので、症状はなくなりました。   |
| 123 | 一般の人はC型肝炎とB型肝炎の違いがよく分からない上、家庭内感染すると思っている人が多い。弁明するのも疲れるので、病名の事はあまり自分から言わないようにしている。   |
| 124 | やはり、日常生活が不自由だ。  |
| 125 | 朝起きる時に、経済的な事、いつまで生きられるのか、いろいろ考えてうつになる時が多い。今は仕事をしていないので、怠けているみたいで・・・。  |

| No. | 問3-9 肝炎感染後、経験したこと-その他  |
|-----|--|
| 126 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・肉体労働ができなくなった</li> <li>・思い切りスポーツができなくなった</li> <li>・食べ物を気にしなければならなくなった</li> <li>・いつ具合が悪くなるか分からないので、旅行などを避けるようになった</li> <li>・アルコールを我慢しなければならない</li> <li>・たくさん食べなくてもすぐに苦しくなるので（お腹がいっぱいになる）、食事会に行くのが苦痛になってきた</li> </ul> |
| 127 | <p>以前は、C型肝炎に感染していることを、隠す気持ちが働くことが多かったのですが、最近では、大々的に取りだたされるようになり、周囲の型のいたわりを感じるようになった。以前は、マイナス要素が強かったし、感染原因が明確化されていなかった。</p>   |
| 128 | <p>治療中、治療後しばらくは、落ち込みやすかった。</p>   |
| 129 | <p>生まれた直後に感染したので、具合が悪くても、肝炎と結びつけて考えたことがなかったので分からない。</p>  |
| 130 | <p>インターフェロンを打つようになって、特に苦痛が多くなった。</p>   |
| 131 | <p>誰にも知られたくないので、夫、子供にしかC型肝炎を伝えていない。</p>  |